

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1752	宝暦2	4/3～	森田座	一谷嫩軍記	《2》中村伝九郎	《2》芳沢あやめ	《2》中村七三郎	《1》市川宗三郎	《6》森田勘弥		《1》中島三甫蔵	《2》荻野八重桐	沢村歌菊	十次郎	富沢辰十郎	《2》中村七三郎	《2》荻野八重桐	《1》市川宗三郎	《2》中村伝九郎	音八	さゝ波や志賀の都ハ／あれにしを／むかしなからの山桜かな／不知読人	辻番付
1752	宝暦2	4/10～	中村座	一谷嫩軍記 四だんづき	《2》松本幸四郎	《1》瀬川菊次郎	《3》沢村長十郎	藤川平九郎	《2》佐野川花妻	中村伴三郎	中村平十郎	《1》佐野川市松	《2》吾妻藤蔵	《2》坂田半五郎	《2》沢村宗十郎	《3》沢村長十郎	《2》吾妻藤蔵	源次郎	源次郎		志賀のみやこは／あれにしを／むかしなからの／やまさくらかな／読人不知／弁慶執筆	辻番付
1752	宝暦2	11/1～	大坂中の芝居 [座本 中村十蔵]	一ノ谷嫩軍記	《3》市川団蔵	浪江		《3》岩井半四郎	松島小紫		《1》染川此兵衛	佐野川惣吉	中村蝶之助	《1》山下次郎三	市の川彦四郎	《1》中村十蔵	《1》姉川大吉		《1》中村歌右衛門			絵尽し・『歌舞伎年表』
1752	宝暦2	未詳	伊勢中之地蔵芝居	一の谷																	《3》岩井半四郎ほか。	『伊勢歌舞伎年代記』
1756	宝暦6	未詳	伊勢古市芝居	一の谷	《1》山本京四郎		市ノ川彦四郎	《3》市川団蔵							《2》嵐三五郎							『伊勢歌舞伎年代記』
1757	宝暦7	1/18～	森田座	一谷嫩軍記 三段目	《2》中村伝九郎	嵐わかの	《2》沢村宗十郎	富沢辰十郎	《3》沢村小伝次				《2》袖崎三輪野									役割番付
1764	宝暦14	7/未詳～	大坂中の芝居 [座本 三枘大五郎]	一谷嫩軍記 二だん目の口・二段目の詰	《2》嵐七五郎						中川庄五郎	桐野屋秀松	《1》中村桑太郎	坂東岩五郎	《2》嵐三五郎	中村吉右衛門	《2》山下金作	藤井長九郎	《1》染川此兵衛	中村友十郎		絵尽し
1767	明和4	5/吉～	京南側芝居 [座本 山下京之助市山助五郎]	一谷嫩軍記 五段続	《1》中山文七	《1》中村桑太郎	《1》小川吉太郎	《1》浅尾為十郎	桐の谷秀松			尾上桑助	《2》山下金作	《1》大谷友右衛門	尾上紋太郎	《1》尾上菊五郎	《2》山下金作	辰岡久菊	《1》浅尾為十郎	榊山伴蔵	庄屋（《1》尾上新七）。	絵尽し
1769	明和6	4/8～	大坂中の芝居 [座本 三枘他人]	一谷嫩軍記	《1》中山文七	《3》芳沢あやめ	市の川彦四郎	《1》三枘大五郎	《3》佐野川花妻				《2》山下金作	坂東岩五郎	《1》藤松三十郎	市の川彦四郎	《2》山下金作			《1》染川此兵衛		『歌舞伎年表』
1770	明和7	6/2～	市村座	一谷嫩軍記 五段続	《1》尾上菊五郎	《1》中村喜代三郎	《9》市村羽左衛門	《1》大谷友右衛門	幾島小伊三			《2》沢村淀五郎	尾上民蔵	《1》大谷友右衛門	《3》大谷広次	《9》市村羽左衛門	《2》吾妻藤蔵					役割番付
1775	安永4	9/11～	京北側東大芝居 [名代 早雲長太夫座本 布袋屋梅之丞]	一谷嫩軍記 正本通	《1》嵐雛助	《1》姉川菊八	《1》尾上菊五郎	《2》嵐七五郎	嵐重の井			沢村千鳥	《1》芳沢いろは		《3》沢村宗十郎	《1》嵐雛助	《1》姉川菊八	嵐重の井	《1》尾上松助	坂田来蔵	四段目増補／五条廓管祀	役割番付
1775	安永4	10/5～	京北側東大芝居 [名代 早雲長太夫座本 布袋屋梅之丞]	一谷嫩軍記 二段目								沢村千鳥	《1》芳沢いろは		《3》沢村宗十郎	《1》嵐雛助	《1》姉川菊八	嵐重の井	《1》尾上松助	坂田来蔵	四つ目増補／五条廓管祀	役割番付
1776	安永5	7/24～	大坂中の芝居 [座本 三枘松之丞]	一ノ谷嫩軍記	《1》嵐雛助	尾上桑助	《3》沢村宗十郎	嵐文五郎	《1》姉川大吉				《1》小川吉太郎	《2》桐山紋治	《3》沢村宗十郎	《1》嵐吉三郎				坂東岩五郎		『歌舞伎年表』
1778	安永7	3/18～	伊勢中之地蔵芝居	一谷嫩軍記	染松七五郎			《2》三保木儀左衛門								《2》三保木儀左衛門				《2》染松七三郎		『伊勢歌舞伎年代記』
1778	安永7	6/22～	名古屋稲荷 [名代 井桁屋忠兵衛座本 中村千蔵名代 佐野屋弥六]	一谷嫩軍記	《1》嵐雛助	中村千蔵	中村富三郎	《2》山村儀右衛門	山下吉三郎	藤岡瀧太郎	三枘国蔵										庄屋（中山音五郎）。	役割番付
1781	天明1	6/6～	中村座	操歌舞伎扇 一谷嫩軍記	松助	吉次	升蔵	此蔵	三喜蔵	福松	五郎四郎	万菊			宗十郎	口之助		綱蔵	仲八			辻番付・絵尽し

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1781	天明1	秋	伊勢	一ノ谷																	十蔵、為十郎ほか。	『歌舞伎年表』	
1781	天明1	盆替り	京南側芝居 [名代 亀屋糸之丞 えびすや吉郎兵衛 座本 中山猪八]	一ノ谷	《1》浅尾為十郎	《3》花桐豊松		嵐山十郎								《2》中村十蔵			《2》坂東国五郎				『歌舞伎年表』
1782	天明2	3/3～	大坂角 [座本 藤川山吾]	一谷嫩軍記五段続	《1》浅尾為十郎	《4》山下亀之丞	中山他蔵	《1》中山来助	《1》三折徳次郎	中村吉次	中村吉五郎	藤川小伊三	中村吉松	中村治郎三	中山他蔵	《1》尾上新七	藤川山吾	嵐新平	《2》三折大五郎	藤川鐘九郎	増補／絵入庄屋（《1》浅尾為十郎）。	役割番付	
1784	天明4	未詳	大坂角丸 [座元 嵐歌七]	一谷嫩軍記	中山楯蔵	《1》藤川友吉	嵐与市	嵐歌七	荻野口口		荻野定次郎	嵐金三郎	《1》藤川友吉		山下森蔵	嵐与市	中山崎蔵		中山友九郎	荻野伊太郎	庄屋（中山友九郎）。	役割番付	
1786	天明6	8/6～	京都万太夫座	一ノ谷	《1》尾上新七	《1》山下八百蔵								玉村友右衛門		《1》尾上新七						『歌舞伎年表』	
1786	天明6	閏10/2～	京北側大芝居 [名代 早雲長太夫 座本 夷屋吉郎兵衛]	一谷嫩軍記五段続	《1》尾上新七	《1》山下八百蔵	《2》中山来助	《2》山村儀右衛門	《2》山下金作			中村かほよ	《1》山下八百蔵		《2》中山来助	《1》尾上新七				浅尾玉五郎			役割番付
1787	天明7	9/15～	大坂西芝居 [座本 中村桑太郎]	一谷嫩軍記序之切・二之切					花桐富松		坂東蟹蔵	中村吉蔵	浅尾弥太郎		《2》中山来助	中山他蔵	《2》中村のしほ	市の川彦三郎	三折松五郎	《1》中山文五郎		役割番付	
1787	天明7	11/11～	京六角境内中芝居 [座本 津山大吉]	一ノ谷大序・二ノ切																	大和山仙助、嵐菊次郎ほか。	『歌舞伎年表』	
1789	寛政1	10/24～	京北側西大芝居 [名代 早雲長太夫 座本 亀谷糸之丞]	一ノ谷嫩軍記二の切							大和山半九郎				《2》嵐三三郎	《2》嵐吉三郎	《1》沢村国太郎	三保木八百右衛門	《7》片岡仁左衛門		庄屋（市川三平）。	役割番付	
1793	寛政5	5/5～	大坂角芝居 [座本 浅尾奥次郎]	一谷嫩軍記序切・二ノ切・三ノ切	《1》叶雛助	《さへだ》《3》花桐豊松	《2》中山来助	《1》浅尾為十郎	浅尾仙之助			《1》浅尾奥次郎	《3》花桐豊松		《2》中山来助	《1》関三右衛門	《2》中村のしほ	《2》小川吉太郎	《1》山村友右衛門	中山栄蔵		役割番付・絵尽し	
1793	寛政5	5/7～	大坂中の芝居 [座本 坂東重太郎]	一谷嫩軍記三段目迄	《1》尾上新七	《2》山下金作	《2》嵐吉三郎	《2》山村儀右衛門	《3》吾妻藤蔵	音羽次郎三		浅尾弥太郎	《1》芳沢いろは	嵐三八	《2》嵐三五郎	《1》尾上新七	《1》芳沢いろは	中山吉太郎	嵐三八		庄屋（《1》尾上新七）。	役割番付・絵尽し	
1794	寛政6	5/8～	京北側西大芝居 [名代 早雲長太夫 座本 亀谷糸之丞]	一谷嫩軍記初段・二段目・三段目	《3》嵐小六	《1》山下八百蔵	《1》中山新七	《1》尾上新七	《3》吾妻藤蔵		大和山半九郎	吾妻富松	嵐助蔵		《2》嵐雛助	《1》尾上新七	《3》吾妻藤蔵	市川権十郎	亀谷仲蔵	中村吉十郎		役割番付・絵尽し	
1795	寛政7	3/9～	大坂北の新地芝居 [座本 中村与三郎]	一谷嫩軍記三段目まで	《4》市川団蔵	《さかき》《1》沢村国太郎	《2》中山文七	《1》浅尾工左衛門	《2》中村桑太郎			市川梅松	榊山雛松		《2》中山文七	《4》市川団蔵	《1》芳沢いろは	中山兵太郎	三折松五郎	三折種五郎	流枝桜／江南梅庄屋（三折松五郎）。	役割番付	
1795	寛政7	8/19～	都座	一谷嫩軍記四幕	《3》沢村宗十郎	尾上菊之丞	《3》坂東彦三郎	《3》大谷広次	《3》佐野川市松	《4》中村伝九郎		《1》岩井桑三郎	《2》瀬川雄次郎	《3》市川宗三郎	《3》坂東彦三郎	《3》沢村宗十郎	尾上菊之丞	山科四郎十郎	《3》大谷広次	善次	庄屋（《3》大谷広次）。	辻番付	
1796	寛政8	8/24～	京南側大芝居 [名代 早雲長太夫]	一谷嫩軍記序切・二切・三切	《4》市川団蔵	《1》山下八百蔵	《2》嵐三五郎	《4》姉川新四郎	《1》沢村国太郎	花桐新三郎	中村伊蔵	山下梅次郎	山下国松		《1》山下八百蔵	《4》市川団蔵	《1》沢村国太郎	嵐菊次郎	嵐三津右衛門	音羽次郎三		役割番付	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1798	寛政10	7/17～	大坂角の芝居 [座本 中山与三郎]	一谷嫩軍記三段目迄	《7》片岡仁左衛門	《1》芳沢いろは	《1》関三十郎	《2》山村儀右衛門	《2》山下金作	三保木吉左衛門	嵐伝五郎	芳沢亀次郎	叶三右衛門	《1》山村友右衛門	《2》嵐雛助	《2》嵐吉三郎	《1》藤川友吉	荻野徳二郎	《1》山村友右衛門	嵐伝五郎	庄屋（中山文蔵）。	役割番付・絵尽し	
1798	寛政10	10/16～	名古屋若宮芝居	源平嫩軍記二の切・三の切	《1》市川市蔵	中村歌菊	《3》山下京右衛門	松島清蔵	沢村富三郎	花桐徳三郎		三柘三徳			花桐徳三郎	《3》山下京右衛門	三柘三徳	沢村富三郎			増補竹田からくり。	役割番付	
1798	寛政10	11/13～	京南側大芝居 [名代 早雲長太夫]	一谷嫩軍記三段目	《7》片岡仁左衛門	《1》芳沢いろは	《1》関三十郎	《1》浅尾為十郎	《1》三柘徳次郎			《1》芳沢円次郎										役割番付	
1801	寛政13	5/7～	伊勢古市芝居	一の谷	三柘光五郎		中山兵太郎	中村四郎五郎														『伊勢歌舞伎年代記』	
1802	享和2	6/15～	京北側大芝居 [名代 布袋屋梅之丞 亀谷桑之丞 座本 嵐三吉]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《4》市川団蔵	《1》芳沢いろは	《1》市川市蔵	《1》浅尾為十郎	沢村京三郎	中村乙蔵	中村元蔵	小佐川松三郎			中山兵太郎	《4》市川団蔵	《1》藤川友吉	三保木吉左衛門		中村門三郎		役割番付	
1802	享和2	11/15～	京因幡薬師 [名代 蛭子屋吉郎兵衛]	一谷嫩軍記初段より三段目	《7》片岡仁左衛門	《1》山下八百蔵	片岡十蔵	片岡松助	《1》三柘徳次郎			片岡三吾	中村吉太郎	片岡松助								十日間の寄進芝居。庄屋（片岡松右衛門）。	役割番付
1804	文化1	3/18～	中村座	一谷嫩軍記五段続	《3》坂東三津五郎	民之助	《4》花井才三郎	《1》坂東八十助	おの江			《9》森田勘弥	春次	半左衛門	《3》坂東三津五郎	《1》市川荒五郎		山科四郎十郎	音八		庄屋（助五郎）。	辻番付・絵本番付	
1805	文化2	6/9～	名古屋大須芝居 [兩名代 相模掾 和泉屋 座本 浅尾為三郎]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《7》片岡仁左衛門	《1》藤川友吉	《2》浅尾為十郎	《2》大谷友右衛門	中村吉蔵	中山新七		叶三右衛門	《1》藤川勝次郎	中村元蔵	《3》中村歌右衛門	《7》片岡仁左衛門	《1》藤川友吉	沢村国三郎	《2》大谷友右衛門	藤川八九郎	庄屋（中山新七）。	役割番付	
1805	文化2	11/吉～	京北野下ノ森芝居	一の谷	《7》片岡仁左衛門																	『歌舞伎年表』	
1806	文化3	3/25～	京北側大芝居 [名代 早雲長太夫 座本 亀谷桑之丞]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《1》尾上鯉三郎	《1》藤川友吉	《1》市川市蔵	《3》中山新九郎	沢村京三郎	嵐小次郎		中村もしほ	《1》藤川友吉	《1》浅尾友蔵	《1》中山よしを	《1》尾上鯉三郎	《1》藤川友吉	山科政五郎	《1》浅尾友蔵	音羽次郎三	庄屋（音羽次郎三）。	役割番付・絵尽し	
1806	文化3	5/18～	伊勢中之地蔵芝居 [座本 中村当二郎]	一の谷嫩軍記大序より三ノ切迄																	《1》関三十郎、《1》山下八百蔵、《7》片岡仁左衛門ほか。	『伊勢歌舞伎年代記』	
1806	文化3	8/13～	大坂角の芝居 [座本 中村歌六]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《7》片岡仁左衛門	《1》芳沢いろは	《4》中山来助	市川友蔵	《2》中村桑太郎	嵐小次郎	《1》大谷門蔵	《3》中村のしほ	《1》叶瑛子	《1》大谷門蔵	《1》芳沢いろは	《7》片岡仁左衛門	《1》叶瑛子	片岡松助	市川友蔵	大谷徳治	庄屋（大谷徳治）。	役割番付	
1808	文化5	6/1～	森田座	時為得花栄 森田四番続	《3》坂東三津五郎	滝中歌川	《1》市川荒五郎	嵐三八	中山常次郎	春吉		《9》森田勘弥	政之助	荻野半左衛門	《3》坂東三津五郎	《1》市川荒五郎	滝中歌川	山科四郎十郎	嵐三八	大吉	庄屋（大吉）。	辻番付	
1808	文化5	閏6/22～	森田座	一谷嫩軍記[陣門・組打・菟原里・陣屋]	《3》坂東三津五郎	滝中歌川	《1》市川荒五郎	嵐三八	中山常次郎	春吉		《9》森田勘弥	政之助	荻野半左衛門	《3》坂東三津五郎	《1》市川荒五郎	滝中歌川	山科四郎十郎	嵐三八	大吉	庄屋（大吉）。	辻番付・絵本番付	
1808	文化5	7/21～	大坂北堀江市の側芝居 [座本 嵐重次郎]	一谷嫩軍記序切・二ノ切					《1》三柘徳次郎			《1》中村歌六	三柘桑三郎		《3》中山文七	《2》嵐吉三郎	《1》中村歌六	三保木吉左衛門	《3》浅尾国五郎	《3》桐山紋治		役割番付	
1809	文化6	7/17～	甲府亀屋座	一の谷嫩軍記	《3》坂東三津五郎	山下民之助	尾上紋三郎	《1》嵐冠十郎	中山常次郎		坂東三右衛門	沢村長五郎			《3》坂東三津五郎	尾上紋三郎	山下民之助	小川重太郎	沢村文蔵			役割番付	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1811	文化8	5/吉～	備中板倉大芝居 [座本 片岡愛三郎]	一谷嫩軍記大序より三段目まで	《7》片岡仁左衛門	《4》佐野川花妻	片岡島蔵	萩野半左衛門	山科甚吉	嵐万次郎		片岡愛三郎	佐野川花妻	中村林左衛門	《3》山科甚吉	《7》片岡仁左衛門	《2》芳沢いろは	山科政五郎	中村林左衛門	片岡升左衛門	庄屋（中村林左衛門）。	役割番付
1811	文化8	9/17～	中村座	一谷嫩軍記五段目迄	《3》中村歌右衛門	《2》沢村田之助	《2》沢村源之助	《1》尾上松緑	市川おの江	《4》中村七三郎		《2》尾上松助	《2》沢村田之助	沢村治之助	《3》中村歌右衛門	《2》沢村源之助	《2》沢村田之助	《1》尾上松緑	《2》尾上松助	《2》中村東蔵	庄屋（《2》中村東蔵）。	辻番付・役割番付・絵本番付
1812	文化9	1/15～	大坂中の芝居 [座本 中村大吉]	一谷嫩軍記三ノ口・三ノ切	《7》片岡仁左衛門	《1》中村大吉	嵐来芝	《1》浅尾工左衛門	《4》佐野川花妻	《2》加賀屋歌七	《4》桐野谷権十郎	《2》片岡愛之助									庄屋（《3》浅尾国五郎）。	役割番付・絵尽し
1812	文化9	2/5～	大坂中の芝居 [座本 中村歌六]	一谷嫩軍記大序より三ノ切迄	《7》片岡仁左衛門	《2》芳沢いろは		市川友蔵	《3》中村桑太郎			《3》中村のしほ										絵尽し
1812	文化9	11/5～	大坂北堀江市の側芝居 [座本 片岡弁蔵]	一谷嫩軍記三段目口・切	片岡舎柳	《2》芳沢いろは	三栞光五郎	藤川鐘九郎	山下秀次郎	松島豊三郎	谷村楯九郎	三栞梅松									流枝桜／江南梅庄屋（谷村岩五郎）。	役割番付
1813	文化10	2/吉～	名古屋清寿院芝居	一谷嫩軍記二の切・三の切	片岡大吉	中村小辰	中山百次郎	市川鶴二郎	三条若松			坂東卯之助			三栞由亀	浅尾奥蔵					竹田からくり。	役割番付
1813	文化10	3/24～	大坂中の芝居 [座本 芳沢植松]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《3》中村歌右衛門	《1》中村大吉	《3》坂東彦三郎	《2》大谷友右衛門	芳沢嘉蔵	中山金才	《4》桐野谷権十郎	中村歌木	《1》中村三光	嵐団八	《1》中村大吉	《3》坂東彦三郎	《1》中山よしを	芳沢嘉蔵	《3》浅尾国五郎	中山紋五郎	庄屋（《3》浅尾国五郎）。	役割番付・絵尽し
1813	文化10	5/5～	京北側芝居 [名代 早雲長大夫布袋屋梅之丞]	一谷嫩軍記大序より三段目まで	《3》中村歌右衛門	《1》中村大吉	《3》坂東彦三郎	《2》大谷友右衛門	芳沢嘉蔵		《4》桐野谷権十郎	中村歌木	《1》中村三光		《1》中村大吉	《3》坂東彦三郎	《1》中山よしを		《2》中村歌七			辻番付
1813	文化10	5/吉～	伊丹三田屋芝居 [座本 浅尾奥次郎]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《3》中山新九郎	叶三右衛門	中山久吉	《3》浅尾国五郎	《3》小佐川常世	浅尾藤蔵		浅尾為三郎	《2》姉川大吉	桐島儀左衛門	中山来太郎	《4》中山来助	叶三右衛門	姉川菊八	桐島儀左衛門		庄屋（嵐太市）。	役割番付
1815	文化12	2/28～	京因幡薬師芝居 [名代 蛭子屋吉郎兵衛]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《1》嵐徳三郎	嵐宗三郎	榊山四郎三郎	《1》大谷友次	榊山富滝	小佐川正吉	谷村又九郎	尾上徳松	山下とみさ	松島竜蔵	尾上徳松	中山甚吉	嵐宗三郎	大谷若虎	松島竜蔵	嵐清蔵	庄屋（嵐清蔵）。	役割番付
1816	文化13	閏8/24～	名古屋大須芝居	一谷嫩軍記二ノ切・三ノ口・三ノ切	萩野仙花	中山倉次郎	《9》森田勘弥	《2》沢村東蔵	山下幸次郎		尾上鐘右衛門	沢村万之助			《9》森田勘弥	萩野仙花		嵐三幸	沢村淀五郎		役割番付	
1817	文化14	8/2～	河原崎座	一谷嫩軍記	《7》片岡仁左衛門	尾上菊之丞	《7》市川団十郎	《2》大谷馬十	坂東花妻	桃太郎	松蔵	《2》片岡長太夫	尾上菊之丞	舎柳	《7》市川団十郎	《7》片岡仁左衛門	《2》片岡長太夫	《2》坂東又十郎	小六郎	紋次	庄屋（《7》市川団十郎）。	辻番付・絵本番付
1817	文化14	未詳	名古屋清寿院芝居	一谷嫩軍記大序より三段目迄	中村和市	《2》嵐亀之丞	浅尾大吉	坂東勝太郎	山村嘉吉			坂東菊太郎	中村米三郎		嵐亀之丞	浅尾大吉	沢村伊之助		坂東勝太郎		子供芝居。	役割番付
1817	文化14	秋	伊勢古市芝居 [座本 沢村猪之助]	一谷嫩軍記三段目迄																	子供芝居。浅井大吉ほか。	『伊勢歌舞伎年代記』
1818	文化15	3/吉～	伊勢一身田 [名代 座本 江戸屋伊兵衛]	一谷嫩軍記二段目・三段目	谷村金蔵	嵐富三郎		片岡仁三郎	坂東豊三郎	中山百蔵	中村官蔵	坂東重太郎			坂東重太郎	片岡仁三郎	中村金吾	中山他之助	中村九幸	片岡政五郎	庄屋（片岡政五郎）。	役割番付
未詳	文化期力	未詳	明石川口芝居 [座本 市川金蔵]	一ノ谷嫩軍記大序より三段目迄	市川団蔵	中村歌路之助	《3》小川吉太郎	嵐団八	市川なには	市川宗十郎	浅尾奥右衛門	市川勇蔵	嵐三右衛門		《3》小川吉太郎	市川虎蔵	中村歌路之助	尾上桑蔵	市川市勇	嵐又九郎		役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1819	文政2	7/23～	河原崎座	一谷嫩軍記 経盛館・兎原の里・石屋・熊谷陣屋	荻野仙花	市川滝之助	《2》坂東又十郎	《4》大谷広右衛門	坂東三津三	坂東村蔵	荒木照五郎	坂東吉次郎		大谷候兵衛	荻野仙花	《4》大谷広右衛門	坂東三津三	小川十太郎	《4》大谷広右衛門	大谷候兵衛	庄屋（尾上仙蔵）。	辻番付・役割番付
1819	文政2	11/29～	京南側芝居 〔名代 都万太夫 布袋屋福之丞〕	一谷嫩軍記 大序ヨリ三段目迄	《5》市川団蔵	《2》沢村国太郎	中山一蝶	《1》浅尾工左衛門	嵐かなふ						《5》市川団蔵	《1》浅尾勇次郎	嵐富三郎		嵐団八			役割番付
1820	文政3	9/9～	中村座	一谷嫩軍記 序切・二の口・二の口・三の切・三の口・三の口・三の切	《3》坂東三津五郎	尾上菊之丞	《2》関三十郎	《3》浅尾為十郎	《3》山科甚吉	松本五郎市	坂東三津右衛門	《2》岩井桑三郎	坂東三津蔵	《4》大谷広右衛門	《3》坂東三津五郎	《2》坂東義助	《2》岩井桑三郎	《5》中村十蔵	《3》浅尾為十郎	大吉	庄屋（甚六）。	辻番付・絵本番付
1820	文政3	11/16～	名古屋清寿院御境内芝居 〔名代 海老屋左吉座本 千代屋七右衛門〕	一谷嫩軍記 序切・三の口・三の切	《7》片岡仁左衛門	《2》沢村国太郎	《1》市川滝十郎	《1》浅尾工左衛門	市川おの江	《1》片岡十蔵	《1》桐島儀右衛門		片岡松江								名歌桜／江南梅	役割番付
1821	文政4	7/22～	金沢宮腰芝居 〔座本 藤川鞍蔵〕	一ノ谷嫩軍記 大序より三切マテ	坂東三津四郎	中山豊松	中村小市	坂東七蔵	中村歌関			藤川猪三郎	中村熊次郎	三柘金三	坂東三津四郎	松本染五郎	中村熊次郎	浅尾元五郎	三柘金三	坂東七蔵		役割番付
1821	文政4	7/27～	名古屋橋町芝居 〔座本 津谷蝶三郎名代 辰巳屋猪三郎座本 沢屋与惣五郎〕	一谷嫩軍記 序切・二の口・二の口・三の切・三の切	《3》坂東三津五郎	《2》藤川花友	《2》藤松山十郎	《3》浅尾奥山	山下八百三			中山みよし	浅尾為三郎	浅尾奥右衛門	《3》坂東三津五郎	《1》浅尾勇治郎	嵐富三郎	桜山四郎三	《3》浅尾奥山	中村辰蔵		役割番付
1822	文政5	7/25～	金沢川上芝居 〔座本 菊川松助〕	一谷嫩軍記 全部五冊	《1》中村鶴助	嵐三勝	《3》中山文七	片岡助五郎	藤川みさほ	藤川富士太郎	中山百蔵	中村春之助	嵐三勝	中村桃三	《3》中山文七	藤川鐘九郎	嵐三勝	泉川十蔵	《1》片岡市蔵	中村桃三	庄屋（中山百蔵）。	役割番付
1823	文政6	10/吉～	備中宮内 〔座本 坂東小重〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《3》中山新九郎	市川なには	中山一蝶	《1》嵐舎丸	中山みよし	片岡島三郎	中村四郎八		嵐勝世		中山一蝶	嵐与口	中山みよし	沢村京十郎			上演年月は、『許多脚色帖』所収の番付の書き込みには「文政七甲」とあるが、『歌舞伎年表』による。	役割番付
1824	文政7	2/吉～	長州萩	一の谷												重太郎	《2》藤川友吉					『歌舞伎年表』
1824	文政7	6/21～	中村座	一谷嫩軍記 堀川館・組討・兎原里・熊谷陣屋	《2》関三十郎	《3》市川門之助	《4》市川雷蔵	《1》市川男女蔵	瀬川菊太郎	松本錦吾	市川門十郎	《3》市川門之助	市川弁之助	《2》大谷門蔵	《2》関三十郎	《5》中村伝九郎	《3》市川門之助	《4》市川雷蔵	《2》関三十郎	《2》大谷門蔵		辻番付・役割番付・絵本番付
1824	文政7	6/吉～	安芸宮島大芝居	一谷嫩軍記	中山一蝶	《2》藤川友吉	坂東菊太郎								中山一蝶	坂東重太郎	市川三河之助		《2》市川市蔵			『宮島歌舞伎年代記』
1824	文政7	12/吉～	大坂北堀江市の側芝居 〔座本 中村仲市〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《5》市川団蔵	《2》沢村国太郎	《3》小川吉太郎	《3》浅尾国五郎	市川なには	市川宗十郎	市川市鶴	藤川友三郎	嵐吉之助	《1》嵐舎丸	《2》沢村国太郎	《3》小川吉太郎	《2》藤川友吉	市川虎蔵	《3》浅尾国五郎			役割番付
1825	文政8	3/吉～	大坂角の芝居 〔座本 中村歌路之助〕	一谷嫩軍記 二の口・二の中・三の切	《3》中村歌右衛門	《1》中村三光	《3》中山文七	《1》市川鰻十郎	《2》沢村国太郎	浅尾豊五郎	浅尾歌四郎	中村歌路之助・《1》中村玉之助	《1》中村三光・中村歌路之助	《3》浅尾奥山								役割番付・絵尽し

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1825	文政8	6/以降～	津	一の谷	《7》片岡仁左衛門	《1》中村歌六																『歌舞伎年表』
1825	文政8	7/17～	市村座	一谷嫩軍記 経盛卿福原 岩・須磨浦 組討・津の 国兔原里・ 御頼里石 屋・熊谷直 実陣屋	《3》坂東三津五郎	尾上菊之丞	《4》坂東彦三郎	《1》嵐冠十郎	《4》小佐川常世	松本五郎市	市川門十郎	《1》岩井紫若	中山亀三郎	《4》坂田半五郎	《3》坂東三津五郎	《2》関三郎	《1》岩井紫若	市川門三郎	《2》浅尾友蔵	《2》惣領甚六	庄屋（坂東三津右衛門）。	辻番付・役割番付・絵本番付
1825	文政8	9/21～	名古屋 若宮芝居 〔名代 美濃屋勘右衛門 座本 山下彦三郎 太夫本 千代屋七右衛門〕	一谷嫩軍記 経盛屋形・ 敦盛討死・ 熊谷陣屋	《1》中村鶴助	嵐璃光	《1》中村鶴蔵	松島清蔵	浅尾勇枝			市川団吉	中村歌蝶	坂東七五郎								役割番付
1825	文政8 カ	未詳	大坂 竹田 〔座本 坂東亀太郎〕	一の谷嫩軍記	《2》尾上多見蔵	市川菊之助	嵐吉五郎	榊山四郎太郎	沢村里蝶		松島万蔵	中村歌蝶	尾上梅之丞	片岡松右衛門	《2》尾上多見蔵	榊山四郎太郎	中山あつま	尾上多ね蔵		片岡松右衛門		絵尽し
1826	文政9	2/9～	甲府 亀屋座	一の谷嫩軍記	《3》坂東三津五郎	《4》小佐川常世	《1》三折源之助	《1》嵐冠十郎	《4》嵐雛助			坂東大五郎	瀬川増吉	《3》浅尾国五郎	《1》三折源之助	《3》坂東三津五郎	坂東勝太郎	《4》嵐雛助	《3》浅尾国五郎			「峡中劇場記録」
1826	文政9	5/吉～	大坂 北堀江市の側芝居 〔座本 中村与三郎〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《2》中村芝翫	《3》中村松江	《2》嵐来芝	《3》浅尾奥山	中村まもり	藤川藤蔵	浅尾歌四郎	《1》中村玉之助	中村歌路之助	中村元朝							庄屋（嵐松之助）。	役割番付
1826	文政9	6/吉～	安芸 宮島大芝居 〔座本 中村梅吉〕	一谷嫩軍記	《2》中村芝翫	《1》中村歌六	市川甚之助	《3》浅尾奥山	中村琴糸			《1》中村玉之助	市川三河之助	《1》中村芝蔵								役割番付・『宮島歌舞伎年代記』
1827	文政10	9/下旬～	備中 宮内芝居 〔座本 中村額之助〕	一谷嫩軍記 大序より三段目まで	《3》中村歌右衛門	嵐璃光	《2》市川市蔵	中村元朝	片岡松江	中村歌之助	市川播蔵	《9》嵐三右衛門	中村歌路之助	浅尾歌四郎	《1》中村玉之助	市川市蔵	中村歌路之助	中村歌之助	中村元朝	浅尾歌四郎	庄屋（浅尾歌四郎）。	役割番付
1827	文政10	未詳	大坂 若太夫芝居 〔座本 沢村助三郎〕	一の谷	《5》中村十蔵		《2》沢村源之助	中村芝猿	片岡松江	百村百三郎	中村辰蔵	《2》中山由男	嵐当美三	中村芝猿			中村歌門					役割番付・絵尽し
1827	文政10	春	伊勢 古市〔名代 岩出屋勘左衛門 座本 中村松助〕	一谷嫩軍記 大序より三段目まで	《5》中村十蔵	《1》尾上菊次郎	市川門十郎	《2》嵐来芝	藤川友江	中村我長	尾上伝三郎	《2》中山由男	藤川友江	中村芝緑	《4》嵐雛助	《2》嵐来芝	尾上菊次郎	中村我長	中村芝緑	尾上伝三郎	庄屋（三折菊駄）。	役割番付
1828	文政11	3/9～	中村座	一谷嫩軍記 序切・二の口・三の切	《2》中村芝翫	尾上菊之丞	《4》坂東彦三郎	《4》坂田半五郎	《4》吾妻藤蔵	坂東橋三郎	《1》中村芝蔵	《4》市川八百蔵	《2》中村大吉	《5》中村伝九郎								辻番付・役割番付・絵本番付
1828	文政11	5/3～	金沢 川上芝居 〔座本 菊川松之助〕	一ノ谷嫩軍記 大序ヨリ三ノ切まで	坂東菊寿	浅井勇枝	市川三十	市川熊太郎	嵐光三郎	中山他四郎	市川国十郎	三折愛之助	片岡あやの	浅尾国平	市川三十	市川門三郎	浅尾勇枝	中山他四郎	市川仁太郎	浅尾国平	庄屋（市川仁太郎）。	役割番付
1828	文政11	8/吉～	京 四条道場芝居 〔名代 宇治嘉太夫〕	一ノ谷嫩軍記 三の口・三の切	松島巳之助	榊山田之助	《2》嵐芳三郎	中山源治	嵐弥三郎	中村梅蔵	浅尾鯨蔵	〈敦盛〉 《2》嵐芳三郎・ 〈小次郎〉市川鯉之助	中村琴三郎	片岡他治郎								役割番付
1828	文政11	二の替り	伊勢 中之地蔵芝居	一谷嫩軍記 三段目																	中村歌十郎ほか。	『伊勢歌舞伎年代記』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1829	文政12	9/1～	河原崎座	一谷嫩軍記 二の口・二の切	《2》沢村源之助	《1》中村歌六	中村七五郎	中山文五郎	坂東佳朝		《6》中島勘左衛門	稲之助	市川増吉	歌四郎	《1》中村歌六	《2》沢村源之助	《1》中村歌六	中村七五郎	中山文五郎	歌四郎	庄屋（紋次）。	辻番付・絵本番付
1830	文政13	5/吉～	京四條道場芝居 [名代 宇治嘉太夫]	一谷嫩軍記 大序ヨリ四段目迄	市川鯉三郎	榊山田之助	中村梅蔵	浅尾仲蔵	中村鶴之助			浅尾源之助	《2》中山よしを	大谷大勝	片岡島三郎	片岡島三郎	《2》中山よしを	坂東桐徳	市川鯉三郎	大谷友蔵		役割番付・絵尽し
1830	文政13	6/吉～	安芸宮島大芝居	一谷嫩軍記																	《3》中村歌右衛門ほか。	『宮島歌舞伎年代記』
1830	文政13	8/7～	市村座	一谷嫩軍記 兎原の里・須磨の浦・熊谷陣屋・生田杜組討・鶴ヶ岡八幡・六弥太屋舗	《2》坂東養助	《2》岩井桑三郎	《3》坂東三津五郎	《1》片岡市蔵	《4》小佐川常世	片岡伊三郎	大谷曾呂平	市川徳之助			《2》坂東養助	《3》坂東三津五郎	《2》岩井桑三郎	市川おの江	《1》片岡市蔵	坂東三津右衛門	庄屋（《2》惣領基六）。	辻番付・絵本番付
1831	天保2	6/11～	金沢川上芝居 [座本 菊川松之助]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三ノ切まで	《2》尾上多見蔵	中村歌路之助	尾上多ね蔵	嵐歳十郎	中村鶴之助	嵐寿太郎	市川三代右衛門	尾上多蔵	尾上梅之丞	嵐岡蔵	百村百太郎	尾上多見三郎	中村歌路之助	尾上多ね蔵	嵐竹五郎	嵐亀蔵	庄屋（尾上松蔵）。	役割番付
1831	天保2	7/17～	河原崎座	一谷嫩軍記 序切・二の口・三の切・三の切	《7》市川団十郎	《5》瀬川菊之丞	《2》沢村源之助	《3》市川寿美蔵	中村富滝	中島勘蔵	市川団九郎	《2》嵐亀之丞	沢村鉄之助	《5》松本幸四郎	《2》沢村源之助	《7》市川団十郎	《5》瀬川菊之丞	《4》嵐七五郎	《5》松本幸四郎	木場新猿	庄屋（《4》嵐七五郎）。	辻番付・役割番付・絵本番付
1831	天保2	7/吉～	大坂中の芝居 [座本 中村玉之助]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三段目まで	《3》中村歌右衛門	《3》中村松江	《3》小川吉太郎	《3》浅尾国五郎	中村歌門	《3》嵐吉三郎	《3》中村東蔵	《9》嵐三右衛門	《1》中村梅花	《1》嵐舎丸	《2》沢村国太郎	《1》浅尾額十郎	《3》中村松江	《3》中山文七	《1》嵐舎丸	《2》中村歌七		役割番付・絵尽し
1831	天保2	9/吉～	京因幡薬師芝居 [名代 蛭子屋吉郎兵衛]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三段目まで	《2》中村鶴助	中村熊太郎	嵐豆五郎	中村辰蔵	中村桑三郎		中村団右衛門	坂東亀太郎	中村仙之助	浅尾口山	浅尾大吉	《2》中村鶴助	中村熊太郎	嵐文蔵	中村辰蔵	市川富蔵	庄屋（浅尾口山）。	役割番付
1831	天保2	11/11～	名古屋橋町芝居 [両名代 和泉屋相模 座本 綿屋小兵衛]	一谷嫩軍記 二の切											《4》中山新九郎	小川田次郎	中山福太郎	嵐与市	浅尾徳二郎	浅尾左五郎		役割番付
1832	天保3	9/吉～	岡崎六ちぞう常芝居 [名代 木爪屋吉五郎 座本 市村銀之助]	一谷嫩軍記	市川白猿	嵐三勝	片岡島三郎	《3》市川鰻十郎	市川三之丞		中島勘左衛門	三条浪江	坂東調	《5》市川宗三郎	片岡島三郎	《3》市川鰻十郎	三条浪江	市川団内	片岡松右衛門			役割番付
1832	天保3	11/21～	大坂北新地芝居 [座本 竹田内久蔵]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三段目まで	市川鯉三郎		中山兵太郎	中山紋十郎	中山文枝		中山源十郎		榊山田之助		市川鯉三郎	中山紋十郎	榊山田之助		中山源十郎			役割番付
1832	天保3	11/吉～	大坂稻荷境内 [名代 座本 亀谷登左]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三段目まで	中村鶴五郎	嵐団之助	中村歌之助	浅尾山九郎	尾上梅之助	浅尾朝蔵	浅尾他人	中村歌之助	尾上梅之助	市川菊蔵	市川筆五郎	中村鶴五郎	中村千之助	中山小丈	市川菊蔵	桐の谷半次郎	庄屋（中山小丈）。	役割番付
1833	天保4	7/20～	河原崎座	時代世話切 功言 稽古の為興行仕候 一谷嫩軍記 三の切 熊谷物語	《5》市川高麗蔵	瀬川多門	中島勘蔵	松本たい助	中村琴糸	市川鷺蔵	市川今六	沢村助蔵										辻番付・役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1833	天保4	7/29～	中村座	一谷嫩軍記 魔翁山・経盛館・須磨浦・熊谷陣屋	《2》中村芝翫	《4》山下金作	《5》市川海老蔵	《1》嵐冠十郎	《1》中村芝鶴	中村森五郎	《1》中村芝蔵	瀬川菊三郎	中村亀之丞	中村芝十郎								発端「鏝引」。	辻番付・絵本番付
1833	天保4	11/吉～	大坂角の芝居 〔座本 中村鶴之助〕	一谷嫩軍記 大序より三段目まで	《2》中村芝翫	《2》中村富十郎	《3》中村歌右衛門	《3》市川鯨十郎	嵐かのみ	中村仲助		《1》中村梅花	《1》実川勇治郎	《2》中村歌七						《3》大谷友右衛門			役割番付
1834	天保5	4/吉～	大坂堀江市の側芝居 〔座本 浅尾朝太郎〕	一谷嫩軍記 二ノ口・二ノ切・三ノ切	市川新車	坂東八重菊	市川甚之助	市川熊十郎	嵐咲之助	中村我蝶	浅尾工十郎	浅尾勝次郎	中村かつま	市川熊十郎	市川甚之助	市川新車	坂東八重菊	小川鬼雀	市川熊十郎	中山源十郎			役割番付
1834	天保5	5/9～	市村座	一谷嫩軍記	《5》市川団蔵	《4》小佐川常世	《12》市村羽左衛門	中村芝十郎	叶みんし	松本五郎市	坂東熊十郎	吾妻橋之助	市川徳之助	坂東三津右衛門	《12》市村羽左衛門	《4》小佐川常世	中山みよし	関三蔵	坂東三津右衛門	大谷曾呂平			辻番付・役割番付・絵本番付
1834	天保5	6/吉～	安芸宮島大芝居	一の谷	《2》尾上多見蔵	沢村とみさ	《1》市川市十郎	《2》大谷門蔵	尾上多見之丞			〈敦盛〉嵐徳尾・〈小次郎〉尾上	尾上梅之助	浅尾徳治	《1》市川市十郎								『宮島歌舞伎年代記』
1834	天保5	11/吉～	京北側芝居 〔名代 亀谷糸之丞 早雲長太夫〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《2》中村芝翫	《2》中村富十郎	《3》中村歌右衛門	《3》浅尾国五郎	嵐かのみ	中村歌十郎	《1》中村芝蔵	中村歌十郎	《1》実川勇治郎	《2》中村歌七	《2》中村鶴助	《2》中村芝翫	《1》中村梅花	市川虎蔵	中村菊九郎	中村東三郎		江南花／流花枝庄屋（《2》中山文五郎）。	役割番付
1834	天保5	二の替り	博多中嶋町北側浜新地仮小屋	一谷嫩軍記																		《8》市川団十郎、《4》中山新九郎、《9》嵐三右衛門ほか。	「芸林」101号、七代目団十郎と九州
1835	天保6	4/上旬～	伊勢中の地蔵町常芝居 〔名代 豆腐屋源蔵 座本 中村駒太郎〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《3》中村歌右衛門	嵐かのみ	《3》嵐吉三郎	《2》浅尾工左衛門	《2》瀬川路之助	中村寿郎	小川賀十郎	《2》中山よしを	坂東八重菊	尾上鶴三郎	市川橋太郎	《3》嵐吉三郎	坂東八重菊	中村津多右衛門	中村友二郎	尾上伝三郎		庄屋（浅尾団二郎）。	役割番付
1836	天保7	6/吉～	名古屋橋町芝居 〔名代 伊勢屋孫三郎 添名代 京屋佐蔵〕	一谷嫩軍記 二の切より三の切まで	《2》関三郎	中村友菊	《5》市川八百蔵	中島三甫蔵	岩井辰之助	関十蔵	浅尾春十郎	中山一徳	岩井辰之助	中山舎柳	浅尾大吉	嵐与市	中山一徳	関十蔵	中山舎柳	市川茂々三			役割番付
1836	天保7	8/吉～	大坂北の新地芝居 〔座本 竹田内ク蔵〕	一谷嫩軍記 大序より三段目まで	《4》中村歌右衛門	嵐璃光	小川英子	《3》中村東蔵	《2》瀬川路之助	中村駒十郎	《3》浅尾友蔵	中村歌菊	《2》中山よしを	《2》中村歌七						中村菊九郎	《1》中村芝蔵		役割番付
1836	天保7	11/11～	大坂御霊芝居 〔名代 松島萬五郎〕	一谷嫩軍記 三だん目	中村福之助	嵐三津三		浅尾丹平	市川紅之助														役割番付
1837	天保8	3/1～	森田座	一谷嫩軍記 三の切	《2》関三郎	《1》沢村訥升	《4》坂東三津五郎	《3》市川寿美蔵	叶みんし	中島勘蔵	関歌助												辻番付・役割番付
1837	天保8	8/吉～	名古屋若宮芝居 〔名代 松本屋増太郎 千代屋長七〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《5》市川海老蔵	《9》嵐三右衛門	《1》実川延三郎	嵐冠十郎	市川三之丞	嵐橋二郎		《1》実川延三郎	瀬川滝江	《2》大谷門蔵	《1》実川延三郎	《1》市川市十郎	坂東かめ三	小川鬼雀	《2》大谷門蔵	市川茂々三		江南花／流花枝	役割番付
1838	天保9	2/8～	河原崎座	筆書始交張曾我一谷嫩軍記陣門・組討・陣屋	《5》市川海老蔵	《5》市川団蔵	市川団三郎	嵐冠十郎	市川三之丞	市川当十郎	坂東てう十郎	《8》市川団十郎	《1》岩井紫若	嵐冠十郎									辻番付・役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1838	天保9	6/7～	金沢川上芝居 [座本 菊川松之助]	一谷嫩軍記 大序より物語まで	《5》市川八百蔵	市川団吉	沢村鉄之助	中山源十郎	嵐与市	浅尾友治	坂東松之介	中山一徳	瀬川多喜丞	市川五百蔵	中山楽之助	嵐与市	中山一徳	市川咲五郎	市川五百蔵		江南花／流花枝	役割番付
1838	天保9	8/吉～	大坂中の芝居 [座本 中村鶴之助]	一谷嫩軍記 三ノ口・三ノ切	《3》中村芝翫	《2》中村富十郎	《1》三柝源之助	《1》浅尾与六	嵐かのみ	中村歌十郎	中村翫十郎	中村巴丈	《9》嵐三右衛門	《2》中村歌七							中村玉助／追善狂言 中村玉七追善狂言。	役割番付・ 絵尽し
1838	天保9	11/10～	市村座	白旗世界樹 同鏡 四立目・須磨の浦・陣屋	《4》中村歌右衛門	《1》岩井杜若	《12》市村羽左衛門	嵐冠十郎	《4》小佐川常世		《5》坂東又太郎	《8》市川団十郎	《1》坂東玉三郎	中村芝十郎								役割番付・ 絵本番付
1838	天保9	11/吉～	京北側芝居 [名代 早雲長太夫 亀谷桑之丞]	一谷嫩軍記 大序より三の詰迄	《3》中村芝翫	《2》中村富十郎	《1》三柝源之助	《1》浅尾与六	嵐かのみ	中村寿郎	《1》中村芝蔵	中村巴丈	《9》嵐三右衛門	中村十暁	《3》叶雛助	《3》小川吉太郎	《2》中村富十郎	中村慶十郎	《1》中村芝蔵	中村十暁	庄屋（中村十暁）。	役割番付
1839	天保10	6/吉～	安芸宮島大芝居 [座本 中村梅吉]	一の谷	《3》叶雛助	中村歌門		《1》姉川仲蔵				片岡我蔵		中山半蝶	《3》嵐来芝	嵐寿三郎				《2》大谷門蔵		『宮島歌舞伎年代記』
1840	天保11	6/12～	堺新地芝居 [名代 米屋宗吉 座本 中村栄三郎]	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《3》中村芝翫	嵐かのみ	中村寿郎	中村菊九郎	坂東のしほ	《4》浅尾友蔵		《3》藤川花友	《2》中村玉之助	《4》坂東国五郎								役割番付
1840	天保11	12/吉～	大坂北新地芝居 [座本 竹田内久蔵]	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	《3》叶雛助	《4》山下金作	小川鬼雀	浅尾音八	山下里朝	叶秀之助		叶秀之助	中村歌菊	中山桃三	山下金作	尾上多見之助	《3》叶雛助	中村芝十郎	中山桃三	浅尾音八		役割番付
1841	天保12	閏1/吉～	大坂座摩東芝居 [座本 市川三木松]	一谷嫩軍記 駒ヶ林・陣屋	浅尾六之助	嵐友三郎	市川市河蔵	市川辰之助							市川市治郎		藤川三代菊		市川市太郎			役割番付
1841	天保12	1/1～	大坂天満天神社内芝居 [座本 片岡我三郎]	一谷嫩軍記 宝引・陣屋	嵐島蔵	尾上亀吉	嵐額之助	嵐三津三郎	中村富松		実川実之助											役割番付
1841	天保12	4/8～5/1	河原崎座	一谷嫩軍記 堀川御所・須磨浦組討・直実陣家・六弥太屋舗	《1》沢村訥升	《1》岩井杜若	《8》市川団十郎	《5》市川海老蔵	市川鯉之助	沢村鉄之助	片岡虎五郎	《1》岩井紫若	《3》中村大吉	大谷万作	《1》沢村訥升	《1》沢村訥升	《1》岩井紫若	市川鯉之助	《5》市川海老蔵		日付は『江戸芝居番付朱筆書入れ集成』による。 庄屋（松本たい助）。	辻番付・役割番付・ 絵本番付
1842	天保13	6/1～	越中富山	一谷																	《1》中村鶴蔵ほか。	『歌舞伎年表』
1842	天保13	10/吉～	大坂天神社内芝居 [座本 中村楠之助]	一谷嫩軍記 三だん目	《5》市川高麗蔵	松本七蔵	中村梅助	浅尾丹平	嵐三蔵	市川市太郎	市川今六											役割番付
1842	天保13	11/吉～	大坂大西芝居 [座本 市川助太郎]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三段目迄	《3》中村芝翫	沢村ときは	《4》三柝他人	市川助寿郎	片岡あやめ	中村寿郎	市川新四郎	嵐三津橋	中村梅紫	《3》中村東蔵	《2》片岡我童	市川助寿郎	沢村ときは	《1》市川新十郎	中村歌之助	中村菊九郎	庄屋（大谷門蔵）。	役割番付・ 絵尽し
1842	天保13	12/12～	大坂角の芝居	一谷																	子供芝居。	『歌舞伎年表』
1843	天保14	3/吉～	大坂北の新地芝居 [座本 嵐三津蔵]	一谷	尾上和市	三柝時蔵	片岡我久之助	《3》市川市蔵	市川市二郎	嵐橋之助	実川実之助											役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1843	天保14	5/4～	市村座	源平勝武剣一の谷序切・二の口・二の切・三の切	《4》中村歌右衛門	《4》小佐川常世	《12》市村羽左衛門	《3》関三郎	中島勘蔵		《1》中村翫右衛門	《3》坂東篁助	瀬川菊代	尾上菊四郎	《12》市村羽左衛門	《4》中村歌右衛門	坂東かめ三	《4》小佐川常世	関歌助	尾上菊四郎		役割番付・絵本番付
1843	天保14	8/吉～	京南側大芝居 [名代 都万太夫 名代 布袋屋梅之丞]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《2》尾上多見蔵	《4》山下金作	市川鍛寿郎	《2》嵐冠十郎	山下里蝶	市川篁助	木場新五郎	尾上梅蔵	中村梅花	《2》中山文五郎	《4》山下金作	《2》嵐冠十郎	《9》嵐三右衛門	《3》中山文七	《2》中山文五郎	尾上鶴蔵	庄屋（嵐京十郎）。	役割番付
1845	弘化2	3/吉～	大坂角の芝居 [座本 市川友之助]	一谷嫩軍記大序より三段目まで	《2》尾上多見蔵	《2》中山南枝	《2》片岡我童	《2》嵐冠十郎	《1》実川勇次郎	市川紅粉助	嵐三津九郎	中村千之助	嵐富三郎	《4》浅尾奥山	尾上多磨蔵	中村歌寿郎	片岡あやめ		《1》姉川仲蔵	中村駒十郎		役割番付・絵尽し
1845	弘化2	6/吉～	安芸宮島大芝居	一の谷	尾上梅鶴	瀬川あやめ	市川米六	浅尾鬼市				坂東新三郎	片岡音三郎	嵐七五郎	中山徳三郎		尾上亀之丞					『宮島歌舞伎年代記』
1845	弘化2	7/吉～	名古屋若宮芝居 [名代 松本屋増太郎]	一谷嫩軍記大序より三段目まで	中村梅勇	尾上松枝	嵐三十	市川万花	中村南花	坂東三津蔵	中村熊五郎	片岡愛三郎	中村南花	大谷門三	嵐三十	中村梅勇	片岡愛三郎	尾上松枝	大谷門三	市川万花		役割番付
1845	弘化2	11/吉～	京北側大芝居 [名代 早雲長太夫 亀谷糸之丞]	一谷嫩軍記二の口切・三の口切	《5》市川海老蔵	《2》中村富十郎	《2》嵐璃珪	《4》市川鍛十郎	中村歌ほ世	浅尾奥治郎	中村桂車	中村梅花	《3》叶雛助	《2》中山文五郎	《1》三耕源之助	《3》嵐璃寛	《2》中村富十郎	嵐口蔵	市川宗十郎	《5》浅尾国五郎	江南花ノ流の枝	役割番付
1846	弘化3	1/13～	大坂角の芝居 [座本 市川猿松]	一谷嫩軍記裏表四段	《5》市川海老蔵	《1》中村歌六	《3》嵐吉三郎	《1》姉川仲蔵	《1》市川寿美之丞	市川篁助		《1》市川寿美之丞	《3》叶雛助	《2》中山文五郎	《2》嵐璃珪	《5》市川海老蔵	中村巴文		《4》市川鍛十郎	《1》姉川仲蔵		役割番付・絵尽し
1846	弘化3	1/吉～	大坂竹田芝居 [座本 尾上和幸]	一谷嫩軍記三の切	尾上和市	市川八十二郎	嵐芳蔵	《3》市川市蔵	沢村松之助	市川助松	尾上多見二郎											役割番付
1846	弘化3	2/吉～	熱田亀井山御境内芝居 [名代 井筒屋善三郎]	一谷嫩軍記三の切	尾上和市	山下金枝	嵐芳蔵	《3》市川市蔵	市川市二郎	嵐三津治	市川鹿蔵											役割番付
1846	弘化3	3/吉～	名古屋清寿院芝居 [名代 稲葉屋伊八太夫本 播磨屋音治郎]	一谷嫩軍記陣屋	坂東大十郎	坂東のしほ	中山甚車			中村鶴三郎	嵐雷蔵											役割番付
1846	弘化3	5/未詳～	名古屋橘町常芝居 [名代 山城屋清兵衛太夫本 橋屋八三郎]	一谷嫩軍記大序より陣屋まで	尾上熊太郎	中村捨松	嵐当女吉	嵐橋蔵	尾上錦之助	尾上豊吉		尾上歌女吉	坂東正太郎	嵐橋蔵	中村捨松	尾上豊吉	嵐源治郎	尾上錦之助	嵐橋蔵	尾上歌女吉		役割番付
1846	弘化3	6/吉～	安芸宮島大芝居 [座本 中村梅吉]	一の谷	嵐三幸	中村松江	嵐橋太郎	嵐璃若	嵐三枝			《3》叶雛助			嵐京花	嵐璃若						『宮島歌舞伎年代記』
1846	弘化3	11/2～	河原崎座	一谷雪見楼四番続須磨浦苔屋・姫原里矮屋・生田杜陣屋・河原崎芝居	《4》中村歌右衛門	《4》尾上梅幸	《1》松本錦升	《4》大谷友右衛門	《5》嵐小六	松本小次郎	関歌助	《1》中村福助	《6》市川新車	《4》大谷友右衛門	《2》市川九蔵	《1》松本錦升	《4》尾上梅幸	《5》嵐小六	《4》浅尾為十郎	関歌助		役割番付・絵本番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1847	弘化4	1/吉～	京南側大芝居 [名代 都万太夫 布袋屋梅之丞]	一谷嫩軍記	尾上和市	山の下きんし	嵐芳蔵	《3》市川市蔵	尾上多見之丞	市川市勝	中村芝太郎											役割番付
1847	弘化4	2/吉～	京左女牛北側芝居 [名代 都万太夫 布袋屋梅之丞 蛭子屋吉郎兵衛]	一谷嫩軍記	尾上和市	山の下きんし	嵐芳蔵	《3》市川市蔵	尾上多見之丞	市川市勝	中村芝太郎	《3》市川市蔵	尾上多見之丞									役割番付
1847	弘化4	5/吉～	名古屋清寿院御境内 [名代 いなはや伊八太夫本 千代屋長七]	七里渡乗合狂言一の谷	中村桂助	嵐はだ茂	中山七十七郎	坂東桂十郎	市川猪三郎	関団右衛門	嵐常九郎											役割番付
1848	弘化5 嘉永1	2/下旬～	名古屋橋町芝居 [名代 山城屋清兵衛太夫本 中村津多右衛門]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	大川八蔵	尾上梅之丞	尾上松鶴	《2》嵐冠十郎	藤川友江	尾上八染	中村菊十郎	嵐橋治郎	中村千登世	浅尾国五郎	尾上亀鶴	尾上松鶴	尾上梅之丞	嵐三津蔵	浅尾国五郎	市川もゝ三	庄屋（中村菊十郎）。	役割番付
1848	嘉永1	3/17～	広島江波湊長門島社前 [座本 坂東蝶之助]	一の谷	片岡当升	坂東八重桐	《3》沢村源之助	嵐寿美蔵	市川巳之助													『宮島歌舞伎年代記』
1848	嘉永1	4/吉～	伊勢古市芝居 [名代 兜屋友吉太夫本 中村津多右衛門]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	大川八蔵	《3》嵐来芝	嵐橋三郎	《2》嵐冠十郎	藤川友江	尾上八朝	中村菊十郎	嵐橋次郎	中村千とせ	浅尾国五郎	尾上嘉鶴	尾上松鶴	尾上梅之丞	嵐三津蔵	浅尾国五郎	市川もゝ三	江南花／流花枝庄屋（中村菊十郎）。	役割番付
1849	嘉永2	2/吉～	大坂若太夫芝居 [座本 中村政次郎]	一谷嫩軍記須磨浦・陣家	中村駒三郎	藤岡大吉	《1》浅尾朝太郎	中村歌四郎	尾上亀之丞	中村鶴五郎		実川額之助	三柁梅松	市川団治		嵐吉之助					嵐菊蔵	役割番付
1849	嘉永2	4/吉～	大坂堺南芝居 [座本 中村富右衛門]	一谷	《2》尾上多見蔵	《4》山下金作																『歌舞伎年表』
1849	嘉永2	9/1～	名古屋若宮芝居 [名代 松本屋増太郎]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	中村東雀	嵐橋蝶	小川英子	浅尾友蔵	沢村福松	中村寿花	市川助五郎	片岡我三郎	中村富之助	市川助八	中村東雀	浅尾徳三郎	中村富之助	市川新寿	浅尾友蔵	中村儀平	庄屋（市川助八）。	役割番付
1849	嘉永2	11/吉～	大坂角の芝居 [座本 市川玉猿]	一谷嫩軍記大序ヨリ三段目迄	《1》中村玉七	《1》市川猿蔵		《2》市川米蔵	市川猿之丞	中村雀之助			《3》中村駒之助	《1》実川延之助								役割番付・絵尽し
1850	嘉永3	2/吉～	大坂角の芝居 [座本 市川玉猿]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	《2》尾上多見蔵	《4》山下金作	市川市紅	《1》浅尾与六	中村歌ほ世	《3》中山文七	浅尾内匠	《1》市川猿蔵	中村千之助	《5》大谷広右衛門	《3》中山文七	《3》小川吉太郎	藤岡大吉	浅尾勇枝	浅尾内匠	中村桂車		役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1850	嘉永3	2/吉～	名古屋橋町芝居 [名代 山城屋清兵衛太夫本 中村津多右衛門]	一谷嫩軍記大序より三段目迄	成田屋七左衛門	嵐富三郎	《3》中村源之助	中村翫六	山下梅枝	《2》市川滝十郎	中村菊十郎	嵐大三郎	嵐三花	《6》浅尾国五郎	《2》市川滝十郎	《3》中村源之助	嵐富三郎	藤川友江	嵐大三郎	市川森蔵		役割番付
1850	嘉永3	3/17～	河原崎座	難有御江戸景清須磨浦・熊谷陣屋	《5》市川海老蔵	《2》尾上菊次郎	《4》市川鯉十郎	《4》坂東彦三郎	《5》市川団之助	《4》浅尾為十郎	関歌助	《1》市川猿蔵	《3》岩井桑三郎	《4》浅尾奥山								辻番付・役割番付・絵本番付
1850	嘉永3	3/吉～	京宮川町芝居 [名代 宇治嘉太夫]	一谷嫩軍記三ノ口・三の切	中村梅蔵	《1》中村政治郎	市川巳之助	中村雀之助	中村梅三郎	中村翫七郎	片岡島之助	《1》中村政治郎	市川玉猿	中村芝丸								役割番付
1850	嘉永3	4/上旬～	堺新地南芝居 [名代 粉川屋喜助座本 中村富右衛門]	一谷嫩軍記大序より三段目まで	大川八蔵	《3》嵐来芝	大川亀蔵	大谷口風	大川たんどり	大川八鶴	大川岸右衛門	尾上栄枝	中村ちとせ	大谷口風	大川亀蔵	中村英子	山下菊芝		大川多ね蔵	中山美車	庄屋（中村元鶴）。	役割番付
1850	嘉永3	5/吉～	大坂中の芝居 [座本 中村駒之助]	一谷嫩軍記大序より四段目迄	《4》中村歌右衛門	《4》山下金作	《4》三折大五郎	《1》片岡市蔵	坂東八五郎	《2》三折源之助	実川鯨蔵	《1》中村福助	《5》尾上芙蓉	《2》中村友三	《4》三折大五郎	《1》実川延三郎	《2》中山南枝	《1》中山百花	《1》片岡市蔵	《2》中村友三	庄屋（三折源兵衛）。	役割番付・絵尽し
1850	嘉永3	8/吉～	京南側大芝居 [名代 都万太夫 布袋屋梅之丞]	一谷嫩軍記三ノ口切	中村駒三郎	嵐璃登	《3》市川市蔵	中山歌四郎	中村滝三郎	《4》尾上栄三郎		中村梅蔵		市川玉六								役割番付
1851	嘉永4	6/6～	市村座	一谷嫩軍記組討・物語	《5》市村竹之丞	《1》坂東しうか	《3》嵐吉三郎	《4》大谷友右衛門	《5》嵐小六	坂東橘蔵	中村島蔵	《1》坂東しうか	歌女之丞	中村翫太郎		《8》市川団十郎	《3》藤川花友					辻番付・役割番付・絵本番付
1852	嘉永5	1/吉～	堺新地新芝居 [名代 隈取屋嘉助座本 中村富之丞]	一谷嫩軍記熊谷陣所物語	三折梅笑	《2》中村富十郎	三折其鶴	中村仲蔵	木ノ村とみさ	三折大二郎	三折松五郎											役割番付
1852	嘉永5	9/24～10/18	河原崎座	一谷嫩軍記序切・二の口・三の口	《8》市川団十郎	《3》嵐璃寛	《7》市川高麗蔵	《5》市川海老蔵	《5》市川団之助	播谷七右衛門	市川浜五郎	《3》岩井桑三郎	《1》市川猿蔵	《4》浅尾奥山							熊谷／譲りの／陣扇 日付は『江戸芝居番付朱筆書入れ集成』による。	辻番付・役割番付・絵本番付
1852	嘉永5	11/吉～	堺新地南芝居 [名代 島屋伊兵衛座本 中村富右衛門]	一谷	市川玉猿	中村仲蔵	《2》三折徳次郎	市川立之助	市川鹿蔵	市川新三郎		沢村小萩	市川鹿蔵	姉川新松		《2》三折徳次郎	市川鹿蔵	中村芝喜三郎	市川升之助		庄屋（姉川新松）。	役割番付
1853	嘉永6	5/27～	市村座	意東絵懸額一谷嫩軍記陣門・組討	《1》中村芝雀							《1》中村福助	尾上梅松	中村翫太郎								辻番付・役割番付・絵本番付
1854	嘉永7	5/15～6/28	市村座	一谷嫩軍記陣屋	《1》中村福助	《2》中村富十郎	《3》嵐吉三郎	《2》中村仲助	《5》嵐小六	幸蔵	中村翫太郎	《13》市村羽左衛門									日付は『江戸芝居番付朱筆書入れ集成』による。	辻番付・役割番付・絵本番付
1854	嘉永7	5/吉～	大坂筑後芝居 [座本 中村玉三郎]	一谷嫩軍記大序より三ノ切迄	《4》三折大五郎	《4》山下金作	《1》実川延三郎	《1》三折梅舎	《1》実川勇次郎	《2》三折源之助	実川鯨蔵	中村梅花	《5》尾上芙蓉	市川市友	《2》三折源之助	《1》三折梅舎	《6》市川新車	三折大次郎	《2》中村友三	市川市友		役割番付・絵尽し
1854	嘉永7	5/吉～	大坂角の芝居 [座本 中村玉蔵]	一谷嫩軍記大序より三だんめ迄	《1》中村玉七	《3》片岡愛之助	《1》三折稻丸	《2》嵐冠十郎	中村八わた	中村寿郎	藤川鐘九郎	嵐国橋	中山楽之助	《4》浅尾為十郎	《6》嵐雛助	《1》三折稻丸	《1》中村玉七	中村寿郎	片岡当之助	嵐舎丸		役割番付・絵尽し

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1854	嘉永7	5/吉～	伊勢 中之地蔵芝居 〔座本 市川小秀〕	一ノ谷嫩軍記 三ノ口・三ノ切																	子供芝居。市川鯉吉ほか。	『伊勢歌舞伎年代記』
1854	嘉永7	6/24～	熱田 亀井山御境内 〔名代 浅野屋勝治 太夫本 中村津多右工門〕	一谷嫩軍記 大序より三段目迄	成田屋七左衛門		《2》坂東玉三郎	《2》中山文五郎	中村梅蔵		片岡我六	浅尾関十郎	《2》坂東玉三郎	《6》浅尾国五郎		浅尾徳三郎		市川三之丞	《6》浅尾国五郎		庄屋（市川森蔵）。	役割番付
1854	嘉永7	6/吉～	安芸 宮島大芝居 〔座本 中村駒之助〕	一の谷	《2》尾上多見蔵	《3》藤川友吉		《1》中村雀右衛門	嵐璃登			《2》中村翫雀	市川勝三郎	片岡蝶十郎	《2》三柘源之助				《6》市川新車			『宮島歌舞伎年代記』
1854	嘉永7	7/吉～	京 北側大芝居 〔名代 亀谷桑之丞 早雲長太夫〕	一谷嫩軍記 上下	中村成之助	嵐栄三郎	市川嘉代之助	嵐和橘	坂東玉之助		尾上多見松	中村玉二郎	坂東玉助	市川玉蔵								役割番付
1855	安政2	10/吉～	大坂 筑後芝居 〔座本 市川玉三郎〕	一谷嫩軍記 大序より三ノ切迄	《4》三柘大五郎	《4》山下金作	《1》実川延三郎	《1》三柘梅舎	《1》実川勇次郎		実川大八				《2》三柘源之助							役割番付・ 絵尽し
1856	安政3	3/吉～	名古屋 若宮芝居 〔名代 松本屋増太郎 座本 音羽屋新治郎〕	一谷嫩軍記 組討・陣屋	《1》中村福助	《6》市川新車	《1》実川延次郎	《1》中村半五郎	瀬川乙女		中山市蔵											役割番付
1856	安政3	11/吉～	京 北側大芝居 〔名代 亀谷桑之丞 早雲長太夫〕	一谷嫩軍記 絵入三冊	《2》中村翫雀・ 《1》中村玉七	《3》中村大吉	《2》中村翫雀・ 《1》中村玉七	《6》松本幸四郎	《4》山下金作	《2》市川滝十郎	《4》浅尾為十郎	嵐鱗子	中村千之助	《2》中山文五郎	《2》嵐璃珪	《6》松本幸四郎	中村千之助		《1》片岡市蔵	嵐舎丸		役割番付
1857	安政4	6/吉～	安芸 宮島大芝居 〔座本 中村翫八〕	一の谷	《4》三柘大五郎	《4》山下金作		《2》中山文五郎							《2》市川滝十郎	尾上松緑				《4》浅尾為十郎		『宮島歌舞伎年代記』
1858	安政5	7/14～	中村座	奉納小室山懸額 九枚 一の谷序の切・組打・陣屋	《1》中村福助	《6》市川新車	尾上和市	中村翫太郎	《5》嵐小六			《4》関花助	岩井米次郎	中村翫助								辻番付・絵本番付
1859	安政6	4/12～	金沢 卯辰八幡社芝居 〔座本 中村芝加十郎〕	一の谷嫩軍記 熊が谷陣屋	山下喜八	実川鬼柳	市川吾妻	市川虎蔵	実川紋之助	市川定蔵	嵐行理											役割番付
1859	安政6	4/吉～	大坂 いなり社内常芝居 〔名代 高橋季吉〕	一谷嫩軍記 二の切・三段目	《1》浅尾朝太郎	山下金枝	浅尾玉六	市川団次郎	市川恵美之丞		中村丸升	浅尾市松	尾上歌柳	市川団次郎	《2》市川米蔵							役割番付
1859	安政6	5/4～	金沢 十一屋芝居 〔座本 中村芝加十郎〕	一の谷嫩軍記	中村芝加十郎	中村つるの助	中村銀の介	中村芝加蔵	坂東七蔵	中村芝キ蔵	沢村紀十郎	中村松之助	中村七之介	中村芝右衛門	中村松之助	中村つるの助	坂東七蔵	中村つる代		中村芝右衛門		役割番付
1859	安政6	5/21～	伊勢 中川原芝居	一の谷嫩軍記 陣屋もの語																	尾上菊右衛門ほか。	『伊勢歌舞伎年代記』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1859	安政6	10/吉～	大坂 筑後芝居 [座本 嵐 和三橋]	一谷嫩軍記 大序より三 段目迄	《1》実川 延三郎	《3》藤川 友吉	《1》中村 玉七	《1》片岡 市蔵	《3》中山 一徳		実川菊蔵	《1》大谷 友松	《5》尾上 芙雀	《2》中村 仲助	《3》中村 駒之助	浅尾大吉	中村富之 丞	中村寿郎	嵐舎丸	実川鯨蔵		役割番付・ 絵尽し
1860	安政7	4/吉～	大坂 法善寺	一谷嫩軍記 三だん目	《1》中村 米吉	片岡松之 助	嵐繁蔵	市川滝市	百村駒市	浅尾浅松	中村富助											役割番付
1860	安政7	8/22～	金沢 鍛冶八幡社 芝居 [座本 沢 村半十郎]	一谷嫩軍記 陣屋	中村寿雀	嵐亀菊		片岡奥十 郎	坂東与三 郎													『金沢の歌 舞伎』
1861	文久1	3/吉～	大坂 角の芝居 [座本 中 村玉太郎]	一谷嫩軍記 三の口切	《2》中村 橋之助	市川滝次 郎	市川猿之 助	中村玉芝	片岡松之 助	中村翫二 郎		中村歌之 助		中村玉芝							中村玉七一 周忌追善。	役割番付・ 絵尽し
1861	文久1	5/吉～	京 南側大芝居 [名代 都 万太夫 布袋屋梅之 丞]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三 段目マデ	《2》尾上 多見蔵	《3》藤川 友吉	《1》実川 延三郎	《1》片岡 市蔵	《4》藤川 八蔵	市川桃太 郎	実川菊蔵	浅尾大吉	《3》中山 一徳	《2》中村 仲助	浅尾大吉	《2》中村 仲助	藤川八太 郎		《1》実川 延之助	実川鯨蔵	庄屋（実川鯨 蔵）。	役割番付
1861	文久1	5/上旬～	伊勢 古市常芝居 [名代 西 口弥蔵 太夫本 沢 屋宗三郎]	一ノ谷嫩軍 記 大序より三 段目迄	中村鶴助	尾上松之 丞	嵐寿鶴	尾上松鶴	沢村団橋	浅尾玉三 郎	片岡竹治	尾上松之 丞	嵐橋之助	嵐寛十郎	嵐寿鶴	尾上松鶴	尾上松之 丞		中村鶴助		江南花／流花枝 庄屋（嵐寛十 郎）。	役割番付
1861	文久1	11/27～	金沢 川上芝居	一の谷嫩軍 記 陣家	栄寿	鶴之助	橋蔵	芝右衛門	鯛十郎	伊太郎	冠右衛門											役割番付
1862	文久2	2/吉～	広島 打越中小家	一の谷 三まく	《1》坂東 秀調	瀬川あや め	《3》沢村 源之助	市川黒猿					市川団之 丞	尾上多見 市	尾上富松		市川滝之 丞					『宮島歌舞 伎年代記』
1862	文久2	3/吉～	大坂 座摩社内 [名代 宮 川門之助]	一谷嫩軍記 三の口切	中村芝三 郎	嵐栄次郎	嵐寛三郎	坂東団蔵			市川紅十 郎	嵐栄次郎	中村とき 江	坂東団蔵								役割番付
1862	文久2	3/吉～	堺 大寺 [名代 玉 村歌内]	一谷嫩軍記 三の口切	中村芝三 郎	嵐栄治郎	嵐寛三郎	坂東団蔵			市川紅十 郎	嵐栄治郎	中村とき 江	坂東団蔵								役割番付
1862	文久2	5/吉～	大坂 いなり社内 [名代 高 橋季吉]	一の谷嫩軍 記 陣屋	嵐三幸	市川鯉之 丞	嵐和橋	市川団二 郎	中村琴三 郎	嵐小三津												役割番付
1862	文久2	6/吉～	堺 新地南芝居 [座本 市 川幸治郎 名代 淡路 屋宗兵衛]	一谷嫩軍記 陣や	嵐三幸	市川鯉之 丞	嵐和橋	市川団二 郎	中村琴三 郎	嵐小三津												役割番付
1863	文久3	2/2～	市村座	蝶千鳥須磨 組討 敦盛出陣・ 組討・兎原 の里・陣屋	《4》市川 小団次	《2》尾上 菊次郎	《13》市 村羽左衛 門	《6》市川 団蔵	《1》中村 歌女之丞	《5》市川 雷蔵	《6》坂東 又太郎	《13》市 村羽左衛 門	《6》坂東 三津五郎	《2》片岡 十蔵	《2》沢村 訥升	《3》市川 九蔵	《2》尾上 菊次郎	《6》市川 団蔵	《2》片岡 十蔵	坂東村右 衛門		辻番付・役 割番付・絵 本番付
1863	文久3	10/吉～	大坂 中の芝居 [座本 嵐 吉万寿]	一谷嫩軍記 大序より三 の切迄	《3》嵐吉 三郎	《3》藤川 友吉	《1》実川 延三郎	《1》中村 雀右衛門	《1》実川 勇次郎	《3》市川 男女蔵	市川団次	嵐鱗子	《5》尾上 芙雀	嵐吉右衛 門	《3》市川 男女蔵	《1》実川 八百蔵	《4》藤川 花友	藤川友枝	藤川扇蔵	嵐義三郎	流枝桜／江南梅 庄屋（実川荒 蔵）。	役割番付・ 絵尽し
1863	文久3	10/吉～	讃岐 金毘羅芝居 [座本 尾 上亀吉]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三 段目迄	《2》尾上 多見蔵	尾上梅之 丞	《3》市川 男女蔵	大谷門蔵	嵐富義三 郎	榊山小太 郎	中山半蝶	嵐橋之助	沢村其答	市川扇蔵	尾上多蔵	尾上朝十 郎	尾上梅之 丞	山下里蝶	市川扇蔵	中村翫太 郎	庄屋（尾上朝十 郎）。	役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1864	元治1	3/上旬～	津 贄崎常芝居 [名代 永 楽屋久兵衛 座本 中村 小門治 太夫本 中 村萬右衛 門]	一谷嫩軍記 大序より三 段目まで	《6》嵐雛 助	市川花升	中村玉治 郎	《2》片岡 十蔵	市川寿美 松	市川寿若	大谷富右 衛門	中村新雀		嵐雛十郎	《6》嵐雛 助	片岡口蔵	尾上三朝		嵐雛十郎	市川寿若		役割番付
1864	元治1	4/上旬～	三河 吉田宿手間 町定芝居	一谷嫩軍記 大序より三 段目迄	《6》嵐雛 助	市川花升	中村玉治 郎	《2》片岡 十蔵	市川寿美 松			中村新雀		嵐雛十郎	《6》嵐雛 助		尾上三朝		嵐雛十郎			役割番付
1864	元治1	5/未詳～	伊勢 古市芝居 [名代 兜 屋友吉 座本 中村 小門治 太夫本 中 村萬右工 門]	一谷兜軍記 大序より三 段目まで	《6》嵐雛 助	市川花升	中村玉治 郎	《2》片岡 十蔵	市川寿美 松	市川寿若		中村門三		嵐雛十郎	《6》嵐雛 助	片岡口蔵	尾上三朝		嵐雛十郎			役割番付
1864	元治1	12/吉～	大坂 天満芝居 [座本 市 川小伝治]	一谷嫩軍記 大序ヨリ三 段目迄	《2》尾上 多見蔵	中村千之 助	《3》市川 市蔵	《1》三折 梅舎	嵐富三郎	尾上梅朝	嵐寛右衛 門			《4》浅尾 奥山	《3》市川 市蔵	《1》三折 梅舎	中村千之 助	《4》藤川 八蔵	浅尾奥山			役割番付
1865	慶応1	5/吉～	堺 新地南芝居 [名代 座本 市川 幸治郎]	一谷嫩軍記	尾上松玉	中村松保	嵐璃玉	浅尾芦舟	藤川八蔵	尾上梅朝	市川市六	嵐璃玉	中村歌女 七	中村丸幸	嵐璃玉	嵐団橋	中村松保	《4》藤川 八蔵	浅尾芦舟	中村丸幸		役割番付
1865	慶応1	6/吉～	甲府 亀屋座	一谷嫩軍記 大序より三 段目迄	《1》河原 崎権十郎	河原崎紫 扇	市川寿升	《2》市川 米十郎	岩井花升		嵐島八	河原崎花 扇	坂東佳調	《2》市川 米十郎		市川寿升	河原崎花 扇	岩井花升	《2》市川 米十郎			役割番付
1865	慶応1	11/吉～	京 北側大芝居 [名代 亀 谷桑之丞 早雲長太 夫]	一谷嫩軍記 三の口切	《2》尾上 多見蔵	《1》市川 寿美之丞	《4》嵐徳 三郎	《1》浅尾 朝太郎		尾上梅朝	市川市六	《1》市川 右団治	中村歌女 七	《4》浅尾 奥山								役割番付
1866	慶応2	3/吉～	大坂 角の芝居 [座本 三 折蔵之助]	一谷嫩軍記 つゞき五段	《2》尾上 多見蔵	中村千之 助	《2》市川 滝十郎	《5》三折 大五郎	嵐富三郎	市川市升	《3》中村 友三	《2》片岡 我当	中村歌女 七	《4》浅尾 奥山	《4》嵐徳 三郎	《2》市川 滝十郎	中村千之 助		《5》三折 大五郎			役割番付・ 絵尽し
1866	慶応2	3/吉～	安芸 宮島市芝居 [座本 坂 東三助]	一の谷		嵐福松		嵐三津右 衛門							坂東襄助							役割番付・ 『宮島歌舞 伎年代記』
1866	慶応2	5/吉～	京 北側大芝居 [名代 亀 谷桑之丞 早雲長太 夫]	一谷嫩軍記 流しの枝										《4》嵐徳 三郎	《2》市川 滝十郎	中村千之 助		《1》浅尾 朝太郎			役割番付	
1867	慶応3	1/吉～	大坂 あみだ池 [名代 高 橋竹蔵]	一谷嫩軍記 大序より陣 屋まで	《1》浅尾 朝太郎	中村梅香	市川市紅	大嵐美津 大	嵐楯蔵	浅尾幸朝	浅尾浅次 郎	片岡当三 郎	尾上徳松	片岡島十 郎	浅尾幸朝	嵐楯蔵	山下八重 菊	大嵐三津 大	中村駒四 郎	片岡島十 郎		役割番付
1867	慶応3	4/19～	守田座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《4》中村 芝翫	《5》大谷 友右衛門	《2》沢村 訥升	《3》中村 仲蔵	岩井繁松	松本錦升	坂東利根 蔵											役割番付・ 絵本番付
1867	慶応3	9/吉～	伊勢 一身田 [勸進元 黒田屋増吉 太夫本 中 野屋市蔵]	一ノ谷嫩軍 記 大序ヨリ陣 屋マデ	《1》浅尾 朝太郎	嵐大三郎	嵐楯次郎	三折大吉	尾上菊三 郎			中村玉七	藤川桑之 助		浅尾幸朝	嵐楯次郎			中村駒四 郎			役割番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1868	慶応4	5/吉～	大坂堀江芝居 [座本市川三之助]	一谷嫩軍記大序ヨリ陣屋マデ	中村梅若・ 〈序〉中村駒十郎	《2》中村芝雀	《1》実川八百蔵	市川団二郎	山下里紅	中村歌女蔵	中村駒蔵	《3》市川米十郎	市川滝江	中村歌間助	嵐和三郎	《2》中村芝雀	片岡銀杏丸	中村友二	市川猿助	中村芝右衛門	中村芝翫／廿三回忌／追善狂言	役割番付・『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1869	明治2	6/吉～	大阪北新地芝居	一谷嫩軍記大序より三段目まで	中村梅司	片岡松之助	片岡松若	《5》浅尾友蔵	木ノ村とみさ	尾上加賀七	中村薫七郎	中村玉太郎	中村梅升	中山猪八	浅尾与作	中村梅升		木ノ村とみさ	片岡我久三郎	中山猪八		『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1870	明治3	3/吉～	大阪御霊芝居	一谷嫩軍記だんとく山・陣家	《1》浅尾朝太郎	嵐大三郎	市川新升	片岡当之助	嵐璃光	浅尾内匠	市川紅十郎	実川正朝	嵐団之助	中村駒市	片岡島之助		片岡松之助					『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1870	明治3	4/吉～	大阪若太夫芝居	一谷嫩軍記大序より三段目まで	瀬川小由加	小川小高	国村小花	中村小里	嵐花丸	中村小滝	大谷喜代松	嵐花丸	国村小花	中村小虎	嵐花丸	国村小花	瀬川小由加	小川小高	大谷喜代松	中村小虎		『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1870	明治3	5/7～	市村座	一谷嫩軍記敦盛出陣・組討・陣屋	《7》河原崎権之助	《2》尾上菊次郎	《3》市川九蔵	《3》関三郎	《5》市川門之助	《1》嵐璃鶴	相蔵	《14》市村羽左衛門	《2》河原崎国太郎	坂東橋十郎								辻番付・絵本番付	
1870	明治3	6/未詳～	広島宮島大芝居	一谷陣屋	《2》尾上多見蔵	《1》荻野扇女		《1》中村雀右衛門														『宮島歌舞伎年代記』	
1871	明治4	4/吉～	大阪筑後芝居	一谷嫩軍記流しの枝		《1》おぎ野扇女	《4》嵐璃寛			《5》中村鶴助				《4》柴崎林左衛門	《6》大谷広右衛門	《6》嵐雛助				《1》中村雀右衛門	《6》大谷広右衛門		『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1871	明治4	7/24～	金沢浅野川桜馬場芝居	一ノ谷嫩軍記三段目	《2》尾上多見蔵	《10》嵐三右衛門	《3》中村福助	中村七賀助	市川滝之丞	中村芝加十郎	市川団治	中村芝加十郎	坂東佳女三					坂東佳女三	中村銀之助	嵐三津右衛門	中村芝歌蔵		役割番付
1872	明治5	6/吉～	大阪松島大芝居	一谷の嫩軍記陣家	《1》尾上卯三郎	嵐瑠丸	実川若松	尾上多見太郎	坂東芝三郎	中村橋太郎	市川小伝治	《2》実川延次郎	嵐徳丸			尾上多見丸						『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1872	明治5	7/6～	中村座	源平魁荘士北野社内・須磨浦辺・直実陣屋	《4》中村芝翫	《6》坂東三津五郎	《5》尾上菊五郎	《3》中村仲蔵	《3》岩井紫若	中村芝歌之助	中村鷺助	《3》岩井紫若	《6》坂東三津五郎	中村仲太郎								役割番付	
1872	明治5	9/吉～	京都道場芝居	一谷嫩軍記上中下	《3》浅尾与六	嵐寛三郎	《4》嵐橘三郎	《5》中島三甫蔵	嵐三勝	浅尾朝太郎	浅尾十六郎	市川福太郎	実川正朝	片岡蝶十郎								『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1873	明治6	9/上旬～	津観音芝居	一の谷嫩軍記	《3》市川九蔵	嵐寛三郎	市川市鶴	中島三甫蔵			浅尾国五郎		嵐徳之助									役割番付	
1874	明治7	2/10～	岐阜いなば芝居	一谷嫩軍記大序より三段目切迄	《5》市川鰻十郎	片岡松太郎	市川姉蔵						片岡銀杏丸	尾上松蔵	中村梅雀		尾上松助		嵐島之助			役割番付	
1874	明治7	7/15～	河原崎座	一谷嫩軍記須磨浦組討・直実陣屋	《9》市川団十郎	《2》河原崎国太郎	《2》沢村訥升	《3》関三郎	尾上栄三郎	《1》中村時蔵	市川団四郎	《2》沢村訥升	市川新車	市川団右衛門								役割番付	
1874	明治7	9/1～	中島座	一谷嫩軍記堀川館・兔原の里・平家軍門・須磨浦組討・熊谷陣屋	太郎	巴杖	重蔵	路鳥	徳之丞	橘三郎	麦蔵	重蔵	徳之丞	路鳥	幸蔵	翫丸	い千之助	源之助	璃久三郎	島五郎		絵本番付	
1875	明治8	3/2～	喜昇座	一谷嫩軍記四番続	《1》坂東鶴蔵	《6》中村十蔵	《1》松尾猿之助	尾上右衛門	坂東八重之助	坂東つる次郎	嵐一七八	《6》中村十蔵	中村十蔵	立花屋三八	立花家太郎	坂東鶴蔵	坂東君三郎	近江金兵衛	坂東つる八	嵐一七八		役割番付・絵本番付	
1875	明治8	5/吉～	京都北側芝居	一谷嫩軍記全二冊	《5》市川鰻十郎	《1》沢村曙山	《3》市川九蔵	《4》浅尾奥山	坂東あづま	大谷紫当		坂東家橋	嵐馬太郎	中村琥珀郎								『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1875	明治8	9/吉～	大阪若太夫芝居	一の谷嫩軍記流の枝									嵐橘璃之助	中村飛鶴	実川延童				三柝福丸	中村芝松		『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1876	明治9	3/吉～	堺宿院芝居	一谷嫩軍記三の口切	《3》浅尾与六	片岡松太郎	《6》嵐三五郎	中村琥珀郎	実川芦鷹	浅尾朝太郎		中村仙昇	中村喜代三	中村琥珀郎								役割番付	
1876	明治9	8/4～	甲府亀屋座	一谷嫩軍記五満久	《4》中村芝翫	嵐大三郎	小川幸升	《5》尾上菊五郎	中村喜代三郎		中村成蔵	尾上梅三郎	中村喜代三郎	尾上梅五郎	尾上尾登三郎	坂東竹二郎	中村駒之介	市川団八	坂東薪之助			役割番付	
1876	明治9	8/未詳～	津贄崎座	一谷嫩軍記大序より大切まで	《3》市川市十郎	《6》嵐三五郎	嵐璃笑	《3》中山喜楽	沢村田紀之丞		中村京蔵	《6》嵐三五郎	嵐小七		嵐璃笑	《3》市川市十郎	嵐小七		嵐義三郎	市川森蔵		役割番付	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1876	明治9	9/29～	春木座	一谷嫩軍記〔御所・菟原里・陣門・組打・陣屋〕	鶴五郎	登見松	歌三郎	千之助	梅女	鶴之助	政二郎	登見松	亀太郎	千之助	鶴五郎	歌三郎	姫松	桂之助	鱗車	千之助		絵本番付
1877	明治10	4/6～4/18	名古屋橋座	一谷嫩軍記大序ヨリ陣屋マデ	《9》市川団十郎	《1》坂東秀調	《2》沢村訥升	市川団右衛門	中村登雀	中村芝三郎	市川市六郎	坂東家橋	《1》沢村百之助	市川団右衛門	尾上梅朝	坂東家橋	中村登雀	沢村四郎五郎	市川国五郎	中村芝五郎		『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1877	明治10	5/吉～	大阪中の芝居	一谷嫩軍記陣家	《3》中村翫雀	《2》中村雀右衛門	《5》坂東彦三郎	《1》市川荒五郎	尾上いろは	《1》実川延若	《3》市川市十郎										中村歌右衛門／二十五回忌／追善狂言	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1877	明治10	5/未詳～	伊勢古市芝居	一の谷嫩軍記大序より三段目迄	《2》尾上多見蔵	片岡松太郎	《1》実川八百蔵	尾上多井蔵	尾上菊之丞	実川延五郎		実川八百枝	尾上菊之丞	《6》大谷広右衛門	実川八百枝	尾上多井蔵	尾上菊之丞		実川延五郎	《6》大谷広右衛門		役割番付
1877	明治10	6/11～	新富座	一谷嫩軍記序切・組討・陣屋	《4》中村芝翫	中村宗十郎	《1》市川左団次	《5》尾上菊五郎	岩井志げ松	《1》市川子団次	《3》大谷門蔵	《5》尾上菊五郎	《8》岩井半四郎	《2》中村鶴蔵	《8》岩井半四郎	《1》市川左団次	中村喜代三郎	《3》中村仲蔵	《4》中村芝翫			辻番付・役割番付
1878	明治11	3/3～	京都南側芝居	一谷嫩軍記続五冊	《4》中村芝翫	嵐大三郎	《2》沢村訥升	《5》市川鰻十郎	中村喜代三	中村鶴五郎	藤川友九郎	中村芝三郎	沢村菊之助	中村芝五郎	《2》沢村訥升	《4》中村芝翫	中村喜代三	中村芝五郎				『近代歌舞伎年表・京都篇』
1878	明治11	9/6～	豊橋朝倉座	一の谷嫩軍記	《4》中村芝翫	嵐大三郎	《2》沢村訥升	市川寿美之丞	沢村田紀之丞	中村鶴五郎		実川延童	市川寿美之丞	中村駒六	《2》沢村訥升	《4》中村芝翫	《5》中村喜代三郎			中村駒六		役割番付
1878	明治11	10/12～	高松高松芝居	一ノ谷																	《4》中村芝翫ほか。	『歌舞伎年表』
1878	明治11	11/未詳～	丸亀新堀芝居	一ノ谷嫩軍記流枝より陣家まで	《3》市川市十郎	瀬川乙女	中村飛鶴	市川滝十郎	実川若菊	大谷友治	中村千代	嵐笑三郎	市川右鶴	《3》中山文五郎								役割番付
1879	明治12	1/吉～	神戸兵庫村芝居	一の谷嫩軍記大序より三段目まで	《4》中村芝翫	片岡松太郎	市川鶴五郎	中村琥珀郎	嵐瑠丸	嵐和橋		《4》嵐瑠蔵	尾上玉之助	《3》中村友三	市川鶴五郎	中村鶴五郎	嵐瑠丸	嵐橋久助				役割番付
1879	明治12	2/2～	金沢西御影町芝居	一谷嫩軍記陣家	坂東鯛十郎	市川団の丞	浅尾内匠	中村鶴之助	中村鶴松	実川家正	嵐鱗若											役割番付
1879	明治12	4/未詳～	高知稲荷新地芝居	一谷嫩軍記大序より物語り迄	《2》尾上多見蔵	市川薫之助	坂東太郎	市川玉猿	実川鷹正		坂東太蔵	尾上松寿	市川薫之助	市川玉猿	実川鷹正	尾上松寿	《5》藤川花友		坂東多喜五郎	市川玉猿		役割番付
1879	明治12	6/4	新富座	一の谷陣屋	《9》市川団十郎	《4》助高屋高助	宗十郎	《3》中村仲蔵	小紫	《5》中村鶴助											独逸皇孫見物。	『歌舞伎年表』
1879	明治12	10/3～	猿若座	一谷嫩軍記陣屋	《3》市川市十郎	《1》沢村百之助	市川権十郎・《3》片岡我童	《3》中村仲蔵	《4》岩井紫若	《7》市川八百蔵	《3》片岡市蔵											辻番付・絵本役割
1880	明治13	3/未詳～	宮島	一谷嫩軍記	《4》中村芝翫																	『宮島歌舞伎年代記』
1880	明治13	4/未詳～	金沢浅野川桜馬場芝居	一谷嫩軍記																	中村芝加十郎、中村鶴之助ほか。	『金沢市史』
1880	明治13	10/9～	横浜鳶座	一谷嫩軍記三満久	薪車	玉三郎	芦若	薪十郎	八重三郎	仙蔵	寿鶴	鶴蔵	鶴蔵	錦車	芦若	薪車	玉三郎	音蔵	薪十郎	錦車		辻番付
1880	明治13	10/吉～	大阪弁天座	一の谷嫩軍記花渡しより陣家まで	中村福松	中村福之丞	市川男女之助	中村高助	中村高三郎	市川男女之助	沢村雪松	中村高三郎	中村芝女松		中村福栄	中村高三郎	片岡みどり		片岡松三郎	中村高助	長崎・女芝居。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1881	明治14	1/1～	京都岩上劇場	一谷嫩軍記三ノ口切	《3》市川市十郎	中村紫琴	尾上多蔵	大谷龍左衛門	実川八百枝	市川喜代三郎	坂東太喜五郎											『近代歌舞伎年表・京都篇』
1881	明治14	4/2～	大阪高島座	一の谷嫩軍記大序より陣屋まで	《4》中村芝翫	片岡松太郎	中村鶴五郎	中村琥珀郎	中村梅太郎	嵐和橋	中村玉芝	《1》中村児太郎	嵐璃橋之助	《3》中村友三	浅尾与作	中村玉芝	中村梅太郎	中村成右衛門	市川鶴五郎	中村芝歌五郎		『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1881	明治14	4/19・4/20	京都千本一条上演劇	一の谷嫩軍記陣家ノ段	嵐璃若	市川竹糸	坂東梅丈	実川小津ね	叶渡丸	市川梅枝	中村松寿											『近代歌舞伎年表・京都篇』
1881	明治14	7/14～	春木座	暁馳嫩軍記組討・陣屋	仲太郎	桃蔵	《2》市川金太郎	蝠之助	鷹七	かのふ	幸次	《2》市川金太郎	ひさご	雁七							子供芝居。	辻番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1882	明治15	3/1～	京都 東向の芝居	一谷嫩軍記																		『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1882	明治15	3/21～	横浜 羽衣座	一谷嫩軍記 四番続	《9》市川 団十郎	《4》岩井 紫若	坂東家橘	市川団右 衛門	小紫			《4》中村 福助	かほる	猿十郎	《4》岩井 紫若	鶴五郎	かほる	幡左右		猿十郎		辻番付
1882	明治15	3/未詳～	岐阜 遊楽座	一谷嫩軍記 大序より陣 屋迄		《3》沢村 国太郎	尾上松之 助	浅尾与作	中村千鳥		市川鰐九 郎				三柘源五 郎	尾上多見 太郎	市川団枝	浅尾三朝	市川鰐九 郎	浅尾与作		役割番付
1882	明治15	4/24～	市村座	一谷嫩軍記 陣屋	《4》中村 芝翫	《4》嵐璃 寛	《4》三柘 源之助	《9》市川 団十郎	《3》河原 崎国太郎	《3》片岡 我童	《2》中村 鶴蔵											辻番付・絵 本役割
1882	明治15	6/7～	京都 北側演劇	一谷嫩軍記 二の口より 三の切まで	《3》市川 市十郎	中村紫琴	《1》中村 鷹治郎	《1》市川 荒太郎	市川右田 作	市川猿升	大谷友治	《1》中村 鷹治郎	嵐璃幸	中村津多 七	実川家正	《1》実川 新四郎						『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1882	明治15	6/吉～	大阪 堀江芝居	一の谷嫩軍 記 三段目	市川三十 郎	実川八百 枝	尾上多年 蔵	嵐梅太	坂東新昇	嵐珪丸	大谷くつ わ											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1882	明治15	6/未詳～	神戸 大黒座	一の谷嫩軍 記 陣家	市川三十 郎		尾上多年 蔵		尾上多根 蔵	嵐珪丸												役割番付
1882	明治15	7/吉～	大阪 高島座	一の谷嫩軍 記 陣屋	中村慶十 郎	嵐橋尾	中村駒次 郎	市川口之 助	市川寿女	中村小福	中村珀治											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1882	明治15	11/未詳 ～	岐阜 国富座	一の谷嫩軍 記 五幕	市川小猿 治	片岡当久 太郎	中村駒梅	中村鶴丸	実川家朝		片岡当若	嵐珪丸	実川家朝	片岡当若								役割番付
1883	明治16	4/28～	盛元座	一谷嫩軍記 軍書五卷	歌助	喜若	嵐橋鶴	太摩十郎	巴紀三郎	喜松	喜代蔵	徳五郎	小勝	佳津之助	橘昇	播磨十郎	松之助	巴紀三	花雀	三重蔵		辻番付
1883	明治16	5/下旬～	京都 道場芝居	一谷嫩軍記 三段目	《2》尾上 多見蔵	中村喜代 三	《4》嵐珪 蔵	中村芝之 助	中村千鶴	中村菊之 助	中村芝九 郎											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1883	明治16	5/吉～	宇治 福原広場芝 居	一谷嫩軍記 三段目	《2》尾上 多見蔵	中村喜代 三	《4》嵐珪 蔵	中村芝之 助	中村千鶴	中村菊之 助	中村芝九 郎											役割番付
1883	明治16	10/吉～	大阪 御霊社内土 田席	一谷嫩軍記 熊谷陣家	実川八百 寿	中村飛雀	実川延笑	市川助太 郎	坂東のし 太郎	実川小延 童	尾上卯多 三郎	嵐笑之介									首振り芝居。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1883	明治16	11/吉～	大阪 元長州屋敷 小家	一谷嫩軍記 大序・北野 神社・福原 御所・陣 門・須磨の 浦・流しの 枝・宝引・ 熊谷陣家	中村小福	実川八百 光	松尾猿笑	市川助五 郎	中村梅三 郎		中村福升	中村市松	坂東のし 丸	中村芝丸	中村小福	中村飛丸		嵐橋市	中村芝丸		浄瑠璃身振り。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1884	明治17	1/1～	京都 夷谷座	一の谷嫩軍 記 三段目	嵐小虎	中村芝佐 吉	市川花松	大谷友吉	中村佐久 吉	沢村国松	沢村紀久 八										浄瑠璃身振。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1884	明治17	2/吉～	大阪 堀江芝居	一谷嫩軍記 高札渡しよ り流しの 枝・宝引・ 檀特山・三 段目まで	坂東小三 津	坂東大吉	坂東秀助	大谷喜代 松	坂東秀松	坂東三津 枝	坂東三津 太	坂東三津 枝	坂東小雪	坂東梶丸	坂東秀助	坂東三津 太	嵐千鳥		坂東三津 枝	坂東梶丸		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1884	明治17	4/吉～	大阪 天満大工町 芝居	一の谷嫩軍 記 大序より三 の切迄	《3》市川 市十郎	市川薫之 助	中村翫若	《1》実川 新四郎	実川若菊	市川猿升	市川鰐九 郎	中村橋治 郎	市川福之 丞	大谷友治	中村橋治 郎	嵐璃暁	市川梅紅	中村富蔵	市川鰐九 郎			『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1884	明治17	9/21～	名古屋 新守座	一ノ谷嫩軍 記 陣屋	嵐佳香	坂東あつ ま	《4》三柘 源之助	嵐佳十郎	市川鯉之 丞	嵐珪太郎	市川紅十 郎	坂東幹尾										『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1885	明治18	3/1～	大阪 天満大工町 芝居	一谷嫩軍記 熊谷陣家	《2》尾上 卯三郎	三柘源五 郎	中村竹三 郎	嵐梅太	尾上三朝	実川正三 郎	嵐橋治											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1885	明治18	4/20～	千歳座	〔陣門〕 〔須磨浦凱 歌謡曲〕	《3》市川 九蔵							《4》中村 福助		照蔵								『配役総 覧』第六 版・第七版

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1885	明治18	11/未詳～	春木座	一谷一まく																	《1》中村芝鶴、梅太郎、松寿ほか。	『歌舞伎年表』
1886	明治19	5/5～	開盛座	〔菟原の里〕																	勝之助、高麗三郎、時若ほか。	『配役総覧』第六版・第七版
1886	明治19	5/15～	京都夷谷座	一谷嫩軍記陣屋	大谷友吉	中村のしほ		嵐佳久蔵	尾上梅花	沢村国松	浅尾花十										今様能照葉狂言。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1886	明治19	7/1～	中島座	一谷嫩軍記北野社頭・菟原破家・須磨の浦・熊谷陣家	寿三郎	《4》岩井紫若	《1》中村時蔵	《3》片岡市蔵	坂東三津之助	時十郎	時五郎	《4》市川鬼丸	市川団之助	璃久三郎	又吉	幸蔵	坂東三津之助	《4》嵐冠十郎	《4》市川鬼丸	寿三郎		絵本役割
1887	明治20	1/2～	春木座	一谷嫩軍記二幕	《3》市川九蔵	梅太郎	《1》中村芝鶴	《5》嵐冠十郎		竹五郎	市友	市川福之丞	市川茂々太郎	団六								辻番付
1887	明治20	2/3～	金沢卯辰末吉座	一谷嫩軍記陣家	坂東太喜十郎	《2》嵐和歌太夫	沢村訥若	市川団笑	中村千丈	片岡我笑	嵐橋舎											役割番付
1887	明治20	2/19～	名古屋千歳座	一ノ谷嫩軍記熊谷物語	中村仲太郎	中村新雀	片岡松童	嵐猪三郎	市川福丸	中村小福	実川寿妓松											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1887	明治20	5/22～	京都千本座	一の谷熊谷陣屋の段																	片岡蝶十郎、実川正三郎、市川右多蔵ほか。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1887	明治20	10/8～10/19	名古屋末広座	一の谷嫩軍記熊ヶ谷陣屋	坂東家橋	《2》坂東秀調	中村芝三郎	《5》尾上菊五郎	岩井繁松	《4》尾上松助	中村伝五郎											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1887	明治20	10/吉～	伊勢長盛座	一の谷嫩軍記熊ヶ谷陣屋	坂東家橋	《2》坂東秀調	中村芝三郎	尾上鶴五郎	岩井繁松	《4》尾上松助	中村伝五郎											役割番付
1887	明治20	12/4～	京都坂井座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村雀右衛門	中村紫琴	《3》中村芝雀	《1》市川荒太郎	坂東三津代	中村仙昇	市川荒九郎	中村仙昇			中村芝之助	実川鷹章	嵐若橋					『近代歌舞伎年表・京都篇』
1888	明治21	5/1～	春木座	一谷嫩軍記二冊	《3》市川市十郎	梅太郎	市川右田作	《4》中村駒之助	友吉	嵐笑三郎	友次	友吉	《5》嵐みんし	玉五郎								辻番付
1888	明治21	9/13～	寿座	一谷嫩軍記一の谷組討・制札渡し・熊ヶ谷陣屋	中村荒次郎	升若	《5》市川小団次	門蔵	薦三郎	橘次	団七	中村鶴松	左喜之丞	団八			升代					辻番付・絵本番付
1888	明治21	9/未詳～	金沢戎座	一谷嫩軍記陣屋	坂村是雀	《2》嵐和歌太夫	中村歌雀	尾上多見太郎	嵐橋尾	中村雀蔵	藤川友九郎											役割番付
1888	明治21	10/3～	中村座	一谷嫩軍記須磨之浦組討・生田森熊谷陣屋	《9》市川団十郎	《4》中村福助	坂東家橋	《5》尾上菊五郎	《2》坂東秀調	《12》中村勘五郎	《2》中村鶴蔵	《5》尾上菊五郎	《4》岩井松之助	《4》尾上松助								辻番付・絵本役割
1889	明治22	1/1～	京都大市座	一谷嫩軍記全二冊	中村玉芝	中村高之助	黒谷市笑	市川紅十郎	中村翫之助	市川福升	尾上朝十郎	中村飛雀	中村梅女	尾上朝治								『近代歌舞伎年表・京都篇』
1889	明治22	6/18～	名古屋宝生座	一の谷嫩軍記大序ヨリ御殿マテ	中村玉芝	尾上松太郎	中村翫若	片岡当之助	市川寿三	嵐寛三郎	嵐大吉	嵐寛三郎	尾上松太郎	嵐佳久十郎	尾上多賀太郎	実川鬼笑	尾上松太郎		片岡当之助	市川栄升		『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1890	明治23	1/13～1/28	京都祇園館	一谷嫩軍記宮嶋だんまり・須磨浦組討・生田森陣屋	《9》市川団十郎	《2》坂東秀調	《3》中村福助〈高砂屋〉	伝五郎	しげ松	《3》市川猿蔵	市川団八	《1》中村鷹治郎	薦之助	《2》中村鶴蔵								『近代歌舞伎年表・京都篇』
1890	明治23	3/1～	大阪松島八千代座	一谷嫩軍記																	中村鯉三郎ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1890	明治23	4/30～	柳盛座	〔陣屋〕																	和光、亀三郎、中村梅雀ほか。	『配役総覧』第六版・第七版
1890	明治23	5/3～5/9	名古屋末広座	一谷嫩軍記堀川御所より陣屋マテ	《3》市川九蔵	《2》嵐和歌太夫	片岡松童	《3》中山喜楽	沢村国三郎	市川右升	市川市鬼蔵	市川茂々太郎	嵐橋枝	市川播磨蔵	市川助太郎	市川右升	嵐橋枝		市川市鬼蔵	市川播磨蔵		『近代歌舞伎年表・名古屋篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1890	明治23	10/2～	豊橋朝倉座	一の谷																	《4》中村芝翫ほか。	『歌舞伎年表』
1890	明治23	10/26～	名古屋末広座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《4》中村芝翫	《2》坂東秀調	《4》中村福助	《3》片岡市蔵	《2》中村歌女之丞	松幸	中村翫助											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1891	明治24	1/1～	神戸大黒座	一の谷																	《1》実川八百蔵ほか。	『歌舞伎年表』
1891	明治24	5/2～5/4	歌舞伎座	一谷嫩軍記 兔原の里・熊谷陣屋	《9》市川団十郎	《2》坂東秀調	市川権十郎	《5》市川寿美蔵	《7》市川八百蔵	《12》中村勘五郎	〈菟原〉中村翫太郎・〈陣屋〉《1》市川猿之助				市川権十郎	《5》市川新蔵	《2》市川女寅	《5》市川寿美蔵	《1》市川猿之助	《12》中村勘五郎	東京市養育院慈善会。	役割番付
1891	明治24	9/18～	吾妻座	一谷嫩軍記 兔原里・組討・陣屋	伝五郎	《7》尾上美雀	大谷友吉	鶴五郎	路鳥	獅童	翫八	中村小伝次	児福	大谷友吉	中村福円	大谷友吉	此京	獅童	市家六	百六		辻番付
1891	明治24	11/18～11/29	大阪浪花座	一の谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》坂東鶴之助	《4》沢村田之助	《8》嵐雛助	《5》坂東簀助	鳶三郎	《5》中村鶴助	仲十郎											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1891	明治24	11/20～12/9	大阪朝日座	一谷嫩軍記 三段目	《7》沢村訥子	中村かほる	《4》実川延三郎	《1》中村時蔵		《4》沢村源平	片岡我勇											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1892	明治25	3/1～	柳盛座	〔陣屋〕	和光	中村梅雀		勝雀														『配役総覧』第六版・第七版
1892	明治25	3/17～	深野座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《4》中村芝翫	坂東家橋	《5》市川小伝次	《3》市川九蔵	岩井小紫	市川喜猿	中村秀五郎											辻番付・絵本番付
1892	明治25	4/14～	春木座	一谷嫩軍記 組討・陣屋	坂東家橋	《2》中村雀右衛門	《4》中村駒之助	《1》中村芝鶴	《3》中村富十郎	市川右田作	《6》市川宗三郎	《4》岩井松之助	《3》中村富十郎	《12》中村勘五郎								辻番付
1892	明治25	4/17～	藍染座	〔菟原の里〕〔裏表嫩軍記〕											《4》市川鬼丸	又吉	扇成	鯉之助	嘉十郎	鱗昇		『配役総覧』第六版・第七版
1892	明治25	9/19～	三崎座	一谷嫩軍記	太郎	福円	八百三郎	光十郎	三勝	咲松	琴作	梅三	三勝	源五郎	咲松	八百三郎	雀三郎	多賀三郎	滝蔵	源五郎		『続続歌舞伎年代記〈乾〉』
1892	明治25	9/未詳～	仙台仙台座	東京土産劇 錦絵の内 一谷嫩軍記 浜遍間挑・平家陣門・磯端組討・熊谷陣屋	《4》中村芝翫	路之助	鶴五郎	伝五郎	鶴十郎	小伝次	中村翫助	小伝次	児福	秀五郎								辻番付
1892	明治25	12/2～12/18	京都阪井座	一谷嫩軍記 須磨都搦手・あばら屋・須磨ヶ浦・熊谷陣屋	《3》市川市十郎	中村仙昇	中村獅漢	《3》市川荒五郎	嵐橋久之助	阪東豊太郎	阪東太喜五郎	実川小延童	中村梅女	阪東豊太郎	中村仙昇	中村獅漢	片岡愛之助	阪東豊太郎		阪東太喜五郎		『近代歌舞伎年表・京都篇』
1893	明治26	1/1～	大阪松島八千代座	一の谷																	市川巳之助ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1893	明治26	1/12～	名古屋新守座	一の谷嫩軍記 陣屋	《5》坂東簀助	中村富之丞	中村雀蔵	姉川仲十郎	嵐豊枝	中村千鶴	中村駒太郎											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1893	明治26	6/22～	浅草座	一谷嫩軍記 福原御所出陣・須磨浦陣門・同組討・御影里石屋・同宝引・熊谷陣屋	《3》市川九蔵	《2》尾上多賀之丞	喜猿	《3》市川滝十郎	《2》市川女寅	種五郎	翫八	《2》尾上多賀之丞・〈陣屋〉紅若	《2》市川女寅	勇賞								辻番付・絵本番付
1894	明治27	4/19～	春木座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《4》中村芝翫	《3》中村富十郎	《4》中村福助	《4》中村駒之助	《6》吾妻藤蔵	市川右田作	《6》市川宗三郎											辻番付・絵本役割

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1894	明治27	5/8～	金沢戎座	一谷嫩軍記																	《3》市川市十郎、《2》嵐和歌太夫ほか。	「金沢の歌舞伎展」目録（昭和51年）
1894	明治27	6/8～6/27	大阪角劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣家	嵐市蔵	中村友次郎	嵐富太郎	片岡燕童	嵐花光	市川登柀	嵐玉蔵											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1894	明治27	7/12～	真砂座	一谷嫩軍記 熊谷陣家	中村翫助	路之助	璃宗	《3》大谷馬十	璃香	太門	市家六											辻番付
1895	明治28	2/未詳～	横浜蔦座	熊谷陣屋	《7》沢村訥子	沢村国之丞	《7》市川八百蔵	《6》市川宗三郎														『歌舞伎年表』
1895	明治28	3/9～	演伎座	試検願稽古演劇 一谷嫩軍記 生田森陣屋	《5》市川新蔵	坂東秀世	《3》市川升蔵	市川団七	市川歌仙	《6》市川雷蔵	市川団八										《5》市川新蔵休演、熊谷（《3》市川升蔵）。＝『歌舞伎年表』	辻番付
1895	明治28	4/20～	名古屋音羽座	一谷嫩軍記 熊谷陣家	嵐桂子																	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1895	明治28	7/20～	神戸朝日座	一谷嫩軍記 堀川御所制札渡し・経盛館敦盛出陣・菟原の里流しの枝・須磨浦小次郎初陣・同組討檀特山・一の谷幕所宝引・須磨浦熊谷陣家・同首実検	《3》市川市十郎						市川助五郎	市川団吉	三柀源童	市川玉五郎	片岡島之助	嵐守太郎	市川団吉	市川市太郎	市川寿見之丞	市川玉五郎		役割番付
1895	明治28	8/8～	静岡若竹座	一谷嫩軍記 須磨の浦・陣屋	《4》中村芝翫	《2》尾上多賀之丞	時朝	中村翫太郎	坂東秀世	三津之助	《5》市川寿美蔵	《2》坂東八十助	福松	三津十郎								『歌舞伎年表』
1895	明治28	10/2～11/3	明治座	一谷嫩軍記 経盛館出陣・摂津摩耶山・須磨浦組討・熊ヶ谷陣屋	《9》市川団十郎	《2》坂東秀調	市川権十郎	《1》市川左団次	升若	《5》市川小団次	《1》市川荒次郎	《3》市川米蔵	市川莚女	《5》市川寿美蔵								辻番付・絵本役割・筋書
1895	明治28	11/12～	大阪浪花座	一谷嫩軍記 熊谷陣家	《1》中村鷹治郎	嵐巖笑	尾上多見之助	《3》中村福助〈高砂屋〉	中村珊瑚郎	《2》中村政次郎	《5》嵐吉三郎											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1895	明治28	11/20～	大阪福井座	一の谷																	嵐雷三郎ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1895	明治28	11/23～12/1	名古屋末広座	一ノ谷嫩軍記 陣屋	市川左伊蔵	市川薫之助	市川高蔵	市川小半治	市川米三	市川高之助	浅尾浅治郎											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1896	明治29	2/未詳～	柳盛座	〔陣屋〕	和好	梅三郎		中村梅雀	富之丞	柿丸												『配役総覧』第六版・第七版
1896	明治29	5/1～	名古屋京柀座	熊谷陣屋 一幕																	中村紅雀、嵐寛十郎、松本男升ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1896	明治29	8/11～	名古屋音羽座	一谷嫩軍記	中村伝五郎	鶴寿郎	尾上幸十郎	《2》市川箱登羅		璃重		小伝治	花若	嵐猪三郎								『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1896	明治29	8/24～	開盛座	一谷嫩軍記 陣門・組討・陣屋	咲松	照世	鶴若	当三郎	おの江	蝠太郎	飛鶴	専女	三好	種十郎								辻番付
1896	明治29	12/1～	京都常盤座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	和好	福円	紅雀	男升	福之助	雀円	滝五郎											『近代歌舞伎年表・京都篇』
1897	明治30	4/1～	京都阪井座	一の谷 陣屋																	《1》実川延二郎ほか。	『近代歌舞伎年表・京都篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1897	明治30	5/9～	浅草座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》助高 屋小伝次	尾上梅次 郎	市川銀蔵	市川米次 郎	尾上梅丸	沢村訥茂 江	《3》沢村 長之助										子供芝居。	辻番付
1897	明治30	8/22～	演伎座	一谷嫩軍記	《1》市川 荒次郎	市川薫之 助	左伊次	《8》嵐雛 助	半侍	左喜蔵	松五郎											『続統歌舞 伎年代記 〈乾〉』
1898	明治31	2/1～ 2/16	京都 京極座	一谷嫩軍記																		『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1898	明治31	2/25～	横浜 蔦座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》助高 屋小伝次	《1》沢村 宗之助	勝川吉太 郎	市川小若	尾上梅丸	中村吉太 郎	《3》沢村 長之助											辻番付
1898	明治31	2/28～	春木座	一谷嫩軍記 陣屋	《7》市川 団蔵	《7》沢村 訥子	《1》市川 猿之助	《12》中 村勘五郎	尾上梅三	《2》中村 種太郎	尾上菊四 郎											辻番付・絵 本役割
1898	明治31	6/26～	大阪 横井座	嫩軍記 あばら家																		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1898	明治31	7/2～	真砂座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》坂東 鶴之助	片岡愛之 助	《3》沢村 訥升	幸蔵	璃宗	栄次郎	紅十郎											辻番付・絵 本役割
1898	明治31	7/6～	新富座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋物 語	《2》坂東 八十助	《1》中村 又五郎	中村玩	芝子丸	桃吉	市川桃丸	市川桃丸	《3》坂東 三田八	児梅	喜三造	《3》坂東 三田八	米次郎	桃吉	喜三造	百々丸	滝の子		辻番付
1898	明治31	7/9～	演伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《4》中村 芝翫	《1》中村 芝鶴	《4》市川 染五郎	《1》中村 時蔵	梅花	《2》中村 種太郎	時十郎	《2》中村 種太郎	嵐璃幸	歌五郎	《4》市川 染五郎	《1》中村 芝鶴	升次郎	歌時右衛 門	成三郎			辻番付
1898	明治31	8/1～	栄座	一谷嫩軍記 菟原野里・ 須磨浦組 討・熊谷陣 営	三笑	梅芝	翫次	好寿郎	川三郎	芝三郎	太喜十郎	芝三郎	川三郎	い十郎	翫次	蔵十郎	芝三郎	川三郎	い十郎	太喜六		辻番付
1898	明治31	9/11～	深川座	一谷嫩軍記 あばら家・ 陣門・組 討・陣屋	《2》坂東 八十助	《3》坂東 玉三郎	《3》坂東 三田八	米次郎	桃吉	市川桃丸	松太郎	《3》坂東 玉三郎	児梅	滝之子	《3》坂東 三田八	米次郎	桃吉	滝之子	左薙	滝之子		辻番付
1898	明治31	10/22～ 11/15	歌舞伎座	一谷嫩軍記 谷間村山 家・須磨浦 陣門・同機 端組討・生 田森陣屋	《9》市川 団十郎	《2》坂東 秀調	《4》中村 福助	《5》尾上 菊五郎	《5》尾上 栄三郎	《3》三柵 稻丸	《4》尾上 松助	《5》尾上 菊五郎	《4》中村 福助	《3》片岡 市蔵					《3》片岡 市蔵			辻番付・絵 本役割
1898	明治31	11/24～	宮戸座	一谷嫩軍記 陣屋	《2》坂東 又三郎	《4》岩井 松之助	坂東家橋	菊四郎	沢村門之 助	栄次郎	正延次											辻番付
1899	明治32	2/23～	柳盛座	〔陣屋〕	中村翫助	梅三郎	喜丸	中村梅雀	吉三郎	勝之助	桃十郎											『配役総 覧』第六 版・第七 版
1899	明治32	6/1～	大阪 弁天座	一谷嫩軍記 三幕	《4》嵐璃 珪	福円	高福	源五郎	璃幸	雀円	高福	鰻松	卯十郎	高福	源五郎	璃幸	《6》姉川 新四郎	卯十郎	橘楽			『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1899	明治32	9/5～	川上座	一谷嫩軍記	三津次	八重松	静子	狐狗狸	児鷹	蝙蝠	梅二郎	紀の子	静子	梅二郎	狐狗狸	梅花	蝙蝠	八重松	梅二郎			『続統歌舞 伎年代記 〈乾〉』
1899	明治32	10/8～	大阪 浪花座	熊谷蓮生坊 京都黒谷門 前・奥殿直 実物語り	《3》片岡 我当																	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1899	明治32	11/18～	横浜 港座	一谷嫩軍記 須磨の浦	《7》市川 団蔵							《1》中村 芝鶴		市川升太 郎								辻番付
1899	明治32	12/15～ 12/20	名古屋 末広座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《3》片岡 市蔵	《3》三柵 稻丸	亀蔵	《5》坂東 養助	家朝	市川三猿												『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1900	明治33	1/1～	東京座	一谷嫩軍記 壇の浦浜 辺・須磨の 浦陣門・同 浜辺組打・ 熊谷陣屋物 語	《5》市川 寿美蔵	《2》市川 女寅	《1》実川 延二郎	《3》市川 猿蔵	九女八	団吉	升六	《4》市川 染五郎	団吉	《3》市川 新十郎	中村雀三 郎	市川団次 郎			《1》実川 延二郎			辻番付・絵 本役割
1900	明治33	1/15～	大阪 堀江座	熊谷蓮生坊																		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1900	明治33	1/31～ 2/20	京都 阪井座	一谷嫩軍記 組打																	《5》嵐徳三郎、 《2》実川八百蔵 ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』『松 竹百年史』
1900	明治33	3/10～ 3/15	名古屋 末広座	須磨迺浦嫩 軍記 花渡しより 熊谷陣屋ま で	坂東三津 次	中村時子	坂東八重 次	狐狗狸		訥茂丸					狐狗狸	児鷹	蝙蝠	坂東八重 次		瓢		『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1900	明治33	6/3～	新富座	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《1》沢村 宗之助	尾上菊松	《1》中村 又五郎	小若	梅丸	市川高丸	《3》沢村 長之助										子供芝居。	辻番付
1900	明治33	6/7～	横浜 喜楽座	一谷嫩軍記 熊ヶ谷陣屋	《2》坂東 又三郎	《4》岩井 松之助	沢村門之 助	菊四郎	小主水	正延次	市兵衛											役割番付
1900	明治33	8/16～	演伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》坂東 又三郎	九女八	《5》関花 助	《3》市川 新十郎	尾上菊松	幸升												辻番付
1901	明治34	1/1～ 1/23	京都 夷谷座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	市川竜次 郎	嵐若橋	嵐栄次郎	嵐橋緑	中村雀松	実川正若	実川小延 童											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1901	明治34	1/15～	京都 千本北座	熊谷陣屋	沢村門十 郎		正二郎		京蔵		倍十郎											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1901	明治34	2/8～	浅草座	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《3》沢村 長之助	芝三松	《2》坂東 鶴之助	幸之助	紀の子	国三郎	沢村伝次 郎											辻番付
1901	明治34	4/1～	名古屋 朝日座	熊谷陣屋 一幕																	嵐鱗十郎、市川右 家三、市川紅車ほ か。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1901	明治34	4/21～ 4/29	名古屋 御園座	一谷嫩軍記 堀川御所・ 菟原ノ里・ 平家陣門・ 須磨ノ浦組 打・陣屋物 語り	《4》嵐璃 珪	《2》坂東 秀調	市川団三 郎	《5》中村 駒之助	《5》坂東 箒助	市川滝之 助	市川男升	中村小伝 次	沢村萩之 丞	嵐猪三郎	《5》中村 駒之助	《5》坂東 箒助	沢村萩之 丞	市川紅右 衛門	市川団三 郎	嵐猪三郎		『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1901	明治34	5/15～	大阪 福井座	一の谷 五幕	島之助	嵐佳笑	笑雀	彦三郎	玉次郎	璃徳		璃徳	吉太郎		笑雀	佳笑	玉治郎			彦三郎		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1901	明治34	6/20～	市村座	一谷嫩軍記 陣屋	《7》沢村 訥子	《4》岩井 松之助	福之助	《2》坂東 又三郎	沢村国之 丞	成若	村右衛門											辻番付
1901	明治34	6/20～	名古屋 京枳座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋																	尾上幸十郎、橋三 郎、《4》中山喜 楽ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1901	明治34	7/未詳～	栄座	〔陣屋〕	春五郎		崎弥	い十郎		崎之助	市五郎											『配役総 覧』第六 版・第七版 役割番付
1901	明治34	9/13～	神戸 大黒座	一谷嫩軍記 須磨の浦	《7》市川 団蔵							〈敦盛〉 市川茂 丸・〈小 次郎〉 《3》市川 茂々太郎	紅若	雀芝								役割番付
1901	明治34	10/13～	大阪 堀江座	嫩軍記											島之助	璃之助	扇太郎				《6》吾妻 藤蔵	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1901	明治34	10/20～	名古屋 南座	一の谷嫩軍 記 陣屋物語	中村伝五 郎	小伝治	市川滝之 助	市川団三 郎	沢村萩之 丞						政之助	市川滝之 助						『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1901	明治34	11/28～	大阪 稻荷文楽座	流枝二葉軍 記 一幕											霞雀	翫之助	佳暎	紋三郎	鷹獅	八百次郎		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1901	明治34	12/10～	宮戸座	飾羽子歌舞 伎 熊谷陣屋	升六	栗三郎	幸升	市右衛門	梅之助	横蔵	橘咲											『続続歌舞 伎年代記 〈乾〉』
1902	明治35	1/1～	末広座	熊谷陣屋	升六	咲松	先勝	市右衛門	翫次		三甫蔵											『続続歌舞 伎年代記 〈乾〉』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1902	明治35	2/2～	浅草座	一谷嫩軍記 堀川御所制 札渡・菟原 里茅屋・一 の谷陣門・ 須磨浦組 討・生田森 陣屋	《1》中村 吉右衛門	《4》岩井 久次郎	市川高丸	《1》中村 おもちゃ	《3》尾上 菊松	播之助	獅广右衛 門	児梅	梅丸	《1》中村 おもちゃ	《3》尾上 菊松	実太郎	市川高丸	播之助	獅广右衛 門	時次郎		辻番付	
1902	明治35	2/8～	名古屋 歌舞伎座	一谷嫩軍記 陣門・須磨 の浦・熊谷 直実陣屋・ 首実検	尾上幸十 郎	猿糸		尾上松寿	坂東三津 三		中村梅暁	《4》中山 喜楽	鉄菊	鶴太郎								『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』	
1902	明治35	3/20～	名古屋 新守座	一谷嫩軍記 陣屋																	嵐鱗十郎、福次 郎、鶴之助ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』	
1902	明治35	3/28～	金沢 稻荷座	一ノ谷嫩軍 記 熊谷陣屋	吉十郎	楽之助	吉次	吉松郎	福枝	桃太郎	楽蔵											役割番付	
1902	明治35	7/11～	本郷座	三升染好浴 衣地 生田森陣屋	《3》市川 升蔵・ 《3》市川 新十郎 〈一日替 わり〉	市川莚女	《5》市川 寿美蔵	《3》市川 猿蔵	《2》市川 女寅	《3》市川 升蔵・ 《3》市川 新十郎・ 《3》市川 団吉〈一 日替わり〉	《3》市川 升蔵・ 《3》市川 新十郎・ 《3》市川 団吉〈一 日替わり〉											辻番付・絵 本番付	
1902	明治35	8/25～	大阪 南座	一の谷																	嵐三一郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1902	明治35	9/22～ 10/8	京都 明治座	一谷嫩軍記 陣門・須磨 の浦	《7》市川 団蔵							《4》片岡 我童	片岡松三 郎	片岡松十 郎								『近代歌舞 伎年表・京 都篇』	
1902	明治35	10/18～ 10/24	名古屋 末広座	一谷嫩軍記 堀川御所よ り熊谷陣屋 まで																	坂東鶴之助ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』	
1903	明治36	3/2～	横浜 羽衣座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	春五郎	栄次郎	《3》市川 茂々太郎	咲松	市勝													役割番付	
1903	明治36	6/6～	新富座	一谷嫩軍記 菟原野里・ 須磨浦陣 門・同機端 組打	《1》中村 又五郎						種丸	《2》市川 左喜松	《3》尾上 菊松	《2》中村 駒助	《3》尾上 菊松	《2》中村 駒助	梅次郎	桃吉	宗右衛門			辻番付	
1903	明治36	7/10～ 7/20	大阪 浪花座	一谷嫩軍記 須磨の浦組 討	《3》市川 市十郎							中村高福	市川福之 助	嵐佐十郎								『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1903	明治36	8/31～	大阪 平林座	熊谷陣屋																		市川新昇ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1903	明治36	9/1～ 9/11	大阪 天満座	一谷嫩軍記 蓮生坊 四幕																		中村時子ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1903	明治36	9/30～	大阪 稻荷文楽座	一谷嫩軍記 陣家	珊昇	林昇	信濃	鷹十郎														『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1903	明治36	9/30～	大阪 稻荷文楽座	一谷嫩軍記 陣家	珊昇	林昇	信濃	鷹十郎														『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1903	明治36	9/吉～	大阪 琴平座	一の谷 熊谷陣家																		市川若栄ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1903	明治36	11/14～	大阪 繁栄座	一谷嫩軍記																		三耕源五郎、 《5》中山文七、 《6》姉川新四郎 ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1903	明治36	12/31～	柳盛座	一の谷	中村梅雀	昇若	当三郎	鶴若	三好	吉弥	重雀	蝠二郎	梅芝	花吉								『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』	
1903	明治36	12/31～	宮戸座	松飾春陽大 注連 一の谷 生田森陣屋	《5》市川 寿美蔵	《4》沢村 源之助	《4》市川 鬼丸	菊四郎	沢村門之 助	《5》関花 助	寿美升											辻番付	
1904	明治37	1/1～	京都 島原座	一谷嫩軍記 陣屋	龍次郎	梅女	栄次郎	橋緑	慶雀	右鶴	滝十郎											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』	
1904	明治37	4/14～	大阪 中劇場	一谷嫩軍記 兔原の里・ 熊谷直実陣 屋	《1》中村 鷹治郎	《2》中村 玉七	《1》中村 成太郎	中村伝五 郎	《6》嵐吉 三郎	中村林若	中村扇昇				《6》嵐吉 三郎	《2》中村 玉七	中村扇成	中村林若	《1》中村 鷹治郎	中村伝五 郎	四代目中村歌右衛 門／五十三回忌追 善	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1904	明治37	7/未詳～	横浜 賑座	熊谷陣屋																		飛鶴、紅車、栄升 ほか。	『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』
1904	明治37	10/25～	大阪 稻荷文楽座	熊谷蓮生坊 一幕	信濃								南枝									『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1905	明治38	1/1～	京都 玉の家	一の谷 熊谷物語																		中村小陣ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1905	明治38	3/17～	東京座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》中村 芝翫	《2》市川 女寅	《2》市川 蓮升	《1》市川 猿之助	《3》坂東 秀調	《6》尾上 栄三郎	《12》中 村勘五郎											辻番付・絵 本役割・筋 書	
1905	明治38	5/2～	栄座	熊谷陣屋																		鼻升、咲松ほか。	『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』
1905	明治38	5/31～	横浜 羽衣座	嫩軍記																		鶴之助、《2》実 川八百蔵、卯多三 郎ほか。	『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』
1905	明治38	6/1～6/9	名古屋 御園座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》坂東 養助	市川猿系	中村小伝 治	市川団三 郎	沢村萩之 丞	知鶴	与六											『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』	
1905	明治38	6/未詳～	伊勢山田 新福座	一谷嫩軍記 陣屋	《5》坂東 養助	市川猿系	中村小伝 次	市川団三 郎	沢村萩之 丞													役割番付	
1905	明治38	7/1～	大阪 弁天座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》中村 芝翫	《3》中村 福助〈高 砂屋〉	《1》中村 鷹治郎	中村伝五 郎	《6》嵐吉 三郎	《2》中村 玉七	《2》市川 箱登羅											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1905	明治38	9/17～	大阪 福井座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	楽之助	鷹童	雀	楽五郎	玉治郎	仙太郎												『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1905	明治38	10/31～	栄座	一の谷	団兵衛	升三郎	滝太郎	市五郎	慶枝	富貴太郎												『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』	
1905	明治38	11/30～	深川座	熊谷陣屋	蝶昇	紅若	桃吉	《3》沢村 淀五郎	冠若	吉次	高信											『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』	
1905	明治38	11/30～ 12/15	京都 歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》中村 鷹治郎	《3》中村 福助〈高 砂屋〉	嵐巖笑	《1》市川 右団治	中村珊瑚 郎	《5》嵐徳 三郎	中村伝五 郎											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』	
1905	明治38	12/3～	瓢座	一の谷																		団兵衛ほか。	『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』
1905	明治38	12/4～	市村座	一谷嫩軍記 熊ヶ谷陣屋	《15》市 村羽左衛 門	《6》尾上 梅幸	《1》中村 吉右衛門	《4》尾上 松助	《1》中村 歌昇	《2》坂東 八十助	《3》市川 新十郎											絵本役割	
1905	明治38	12/13～	大阪 松島八千代 座	熊谷 陣屋	吉備団子	嵐花光	松之助	市鶴			多見十郎											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』	
1905	明治38	12/31～	演伎座	熊谷陣屋	《3》市川 新十郎		《3》坂東 三田八	升太郎														『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』	
1906	明治39	1/1～	国華座	熊谷陣屋	水野	児島	柴田	水野	西田	松尾	川崎											『続続歌舞 伎年代記 〈坤〉』	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1906	明治39	1/14～	明治座	一谷嫩軍記 経盛出陣・ 摂州摩耶山・ 須磨内裏陣門・ 須磨浦組討・ 熊谷陣家	《2》市川 莚升	《2》市川 女寅	《5》市川 小団次	《1》中村 時蔵	升若	左伝次	《2》市川 九団次	《3》坂東 秀調	市川左喜 松	《1》市川 荒次郎								二幕目は「鑿引」。	辻番付・絵本役割
1906	明治39	2/10～	横浜 横浜座	熊谷陣屋																		《2》市川九団次、半五郎、梅葉ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1906	明治39	2/16～ 2/27	名古屋 歌舞伎座	一の谷嫩軍記 熊谷陣屋	尾上楽之助	福井	小神	尾上松寿		花岡	巴昇												『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1906	明治39	4/12～	神戸 歌舞伎座	一の谷																		団蔵ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1906	明治39	6/16～ 6/27	大阪 平林座	一谷嫩軍記																		中村玉太郎、芝十郎、中村雀之助ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1906	明治39	6/上旬～	横浜 賑座	熊谷陣屋																		荒二郎ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1906	明治39	7/1～	大阪 松島八千代座	一の谷嫩軍記 組討																		吉備団子一座。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1906	明治39	10/4～	横浜 喜楽座	一谷嫩軍記																		《5》市川小団次、《1》市川荒次郎、《2》市川左団次ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1906	明治39	11/15～	大阪 天満座	一の谷																		吉備団子一座。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1907	明治40	2/5～ 2/27	大阪 弁天座	一谷嫩軍記 兎原里茅屋・ 須磨浦組討	《7》市川 団蔵						市川才五郎	《1》市川 右団治	尾上多見 之助	《5》市川 滝十郎	《1》市川 右之助	《4》嵐璃 瑤	実川菊治 郎	市川右左 治	《4》市川 米十郎	《5》市川 滝十郎			『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1907	明治40	3/31～	深川座	一谷嫩軍記							福十郎				桃吉	小若	伝次郎	升紅	吉松	市五郎			『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1907	明治40	4/25～	大阪 本町座	熊谷蓮生坊	信濃								南枝										『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1907	明治40	5/3～	真砂座	一谷嫩軍記 堀川御所制 札渡・菟原 の里茅屋・ 播州須磨の 浦・熊ヶ谷 陣屋	《2》坂東 鶴之助	中村福円	岩井半之助	《12》中 村勘五郎	梅葉	播磨三郎	中村翫三	岩井半之助		円十郎	梅葉	中村翫三	高雀	多賀栄	助五郎	為十郎			辻番付
1907	明治40	5/10～	横浜 賑座	一の谷																		《1》市川荒次郎ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1907	明治40	6/29～	横浜 喜楽座	一谷嫩軍記 兎原里・陣 屋	黒谷市蔵	中村栄次郎	《1》実川 延二郎	青木千八郎	坂東舞鶴						中村栄次郎	市川松三郎	坂東舞鶴	市川猿四郎	実川若蔵				辻番付
1907	明治40	7/31～ 8/11	京都 明治座	一谷嫩軍記 三段目	尾上楽之助	吉松郎	仙太郎	片岡秀郎	勝三郎	橘香	楽造												『近代歌舞伎年表・京都篇』
1907	明治40	11/1～ 11/25	大阪 中劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣家	《7》市川 団蔵	嵐巖笑	《5》嵐徳 三郎	《4》市川 荒五郎	《1》中村 成太郎	《3》市川 茂々太郎	《5》市川 滝十郎												『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1907	明治40	11/19～	大阪 本町座	一谷嫩軍記	信濃	片岡銀杏丸	福雀	時三	駒蔵			鰐松郎	南枝		駒蔵	岡之助		片岡銀杏丸					『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1907	明治40	12/10～ 12/12	新橋演芸館	一の谷	伝次郎		宗右衛門	種丸	弥好	紀久世	童三郎				市三郎	宗右衛門	紀久世	染太郎	種丸	弥好			『続続歌舞伎年代記〈坤〉』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1907	明治40	12/31～	横浜喜楽座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《5》中村芝翫	《3》沢村訥升	《15》市村羽左衛門	《1》市川猿之助	《3》沢村百之助	市川猿十郎	市川団右衛門											辻番付
1908	明治41	1/14～	寿座	一谷嫩軍記	九女八	芝鳥	蝠二郎	半五郎		伝次郎	市勇				市勇		蝠二郎					『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1908	明治41	1/31～	柳盛座	一谷嫩軍記陣屋	中村梅雀	芝鳥	市三郎	升紅	伝次郎	紋三郎	竹三郎											絵本役割
1908	明治41	2/21～	神戸歌舞伎座	一谷嫩軍記つゞき五幕	《5》坂東義助	市川紅若	中村玉太郎	市川左馬蔵	中村扇駒	尾上島之助	市川右田福	中村玉太郎	中村扇駒	実川勇七	中村扇駒	尾上島之助	実川若二郎	市川左馬蔵	中村玉太郎	《5》坂東義助		役割番付
1908	明治41	3/19～3/24	名古屋御園座	一谷嫩軍記大序から陣屋まで	《1》中村芝鶴	中村かほる	《4》中山喜楽	片岡島之助	沢村小田の	市川三猿		《5》中山文七	中村かほる	嵐橋珪	片岡島之助	《4》沢村源之助	沢村小田の		市川三猿	嵐橋珪		『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1908	明治41	5/19～6/3	大阪末広座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	市川新昇	中村梅女	嵐巖若	実川八百五郎	中村翫司	市川右田三郎	市川新四郎											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1908	明治41	6/30～7/6	京都岩神座	一の谷須磨夜嵐四幕	滝三郎							璃キ升	吉十郎	百々蔵	吉十郎	橘太郎	勝三郎					『近代歌舞伎年表・京都篇』
1908	明治41	11/17～	市村座	一谷嫩軍記須磨浦陣門・同磯端組打・熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《8》尾上芙蓉	《13》守田勘弥	《2》中村駒助	高麗三郎	紋三郎	升三郎	《7》坂東三津五郎	《5》岩井桑三郎	中村翫助								辻番付・絵本役割
1909	明治42	1/21～	大阪末広座	熊谷蓮生坊	信濃								のしほ									『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1909	明治42	1/31～	横浜羽衣座	一谷嫩軍記陣屋	《2》坂東鶴之助	《2》中村時蔵	《5》岩井桑三郎	《12》中村勘五郎	源十郎	昇鶴												辻番付
1909	明治42	3/1～	宮戸座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》中村歌六	《4》市川鬼丸	《4》沢村源之助	菊四郎	猿之丞	市川鬼三郎	《4》嵐芳三郎											辻番付
1909	明治42	9/8～9/12	京都岩神座	一の谷熊谷陣屋																阪東義助一座	『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1909	明治42	10/21～	大阪末広座	一の谷																	《9》嵐雛助ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1910	明治43	1/14～	横浜喜楽座	熊谷陣屋																	《2》市川九団次ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	1/27～	名古屋末広座	一谷嫩軍記須磨の浦・熊谷陣屋																	中村梅雀、寿三郎、友福ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1910	明治43	2/10～	横浜賑座	熊谷陣屋	新駒	幸升	鬼久之助	鶴蔵	かほる	市孝	《5》市川新之助											『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	2/28～	柳盛座	熊谷陣屋	勝升	照世	鶴若	昇菴	吉太郎	鶴三郎	栄若											『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	4/9～4/13	名古屋末広座	一谷嫩軍記はやし住家・陣門・須磨の浦組打・熊谷陣屋	《7》沢村訥子	市川莚女	《3》沢村長之助	信濃		沢村訥若	雷京	《3》沢村長之助	沢村国之丞	国五郎	信濃	《3》沢村淀五郎	鶴三郎		沢村訥若	国五郎		『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1910	明治43	4/15～	岐阜御殿座	一の谷																	沢村訥子ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	5/14～	横浜羽衣座	一谷嫩軍記	《7》沢村訥子	市川莚女	《3》沢村長之助	春五郎	沢村国之丞	成治郎		《3》沢村長之助			《3》沢村長之助	春五郎	成治郎					『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	5/31～	京都国華座	一の谷嫩軍記熊谷陣屋																	嵐巖猿、中村芝十郎、嵐栄次郎ほか。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1910	明治43	5/吉～	大阪末広座	嫩軍記																		『近代歌舞伎年表・大阪篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1910	明治43	6/8～6/15	名古屋御園座	一谷嫩軍記組討・陣屋	《1》中村吉右衛門	《8》尾上芙蓉	《2》中村駒助	《3》中村歌六	《3》坂東玉之助			《7》坂東三津五郎	《5》岩井糸三郎									『御園座七十年史』
1910	明治43	6/10～	大阪末広座	一谷嫩軍記																	中村珊昇ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1910	明治43	6/17～	神戸大黒座	一谷嫩軍記	《1》中村吉右衛門	《8》尾上芙蓉		《3》中村歌六		市勝		《7》坂東三津五郎	《5》岩井糸三郎	市勝								『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	9/29～	大阪常盤座	一の谷三段目																	中村福円、片岡当助ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1910	明治43	10/22～	早稲田座	一谷嫩軍記	吉蔵	照世	市勝	二鶴	吉三						二鶴	吉蔵	小莚次					『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1910	明治43	12/1～	宮戸座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》中村芝鶴	《4》市川鬼丸	《4》嵐芳三郎	我蔵	猿之丞	楽之助	寿朝											辻番付・絵本役割
1910	明治43	12/9～	静岡若竹座	熊谷陣屋																	《3》中村歌六ほか。	『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1911	明治44	1/28～	金沢第一福助座	一谷嫩軍記四段目											寿之助	実川延鶴				嵐璃之助		役割番付
1911	明治44	3/18～3/25	名古屋新守座	一の谷熊谷陣屋	阪東寿三郎	尾上和市	璃若		若三郎													『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1911	明治44	4/1～	名古屋朝日座	熊谷陣屋																	尾上松鶴、阪東寿三郎、市川福升ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1911	明治44	4/15～4/21	名古屋宝生座	一ノ谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》片岡長太夫	璃昇	姉蔵	仲太郎			長右衛門											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1911	明治44	5/17～	仙台松島座	一の谷嫩軍記須磨浜辺・兔原里林辺・熊谷敦盛組討・熊谷陣屋	菊十郎	梅丸	福猿	雀三郎	扇女		甚六	《8》市川高麗蔵	雛太郎	甚六	燕之助	松燕	紅若	《4》片岡我童	中島春五郎	甚六		役割番付
1911	明治44	6/5～6/26	京都明治座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《1》中村成太郎	《4》嵐璃瑠	《3》中村歌六	林長三郎	中村福之助	《5》市川滝十郎											『近代歌舞伎年表・京都篇』
1911	明治44	9/22～9/27	名古屋末広座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》坂東鶴之助	扇駒	権三郎	《12》中村勘五郎													鶴之助／十八番	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1911	明治44	10/31～	演伎座	一谷嫩軍記生田の森陣屋	《3》市川新十郎	《1》中村又五郎	《13》守田勘弥	《12》中村勘五郎	《1》尾上喜久太郎	《6》嵐吉三郎	島十郎											辻番付・絵本役割
1911	明治44	11/15～	深川座	熊谷陣屋	高麗之助	都喜抜	高麗三郎	栄升	重の井	桃之助												『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1911	明治44	11/21～	名古屋京枳座	一の谷嫩軍記熊谷陣屋																	《2》坂東鶴之助、《4》沢村淀五郎、沢村賀升ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1911	明治44	11/30～	横浜羽衣座	熊谷陣屋	九女八	菊子		福松	津波女		春之助											『続続歌舞伎年代記〈坤〉』
1912	明治45	1/11～	名古屋寿座	一谷嫩軍記熊谷陣屋																	中村芝十郎、市川升三郎、市川市光ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1912	明治45	1/13～	大阪福島座	一の谷陣屋																	信濃、長七郎、芝十郎ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1912	明治45	2/18～	名古屋寿座	一谷嫩軍記熊谷陣屋																	中村松鶴、片岡市若、山崎河蔵ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1912	明治45	3/1～3/25	帝国劇場	一谷嫩軍記陣屋	《7》松本幸四郎	《6》尾上梅幸	《7》沢村宗十郎	《4》尾上松助	《7》沢村長十郎	松本小治郎	幸蔵											絵本筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1912	明治45	3/1～	真砂座	熊谷陣屋	《4》片岡市蔵	楽之助	紋三郎	我蔵	《3》坂東玉之助	左門	柳蔵											『続続歌舞伎年代記〈坤〉』	
1912	明治45	3/10～	明治座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》市川左団次	《1》実川延二郎	《4》沢村源之助	《5》市川小団次	《3》坂東秀調	《6》市川寿美蔵	《3》中村鶴蔵											辻番付・絵本役割・筋書	
1912	明治45	3/13～	大阪 稲荷文楽座	熊谷陣屋																	市川団若ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1912	明治45	3/14～	品川座	一谷嫩軍記	正三郎	結枝	《7》市川雷蔵	栄升	井久代	栄薦	伝九郎				弥好	正三郎	井久代	猿枝	多賀次郎	八重蔵		『続続歌舞伎年代記〈坤〉』	
1912	明治45	3/30～ 4/23	京都 明治座	一谷嫩軍記 檀特山・物語	《4》市川市十郎	中村福之助	片岡秀郎	中村珊瑚郎	片岡松三郎	嵐吉松郎	浅尾関十郎	林長三郎	《4》嵐和 三郎	市川玉五郎								『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1912	明治45	3/30～	名古屋 笑福座	一の谷 熊谷陣屋	中村時子			狐狗狸														『近代歌舞伎年表・名古屋篇』	
1912	明治45	3/31～	蓬萊座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》関三 十郎	《5》市川 鬼丸	《7》市川 雷蔵	団三郎	蝠二郎	桂三郎	左馬之助											絵本番付	
1912	明治45	4/6～ 4/13	名古屋 末広座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》松本 幸四郎	《6》尾上 梅幸	《1》実川 延二郎	《4》尾上 松助	《3》沢村 百之助	尾上梅昇	実川鷹五郎											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』	
1912	明治45	5/1～	名古屋 明治座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋																	尾上幸十郎、 《4》中山喜楽、 沢村萩之丞ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』	
1912	明治45	7/14～	新富座	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《1》中村 吉右衛門	《8》尾上 芙蓉	《6》尾上 菊五郎	《3》中村 歌六	菊三郎	紋十郎	中村翫助											辻番付・筋書	
1912	明治45	7/14～	名古屋 京枳座	一ノ谷嫩軍 記 熊谷陣屋																		尾上幸十郎、沢村 萩之丞、中村歌三 郎ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1912	大正1	10/13～	大阪 松島八千代 座	一谷嫩軍記 陣門討入 り・須磨浦 呼止・組 討・一の谷 陣屋	《3》片岡 長太夫	中村七賀 之助	片岡長七 郎	市川鍛四 郎	中村梅女	中村飛雀	片岡梅長	実川延童	中村喜雀	嵐橋緑								『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1912	大正1	11/1～ 11/23	大阪 浪花座	陣屋	《1》中村 鴈治郎	《4》中村 福助〈高 砂屋〉	尾上多見 之助	《2》中村 梅玉	《1》中村 成太郎	《3》阪東 寿三郎	伝五郎											『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1912	大正1	11/30～	豊沢座	〔菟原の 里・陣屋〕	成蔵	芝寿	翫之助	翫三郎	梅花						翫三郎	翫之助	梅花		芝二郎			『配役総 覧』第六 版・第七版	
1912	大正1	12/1～ 12/4	名古屋 武田座	一谷嫩軍記	《3》中村 歌六・ 〈陣屋〉 《2》坂東 鶴之助	《5》市川 鬼丸	松本錦升	《3》中村 歌六														『近代歌舞伎年表・名古屋篇』	
1912	大正1	12/29～	蓬萊座	一谷嫩軍記 須磨の浦組 打	《5》関三 十郎							《7》市川 雷蔵	《3》沢村 百之助	左馬之助								辻番付	
1913	大正2	1/9～	京都 岩神座	熊谷陣屋																		千太郎、若太夫ほ か。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1913	大正2	1/9～ 1/11	名古屋 朝日座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋																		《3》阪東寿三 郎、沢村萩之丞、 市川猿太郎ほか。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1913	大正2	2/1～	東京座	一谷嫩軍記 須磨浦組 打・熊谷陣 屋	伝次郎	団升	伝次郎	《12》中 村勘五郎	沢村国之 丞	勇升	《4》沢村 淀五郎											辻番付	
1913	大正2	3/14～	寿座	〔陣屋〕	市川団右 衛門	升三郎	紋十郎	柳蔵	市女蔵	駒三郎												『配役総 覧』第六 版・第七版	
1913	大正2	6/15～	神戸 相生座	一谷嫩軍記 陣屋	《1》中村 吉右衛門	《1》沢村 宗之助	《7》沢村 宗十郎	《4》尾上 松助	《3》沢村 百之助	沢村哥川	宗五郎											辻番付	
1914	大正3	1/1～	演伎座	一谷嫩軍記 菟原の里							紋十郎				《5》市川 新之助	《4》片岡 市蔵	小滝	寿鶴	柳蔵	中村翫太 郎		辻番付	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1914	大正3	1/1～	名古屋 笑福座	熊谷陣屋																	市川左太郎、尾上 多見十郎、市川市 光ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1914	大正3	1/14～ 1/16	名古屋 朝日座	一ノ谷嫩軍 記 熊谷陣屋	中村梅雀			中村翫次 郎														『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1914	大正3	1/30・ 1/31	名古屋 蓬座	熊谷陣屋																	鬼幸、扇三郎、四 郎五郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1914	大正3	1/上旬～	京都 国技館	熊谷陣屋																	三折源五郎、 《5》中山文七、 中村梅昇ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1914	大正3	2/16～	名古屋 帝国座	熊谷陣屋	《3》片岡 長太夫	嵐璃昇	左薙次	梅長	駒二郎	小猿次	盛蔵											『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1914	大正3	3/1～	京都 寿座	一の谷																	若太夫、《4》市 川九蔵ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1914	大正3	3/15～ 3/19	名古屋 湊座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋																	《2》坂東鶴之 助、坂東鶴蔵、坂 東水右衛門ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1914	大正3	3/20～	京都 末広座	一谷嫩軍記																	源五郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1914	大正3	5/14～	寿座	〔陣屋〕	中村翫助	《1》中村 歌門	紋十郎	《4》沢村 淀五郎	勝五郎	当之助	栄昇											『配役総 覧』第六 版・第七版
1914	大正3	12/1～	宮戸座	一谷嫩軍記 堀川御所制 札渡・兎原 里住居・須 磨の浦・熊 谷陣屋	《4》浅尾 工左衛門	中村七賀 之助	《2》市川 権三郎	菊四郎	《4》沢村 其答	寿朝	新三郎	高麗三郎	《4》沢村 其答	寿朝	《2》市川 権三郎	高麗三郎	桂三郎	新三郎	菊四郎	寿朝		辻番付
1914	大正3	未詳	岡山 岡山劇場	一谷嫩軍記 摩耶山麓・ 熊谷陣家	《2》市川 左団次	《3》坂東 秀調	《6》市川 寿美蔵	《2》市川 左升	《2》市川 松蔭	ぼたん	栄升											辻番付
1915	大正4	1/1～	本郷座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》市川 八百蔵	《3》坂東 秀調	《2》市川 左団次	《3》中村 歌六	市川薙女	《5》市川 新之助	《2》市川 左升											辻番付
1915	大正4	2/14～	大阪 松島八千代 座	一の谷嫩軍 記	眼玉	多見丸		島之助	梅女				梅女									『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1915	大正4	3/31～	京都 国技館	一の谷嫩軍 記																	鉄之助、与市、延 左久ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1915	大正4	9/7～	三崎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	市川団右 衛門	吉三郎	伝之丞	薙十郎	柘之丞	花咲	七百太郎											辻番付
1915	大正4	12/5～	開盛座	〔菟原の 里・陣屋〕	八十郎	桔代三郎	栄蔭	薙十郎	鯉野	市太郎	錦寿郎				鯉之助	花咲	子鶴	多賀丸	竹代			『配役総 覧』第六 版・第七版
1915	大正4	12/10～ 12/15	名古屋 帝国座	一の谷嫩軍 記 大序より陣 屋迄	梅暁	駒次郎	小猿次	松幸	左之助	幸松			春之助		松幸	左之助						『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1915	大正4	12/31～	横浜 横浜座	一谷嫩軍記 須磨浦組 打・熊谷陣 屋	《2》市川 左団次	《2》市川 松蔭	《1》中村 又五郎	《5》市川 小団次	薙鳥	《2》市川 左喜之助	《2》市川 荒次郎											辻番付
1916	大正5	1/1～	大阪 弁天座	一の谷陣屋	錦升	多摩之丞	鶴之助	文五郎	吾妻	猿昇	鯉玉											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1916	大正5	1/1～1/4	名古屋 蓬座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	中村新駒		片岡松童															『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1916	大正5	2/2～	市村座	一谷嫩軍記 二幕	《1》中村 吉右衛門	《3》尾上 菊次郎	《7》坂東 三津五郎	《4》尾上 松助	《5》中村 東蔵	《5》市川 新之助	《3》市川 新十郎	《6》尾上 菊五郎	《4》河原 崎国太郎	中村翫助								辻番付
1916	大正5	2/11～	中央劇場	〔陣屋〕	介十郎	芝琴		市勇														『配役総 覧』第六 版・第七版

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1916	大正5	2/15～	名古屋 京枀座	一の谷 熊谷陣屋																	片岡松幸、中村芝 右衛門、中村歌三 郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1916	大正5	6/6～	京都 末広座	一の谷 陣屋																	市鶴ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1916	大正5	6/21～	神田劇場	〔陣屋〕																	歌扇ほか。	『配役総 覧』第六 版・第七版
1916	大正5	7/5～7/8	名古屋 三栄座	一の谷 熊谷陣屋																	市川團三郎、市川 高之丞、片岡蝶十 郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1916	大正5	8/25～ 8/31	名古屋 歌舞伎座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋																	《3》片岡長太夫 ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1916	大正5	10/11～	大阪 松島八千代 座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	林若		松鶴	片岡秀郎														『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1916	大正5	11/9～	真砂座	〔陣屋〕	《3》市川 新十郎	団升	雁右衛門	桔十郎	勝之助													『配役総 覧』第六 版・第七版
1916	大正5	12/1～	大阪 新世界ルナ パーク	一谷熊谷陣 屋の場																	中京歌舞伎一座。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1917	大正6	5/23～ 6/3	大阪 弁天座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》沢村 訥子	《4》片岡 愛之助	片岡秀郎	浅尾関十 郎	沢村国之 丞	中村政之 助	阪東豊昇											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1917	大正6	6/10～	京都 大正座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	市川滝三 郎	市川福枝	中村菊太 郎	実川延一 郎	尾上梅之 助	市川紅之 助	阪東紀美 蔵											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1917	大正6	8/31～	大國座	一谷嫩軍記	竹三郎	《5》岩井 糸三郎	紅若	市川団右 衛門	梅峨	団九郎		《5》岩井 糸三郎		梅峨								「演芸画 報」大正6 年10月
1917	大正6	10/10～	観音劇場	〔陣屋〕	三十郎	《3》沢村 百之助	《4》市川 市十郎	彦十郎	《7》市川 雷蔵	幹尾	源十郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1917	大正6	10/21～	宮戸座	〔陣屋〕	伝次郎	《5》市川 鬼丸	高麗三郎	宗五郎	清之助	工女次郎												『配役総 覧』第六 版・第七版
1917	大正6	10/31～	名古屋 武田座	一の谷 陣屋																	沢村訥紀和、中村 時之丞、中村翫五 郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1917	大正6	11/4～ 11/10	名古屋 帝国座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋																	片岡我十、市川新 四郎、中村香太郎 ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1917	大正6	11/18～ 11/20	名古屋 京枀座	一の谷 熊谷陣屋																	坂東彦蔵、市川市 昇、市川右三郎ほ か。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1917	大正6	12/24～	演伎座	〔菟原の 里・陣屋〕	竹三郎	枀之丞	《6》市川 団之助	金五郎		国松	高麗之助				高麗之助	《6》市川 団之助						『配役総 覧』第六 版・第七版
1918	大正7	1/1～1/7	名古屋 湊座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	市川段枝	市川眼笑	《4》中山 喜楽	中村信右 衛門														『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1918	大正7	2/5～ 2/26	大阪 浪花座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	《3》尾上 多見蔵	《6》尾上 梅幸	《1》中村 鴈治郎	《2》中村 梅玉	《4》市川 市蔵	林長三郎	尾上幸蔵											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1918	大正7	3/26～	御国座	〔菟原の 里・陣屋〕	《2》市川 九団次	紅若	伝次郎	鶴十郎	門之助	左門	仲十郎				紅若	鶴十郎	市松	門之助	権之助	右田三郎		『配役総 覧』第六 版・第七版
1918	大正7	4/3～	明治座	一谷嫩軍記 摂州摩耶 山・陣屋	《2》市川 左団次	《3》中村 雀右衛門	《2》市川 猿之助	《2》市川 段四郎	《6》市川 寿美蔵	市川莚升	《2》市川 左升											辻番付
1918	大正7	4/未詳～	神戸 相生座	一の谷																	璃徳一座の少年 劇。	「演芸画 報」大正7 年5月

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1918	大正7	6/16～	神戸 日本劇場	一谷嫩軍記 摂州摩耶 山・陣屋	《2》市川 左団次	《3》坂東 秀調	《2》市川 猿之助	《2》市川 段四郎	《6》市川 寿美蔵	市川莚升	《2》市川 左升											筋書
1918	大正7	8/11～	宮戸座	〔陣屋〕	中村時子	のしほ	橘香	源之丞	菊子	藤枝	鬼十郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1918	大正7	8/11～ 8/19	京都 歌舞伎座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣家	市川百々 之助	尾上多見 右衛門	実川雁子	実川雁右 衛門	嵐徳太郎	実川童之 助	嵐葉那和											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1918	大正7	9/5～9/7	名古屋 蓬座	一の谷 熊谷陣屋																	市川眼玉、市川扇 太郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1918	大正7	9/15～ 9/17	名古屋 京枀座	一の谷 熊谷陣屋																	市川眼玉、市川市 十郎、中村千太郎 ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1918	大正7	10/3～	吾妻座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》沢村 訥子	《1》中村 歌門	市之丞	宗五郎	源十郎	成駒	琴右衛門											辻番付
1918	大正7	10/20～	中央劇場	〔陣屋〕	歌蔵	莚三郎	石井	成升	右多之助	滝江	磯太郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1918	大正7	12/3～ 12/20	京都 南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《3》尾上 多見蔵	《6》尾上 梅幸	《1》中村 鷹治郎	《2》中村 梅玉	《4》市川 市蔵	新升	齊五郎											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1918	大正7	12/4～	市村座	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《5》中村 東蔵	《4》河原 崎国太郎	《7》坂東 三津五郎	《13》守 田勘弥	菊三郎	《2》尾上 伊三郎	《1》中村 吉之丞											辻番付
1919	大正8	1/9～	観音劇場	〔陣屋〕	百々之助	多見右衛 門	童之助	雁右衛門	雁枝													『配役総 覧』第六 版・第七版
1919	大正8	1/31～ 2/9	大阪 松島八千代 座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	《3》片岡 長太夫	《3》尾上 多見丸	松鶴			市川右田 作	巖二郎											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1919	大正8	2/9～	寿座	〔菟原の 里〕							桜水				市孝	伊達蔵	富美弥		高麗造	三河十郎		『配役総 覧』第六 版・第七版
1919	大正8	3/21～ 3/27	名古屋 湊座		巴左衛門																眼笑ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1919	大正8	4/1～	帝国劇場	一谷嫩軍記 一の谷陣 門・須磨の 浦組討	《7》松本 幸四郎							《1》沢村 宗之助	《7》沢村 宗十郎	幸蔵								辻番付
1919	大正8	4/4～	公園劇場	〔陣屋〕	三十郎	百野	高麗三郎	《4》市川 市十郎	勝五郎	《4》沢村 淀五郎	桔十郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1919	大正8	5/7～	渋谷劇場	〔陣屋〕	瓢蔵	花咲	宝升	鶴若	右多之助	百三郎	才十郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1919	大正8	6/5～ 6/29	歌舞伎座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・浪打際 組打つ・生 田森陣屋	《1》中村 吉右衛門	《3》尾上 菊次郎	《5》中村 歌右衛門	《6》尾上 菊五郎	《4》河原 崎国太郎	《5》中村 東蔵	《3》市川 新十郎	《5》中村 福助	《3》中村 時蔵	中村翫助								辻番付
1919	大正8	8/31～	千住劇場	〔陣屋〕	松童	宝升	高麗次郎	松梅	成升	百三郎	宗次郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1919	大正8	10/28～	御国座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・同磯辺 組討	竹三郎							幹尾	成駒	若猿								筋書
1919	大正8	11/26～	大国座	一谷嫩軍記 陣門・陣屋	三十郎	《5》岩井 桑三郎	高麗次郎	《3》尾上 鯉三郎	燕次郎	撫子	高三郎	《5》岩井 桑三郎	松之助	左馬之助								筋書
1920	大正9	1/17～	大阪 大阪座	熊谷蓮生坊																	《4》市川荒五 郎、《2》市川荒 太郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1920	大正9	1/31～	弥生座	一谷嫩軍記 陣屋	《2》市川 九団次	梅三郎	《4》沢村 淀五郎		富三郎	宗弥												辻番付

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1920	大正9	4/17～	本郷座	一谷嫩軍記 陣門より組 討迄	《4》市川 九蔵							幹尾	梅女	若猿								辻番付
1920	大正9	5/21～	国劇座	〔陣屋〕																	半五郎、市孝、八 百蔵ほか。	『配役総 覧』第六 版・第七版
1920	大正9	7/31～	大国座	〔菟原の 里〕							才十郎				沢村哥川	市川白蔵	徳次郎	燕若	市川右治 丸	段枝		『配役総 覧』第六 版・第七版
1920	大正9	8/20～	寿座	〔陣屋〕	左文次	松鶴	市孝	扇十郎	右衛門													『配役総 覧』第六 版・第七版
1920	大正9	10/29～ 11/11	大阪 角座	一谷嫩軍記 陣門・須磨 の浦	《4》市川 九蔵							沢村源十 郎	中村成駒	市川若猿								『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1920	大正9	11/2～	神戸 日本劇場	一谷嫩軍記 陣門・組 討・陣屋	《1》中村 吉右衛門	《3》中村 時蔵	《7》坂東 三津五郎	《3》市川 新十郎	《3》坂東 玉之助	《5》中村 七三郎	吉五郎											辻番付
1920	大正9	11/12～	名古屋 御園座	一谷嫩軍記 陣門・組 討・陣屋	《1》中村 吉右衛門	《3》中村 時蔵	《7》坂東 三津五郎	《3》市川 新十郎	《3》坂東 玉之助	《5》中村 七三郎	吉五郎											『御園座七 十年史』
1920	大正9	11/13～ 11/19	名古屋 末広座	一谷嫩軍記 陣門・須磨 の浦	《4》市川 九蔵							中村成駒	尾上梅女	市川若猿								『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1920	大正9	11/13～	名古屋 末広座	一谷嫩軍記 陣門・組討	《4》市川 九蔵																	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1920	大正9	12/3～ 12/24	歌舞伎座	一谷嫩軍記 菟原の里・ 熊ヶ谷陣屋	《5》中村 歌右衛門	《6》尾上 梅幸	《15》市 村羽左衛 門	《11》片 岡仁左衛 門	《3》坂東 秀調	《3》市村 亀蔵	村右衛門				《4》片岡 市蔵	《6》嵐吉 三郎	《3》市村 亀蔵	紅若		《3》中村 鶴蔵		辻番付
1921	大正10	1/22～	辰巳劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》沢村 訥子	《1》中村 歌門	菊右衛門	松十郎	蕙薦	卯左衛門	長五郎											筋書
1921	大正10	1/30～	末広座	〔陣屋〕	幡谷	福三郎	玉太郎	百十郎	照吉	芳次郎	松楽											『配役総 覧』第六 版・第七版
1921	大正10	4/10～	大森劇場	〔陣屋〕																	羽三郎、伝右衛 門、鏡十郎ほか。	『配役総 覧』第六 版・第七版
1921	大正10	5/30～	大国座	一谷嫩軍記 陣屋	中村竹三 郎	坂東家太 郎	坂東市太 郎	片岡梅長 郎	中村吉十 郎	中村竹之 助	市川才十 郎											筋書
1921	大正10	6/18～ 6/23	名古屋 新守座	熊谷陣屋	《7》沢村 訥子	卯左衛門	《5》関三 十郎	中村鷹十 郎	喜昇													『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1921	大正10	8/29・ 8・30	開盛座	〔菟原の 里・陣屋〕	羽之助	雉子	紅笑	市之助	中次郎		沢十郎				橘丸	紅笑	雉子	市之助			山彦会。	『配役総 覧』第六 版・第七版
1921	大正10	9/13・ 9/14	名古屋 大黒座	熊谷陣屋																	中京劇粹団。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1922	大正11	1/2～ 1/23	大阪 中座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》中村 鷹治郎	《4》中村 福助〈高 砂屋〉	嵐巖笑	《2》尾上 卯三郎	《6》嵐吉 三郎	林長三郎	中村林左 衛門											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1922	大正11	3/5～	新富座	一谷嫩軍記 一谷陣門・ 須磨浦組 打・生田森 陣所	《1》中村 吉右衛門	《3》中村 時蔵	《5》市川 三升	《13》守 田勘弥	紅若	《5》中村 七三郎	介十郎	《13》守 田勘弥	《3》中村 時蔵	《1》中村 吉之丞								辻番付
1922	大正11	4/16～	京都 西陣劇場	一の谷軍記 熊谷陣屋																	芦若、紀三郎、小 六ほか。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1922	大正11	5/29～	大阪 松島八千代 座	一谷嫩軍記 兔原里茅 屋・一の谷 平家陣所・ 海上・敦盛 討死・須磨 浦浜辺・熊 谷陣家	嵐佳笑	実川正朝	尾上多見 丸	《7》浅尾 奥山	嵐吉太郎	嵐徳猿	片岡門蔵	嵐巖右衛 門	嵐豊三郎	市川彦三 郎	嵐巖右衛 門	嵐吉太郎	嵐徳猿	嵐豊三郎	片岡門蔵	市川緞四 郎		『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1922	大正11	9/16～	公園劇場	一谷嫩軍記 生田の森陣屋	《2》河原崎権十郎	吉三郎	和三郎	市川団右衛門	武五郎	左薙	小文次											筋書	
1922	大正11	10/31～	宮戸座	〔陣屋〕	伝二郎	仙笑	錦吾	鶴之助	家太郎	鬼芳	吉次											『配役総覧』第六版・第七版	
1922	大正11	12/2～ 12/17	大阪浪花座	一谷嫩軍記 檀特山より陣屋迄	《2》実川延若	《2》市川松蔭	《4》片岡我童	《4》市川荒五郎	《4》片岡愛之助	尾上喜久太郎	市川斎五郎	《4》片岡我童	片岡当之助	尾上卯十郎								『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1922	大正11	12/16～	御国座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》沢村訥子	《1》中村歌門	《4》沢村源之助	《5》関三十郎	幹尾	卯左衛門	佳之助											辻番付	
1922	大正11	12/19～	和歌山弁天座	一谷嫩軍記 陣屋	《2》実川延若	《2》市川松蔭	《3》阪東寿三郎	《4》浅尾大吉	中村扇成	実川延枝	実川若蔵											辻番付	
1922	大正11	12/31～	神田劇場	一谷嫩軍記 陣屋	《4》市川市十郎	蔭蔭	幹尾	《6》市川団之助	立花	小七	佳之助											筋書	
1922	大正11	10以降力	静岡歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《7》松本幸四郎	《3》中村時蔵	松本金太郎	《13》守田勘弥	片岡千代寿	松本純蔵	坂東熨斗蔵											辻番付	
1923	大正12	2/9～	末広座	〔陣屋〕	金五郎	滝之丞	海老十郎	鶴五郎	紫好	十蔵	才十郎											『配役総覧』第六版・第七版	
1923	大正12	3/15～ 3/20	名古屋御園座	一の谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》市川九団次	市川中之助	市川右治丸	市川段枝	片岡緑左衛門	市川高三郎	嵐猪三郎											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』	
1923	大正12	5/31～	中央劇場	〔陣屋〕	《5》関三十郎	梅女	千寿	鶴之助	桔代		左馬之助											『配役総覧』第六版・第七版	
1923	大正12	6/20～	寿座	〔陣屋〕	《4》市川市十郎	富弥	海老十郎	伊達蔵	多三郎	市孝	才十郎											『配役総覧』第六版・第七版	
1923	大正12	6/21～	常盤座	〔陣屋〕	《7》沢村長十郎	《1》坂東薪車	松本小治郎		又之丞													『配役総覧』第六版・第七版	
1923	大正12	6/30～	大阪天満八千代座	一の谷 熊谷陣屋																	《3》片岡長太夫、嵐佳笑、嵐徳三郎ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1923	大正12	10/31～	南座	一谷嫩軍記 陣屋	《7》市川中車	《3》坂東秀調	亀蔵	《4》片岡市蔵	市之丞	勝五郎	七百之助											筋書	
1924	大正13	1/1～	神戸松竹劇場	一谷嫩軍記 陣屋	《7》市川中車	《3》中村雀右衛門	《3》阪東寿三郎	《4》市川荒五郎	《5》岩井桑三郎	《2》市川蔭蔵	村右衛門											筋書	
1924	大正13	1/2～ 1/16	京都南座	一谷嫩軍記 須磨浦陣門・浪打際・熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《7》坂東三津五郎	《4》片岡市蔵	紅若	《1》中村扇雀	《5》中村七三郎	《7》坂東三津五郎	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞								遠見熊谷（《2》中村又五郎）、同敦盛（《5》片岡十蔵）	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1924	大正13	1/16～	京都西陣劇場	一の谷嫩軍記 熊谷陣屋一幕																		片岡長太郎ほか。『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1924	大正13	1/18～ 1/24	名古屋御園座	一谷嫩軍記 須磨浦陣門・同浪打際・熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《7》坂東三津五郎	《4》片岡市蔵	紅若	《1》中村扇雀	《5》中村七三郎	《7》坂東三津五郎	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞								遠見熊谷（《2》中村又五郎）。	『近代歌舞伎年表・名古屋篇』
1924	大正13	2/29～	大国座	一谷嫩軍記 陣屋	《7》沢村長十郎	《1》坂東薪車	《5》市川新之助	松本小治郎	《2》坂東竹若	小文次	友三郎											筋書	
1924	大正13	3/22～	神田劇場	一谷嫩軍記 陣屋	《7》沢村訥子	中村歌扇	尾上菊右衛門	《5》関三十郎	市川滝之丞	沢村春之助	嵐佳之助											筋書	
1924	大正13	4/5～	浅草松竹座	一谷嫩軍記 陣門・組討	《1》中村吉右衛門							《5》中村福助	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞								筋書	
1924	大正13	4/未詳～	地方公演	一谷嫩軍記 熊谷陣屋物語	《2》市川左団次	《2》市川松蔭	《6》市川寿美蔵	《3》中村鶴蔵	市川左喜之助	市川蔭升	市川米左衛門											辻番付	
1924	大正13	6/23～	宮戸座	〔陣屋〕	竹三郎	市之丞	《5》関三十郎	鶴之助	家太郎	国太郎												『配役総覧』第六版・第七版	
1924	大正13	9/20～ 9/26	名古屋末広座	熊谷陣屋	《2》市川九団次	片岡緑左衛門	市川海老十郎	中村嘉七	中村嘉昇		沢村半十郎											『近代歌舞伎年表・名古屋篇』	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1924	大正13	11/30～	京都 新富座	熊谷陣屋 一幕	《2》市川 莚蔵	右左右衛 門	松太郎	片岡秀郎	右三郎	徳二郎												『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1924	大正13	12/3～ 12/18	京都 南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》中村 鷹治郎	《6》尾上 梅幸	《15》市 村羽左衛 門	《7》市川 中車	《6》嵐吉 三郎	《4》市村 竹松	《3》市川 新十郎											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1925	大正14	1/3～	市村座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・浪打際 組打・生田 の森陣屋	《1》中村 吉右衛門	《3》中村 時蔵	《7》坂東 三津五郎	《6》大谷 友右衛門	紅若	《5》中村 七三郎	《3》市川 新十郎	《6》尾上 菊五郎	福之丞	《1》中村 吉之丞								辻番付
1925	大正14	3/30～	大阪 玉造座	一谷嫩軍記																	市川若之助ほか。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1925	大正14	4/2～	兵庫 宝塚劇場	一谷嫩軍記 陣屋	《6》坂東 彦三郎		《6》尾上 菊五郎	《6》大谷 友右衛門	菊三郎													筋書
1925	大正14	4/10～	大國座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・同磯辺 組討・熊谷 陣屋	《2》河原 崎権十郎	市之丞	栄升	団之助	扇女	《7》吾妻 藤蔵	喜十郎	市之丞	銀杏	喜十郎								筋書
1925	大正14	4/18～	末広座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・同磯辺 組打・熊谷 陣屋	松本幸太 郎	中村富美 丸	中村政恵	市川登志 恵	沢村年丸	松本浩次	松本錦長	松本錦長	中村政恵	市川登志 恵								筋書
1925	大正14	5/20～	邦楽座	熊谷役者 劇中劇〔陣 屋〕	沢田	久松	中井	若之助	山路	鬼頭	上田											『配役総 覧』第六 版・第七版
1925	大正14	6/1～	浅草劇場	一谷嫩軍記 陣門・陣屋	松本幸太 郎	中村富美 丸	中村政恵	市川登志 恵	沢村年丸	松本浩次	松本錦長	松本錦長	中村政恵	市川登志 恵								筋書
1925	大正14	6/吉～	大阪 松島八千代 座	一谷嫩軍記 須磨浦より 陣屋まで	《3》片岡 長太夫	正朝	《5》嵐徳 三郎	佳笑	豊三郎	門童	市鶴	延童	延状	右田作								『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1925	大正14	7/31～	宮戸座	〔陣屋〕	《5》関三 十郎	仙笑	《5》市川 新之助	琴右衛門	新之丞													『配役総 覧』第六 版・第七版
1925	大正14	8/9～ 8/16	名古屋 新守座	一の谷嫩軍 記 須磨の浦陣 門・同浜辺 組討・生田 森陣屋	《6》坂東 彦三郎	坂東鶴之 丞	尾上菊三 郎	市川団右 衛門	坂東八重 次	坂東鶴升	坂東薪左 衛門	〈小次 郎〉坂東 鶴右衛 門・ 〈敦盛〉 坂東竹三	坂東一鶴	坂東薪蔵							遠見の熊谷 (《3》坂東亀三 郎)。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1925	大正14	9/8～ 9/14	名古屋 末広座	一の谷嫩軍 記 須磨の陣門 より熊谷陣 屋まで	松本幸太 郎	市川千代 子	中村政恵	松本広次	市川久枝		松本茶目 丸	松本錦長	市川時次	松本広次								『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1925	大正14	10/26～	千歳座	〔陣屋〕	羽太蔵	芝喜之助	成田屋	中村翫太 郎	鶴二郎	すず	録三郎										ともだち座。	『配役総 覧』第六 版・第七版
1925	大正14	12/1～ 12/16	京都 南座	一谷嫩軍記 須磨の浦組 討	《7》松本 幸四郎					梅助		《1》中村 鷹治郎	《3》中村 雀右衛門	幸蔵							遠見の敦盛(中村 章景)。	『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1926	大正15	1/14～	公園劇場	〔陣屋〕	伝二郎	武五郎	錦吾	宗五郎	国太郎	春之助	半十郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1926	大正15	6/4～ 6/28	大阪 中座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》中村 鷹治郎	《4》中村 福助〈高 砂屋〉	《5》中村 歌右衛門	《11》片 岡仁左衛 門	《6》嵐吉 三郎	林長三郎	《2》市川 箱登羅											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1926	大正15	6/10～	大阪 天満八千代 座	一の谷嫩軍 記 熊谷陣屋	嵐佳笑	片岡門童	《5》嵐徳 三郎	市川荒二 郎	実川延状	嵐和歌太 夫	片岡松右 衛門											『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1926	大正15	7/1～	神田劇場	〔陣屋〕	《2》河原 崎権十郎	武五郎	錦吾	宗五郎	扇女	新之丞	五郎蔵											『配役総 覧』第六 版・第七版
1926	大正年 間	7/6～	大國座	一谷嫩軍記 菟原里							市川才十 郎					沢村訥升	市川白蔵	大谷徳次	岩井燕若	市川右治 丸	市川段枝	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1926	大正15	8/3～	宮戸座	〔陣屋〕	《5》関三 十郎	仙笑	鶴之助	琴右衛門	《4》市川 猿蔵													『配役総 覧』第六 版・第七版
1926	大正15	9/24～ 9/26	名古屋 蓬座	一ノ谷 熊谷陣屋																	市川芳三郎、尾上 扇三郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1926	大正15	12/10～ 12/12	名古屋 京枀座	熊谷陣屋																	市川芳三郎、尾上 扇三郎ほか。	『近代歌舞 伎年表・名 古屋篇』
1927	昭和2	1/11～	早稲田座	〔陣屋〕	莚十郎	磯次郎	秀江	松五郎	吉蔵	清紀	市五郎											『配役総 覧』第六 版・第七版
1927	昭和2	1/26～	大国座	一谷嫩軍記 陣門・陣屋	竹三郎	《2》坂東 竹若	《5》市川 新之助	沢村哥川	清之助	鶴五郎	楽五郎	幹尾	国太郎	市寿								筋書
1927	昭和2	2/1～	大阪 中座	一谷嫩軍記 須磨の浦	《7》市川 中車					松鶴		《1》中村 鷹治郎	《7》沢村 宗十郎	《2》市川 箱登羅							遠見の敦盛（中村 章景）。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1927	昭和2	3/31～ 4/10	京都 三友劇場	一谷嫩軍記 一の谷陣屋	片岡秀郎	中村雁衛 門	片岡まつ ば	市川滝三 郎	市川鶴之 丞	林男長	市川市猿											『近代歌舞 伎年表・京 都篇』
1927	昭和2	6/1～ 6/25	帝国劇場	一谷嫩軍記 陣屋	《7》松本 幸四郎	《6》尾上 梅幸	《15》市 村羽左衛 門	《13》守 田勘弥	《5》沢村 田之助	《5》助高 屋高助	松本錦四 郎											辻番付
1927	昭和2	9/3～ 9/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記 陣門・組討	《7》松本 幸四郎							《6》尾上 菊五郎	《5》中村 福助	幸蔵							遠見の熊谷 （《3》坂東亀三 郎）、遠見の敦盛 （《4》尾上丑之 助）。	筋書
1927	昭和2	12/1～ 12/23	新橋演舞場	一谷嫩軍記 陣門・組 討・陣屋	《1》中村 吉右衛門	《3》中村 時蔵	《7》坂東 三津五郎	《6》尾上 菊五郎	《4》沢村 源之助	《3》中村 米吉	《3》市川 新十郎	《5》中村 福助	《3》中村 時蔵	《1》中村 吉之丞								筋書
1928	昭和3	1/21～	末広座	〔陣屋〕	《4》市川 市十郎	吉太郎	左莚	桔十郎	玉十郎	いろは	玉蔵											『配役総 覧』第六 版・第七版
1928	昭和3	5/10～	高砂座	〔陣屋〕	《4》市川 市十郎	扇女	団吉	市太郎	市三郎		玉蔵											『配役総 覧』第六 版・第七版
1928	昭和3	7/14～	寿座	〔陣屋〕	松本小治 郎	《3》沢村 百之助	鶴之輔		仙笑													『配役総 覧』第六 版・第七版
1929	昭和4	4/1～	名古屋 新守座	一谷嫩軍記 陣門・組討	《1》中村 吉右衛門																	筋書
1929	昭和4	4/9～	末広座	〔陣屋〕	四郎五郎	錦糸	左莚	升童	富美丸	四郎三郎	月岡											『配役総 覧』第六 版・第七版
1929	昭和4	4/16～	神戸 八千代座	一谷嫩軍記 陣門・組討																	《1》中村吉右衛 門、《3》中村時 蔵、《7》坂東三 津五郎ほか。	『松竹百年 史』
1929	昭和4	11/11～	高砂座	〔陣屋〕	松本小治 郎	英之助	喜十郎	燕若	松二郎	松太郎												『配役総 覧』第六 版・第七版
1930	昭和5	4/5～	宮戸座	〔陣屋〕	市之丞	《5》市川 新之助	松太郎	鶴之輔	新之丞	福松												『配役総 覧』第六 版・第七版
1930	昭和5	9/2～ 9/26	大阪 中座	一谷嫩軍記 一の谷陣 門・磯端・ 須磨浦組 討・生田森 陣屋	《1》中村 吉右衛門	《3》中村 時蔵	《7》沢村 宗十郎	《6》大谷 友右衛門	《5》沢村 田之助	《4》市川 九蔵	金五郎	《7》沢村 宗十郎	《3》中村 時蔵	《1》中村 吉之丞							遠見の熊谷 （《1》大谷広太 郎）。	『近代歌舞 伎年表・大 阪篇』
1931	昭和6	4/1～	明治座	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《1》中村 吉右衛門	《7》沢村 宗十郎	《4》片岡 我童	《7》松本 幸四郎	《5》沢村 田之助	《6》坂東 義助	金五郎											筋書
1932	昭和7	2/1～	東京劇場	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《1》中村 吉右衛門	《5》中村 福助	《15》市 村羽左衛 門	《6》尾上 菊五郎	《4》市川 男女蔵	《15》市 村家橋	《1》中村 吉之丞											筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1932	昭和7	6/17～	観音劇場	一谷嫩軍記陣屋	松本小治郎	《1》坂東薪車	友三郎	鶴之輔	鶴之丞	鶴太郎												筋書
1932	昭和7	7/1～	公園劇場	一谷嫩軍記須磨の浦	河原崎権十郎							勝太郎	紅梅	米五郎								筋書
1932	昭和7	7/15～	寿座	〔陣屋〕	市之丞	歌扇	紋十郎	《4》市川市十郎	八重之丞	団吉	寿五郎											『配役総覧』第六版・第七版
1932	昭和7	10/3～10/27	大阪大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記生田の森陣屋	《1》中村鴈治郎	《4》中村福助〈高砂屋〉	《15》市村羽左衛門	《7》松本幸四郎	《1》中村魁車	林長三郎	《2》市川箱登羅											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1932	昭和7	12/30～	宮戸座	〔陣屋〕	竹三郎	《5》岩井象三郎	栄升	莚三郎	仙笑	品作												『配役総覧』第六版・第七版
1933	昭和8	1/2～1/31	歌舞伎座	一谷嫩軍記生田森陣屋	《1》中村鴈治郎	《6》尾上梅幸	《15》市村羽左衛門	《7》松本幸四郎	《7》沢村宗十郎	《7》坂東三津五郎	市川団右衛門										九代目団十郎追遠。	辻番付
1933	昭和8	12/20～	観音劇場	〔陣屋〕	《1》坂東薪車	竹之助	鶴之丞	嘉好	鶴太郎	薪一	鶴七											『配役総覧』第六版・第七版
1934	昭和9	1/1～1/7	新宿新歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《4》片岡我当	《4》沢村訥升	《3》坂東しうか	《6》坂東義助	片岡ひとし	《1》松本高麗五郎	市川中三郎											筋書
1934	昭和9	3/1～3/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組討	《1》中村吉右衛門							《7》沢村宗十郎	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞							遠見の熊谷（慶《1》坂東慶三）、遠見の敦盛（《4》中村児太郎）。	筋書
1934	昭和9	3/3～	宮戸座	〔陣屋〕	《7》沢村長十郎	《2》坂東竹若	大吉	仙笑		沢之助	吉蔵											『配役総覧』第六版・第七版
1935	昭和10	2/20～	宮戸座	〔陣屋〕	《7》沢村長十郎	《3》沢村百之助	《2》坂東竹若	半十郎	竹司	のし松	燕十郎											『配役総覧』第六版・第七版
1935	昭和10	12/1～12/18	京都南座	一谷嫩軍記須磨浦陣門・浜辺組討	《1》中村吉右衛門							《3》中村梅玉	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞							遠見の熊谷（《1》坂東慶三）、同敦盛（坂東光伸）。	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1935	昭和10	12/21～12/24	大阪北陽演舞場	一谷嫩軍記熊谷陣屋																	鷹之助、福助ほか。	『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1936	昭和11	1/1～	新宿歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組討	《2》河原崎権十郎							中三郎	松太郎	延四郎								筋書
1936	昭和11	1/1～	新宿第一劇場	一谷嫩軍記陣門・組討	《5》市川染五郎							《3》坂東鶴之助	《2》中村又五郎									筋書
1936	昭和11	4/1～4/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組打	《7》松本幸四郎							《15》市村羽左衛門	《7》沢村宗十郎	《6》大谷友右衛門								筋書・『歌舞伎座百年史』
1936	昭和11	11/1～11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記生田森陣屋	《7》松本幸四郎	《3》中村梅玉	《7》沢村宗十郎	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《5》市川染五郎	市川団右衛門											辻番付
1937	昭和12	2/1～2/25	大阪大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《7》松本幸四郎	《3》中村梅玉	《6》尾上菊五郎	《2》実川延若	《4》市川男女蔵	《2》尾上松緑	《2》市川箱登羅											『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1937	昭和12	4/21～	寿劇場	〔陣門〕	《5》市川新之助							歌扇	小紫	市昇								『配役総覧』第六版・第七版
1937	昭和12	12/1～	明治座	一谷嫩軍記生田森陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《7》沢村宗十郎	《6》大谷友右衛門	《6》中村福助	《5》沢村田之助	《1》中村吉之丞											筋書
1938	昭和13	3/1～3/25	大阪大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨浦陣門・組討・檀特山	《7》松本幸四郎							《12》片岡仁左衛門	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞								『近代歌舞伎年表・大阪篇』
1938	昭和13	4/25～	寿劇場	〔陣屋〕	実川延松	歌扇	高麗之助	市昇	鶴太郎	松吾	紀三郎											『配役総覧』第六版・第七版
1938	昭和13	12/1～12/18	京都南座	一谷嫩軍記生田の森陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《3》中村梅玉	《7》松本幸四郎	《2》中村成太郎	《5》沢村田之助	松本錦四郎											『近代歌舞伎年表・京都篇』

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1939	昭和14	1/21～	寿劇場	〔陣門〕	《5》市川新之助							《5》市川米十郎	鶴太郎	紀三郎								『配役総覧』第六版・第七版	
1939	昭和14	6/17～6/25	名古屋御園座	一谷嫩軍記陣門・組討	《1》中村吉右衛門																	『御園座七十年史』	
1939	昭和14	6/30～	寿劇場	〔陣屋〕	《5》市川新之助	鶴太郎	高麗之助	市昇	梅三郎	目高	小五郎											『配役総覧』第六版・第七版	
1940	昭和15	1/30～	京都三友劇場	一谷嫩軍記一幕																	片岡松燕・実川芦若ほか。	『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1940	昭和15	2/1～2/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記生田森陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《6》尾上菊五郎	《6》大谷友右衛門	《5》沢村田之助	《4》市川九蔵	《1》中村吉之丞											筋書	
1940	昭和15	8/30～	寿座	〔陣屋〕	実川延松	鶴太郎	高麗之助	我蔵	梅三郎	松吾	小五郎											『配役総覧』第六版・第七版	
1940	昭和15	11/4	日比谷大音楽堂	〔陣門〕																	市民慰労会。	『配役総覧』第六版・第七版	
1940	昭和15	12/2～12/20	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《3》中村梅玉	《7》松本幸四郎	《5》沢村田之助	《5》市川染五郎	《1》中村吉之丞											『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1941	昭和16	1/10～	寿劇場	一谷嫩軍記菟原の里茅屋							小五郎				実川延松	《2》坂東竹若	梅三郎	市昇	紀三郎	八重之丞		筋書	
1941	昭和16	3/1～	名古屋歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組討																		筋書	
1941	昭和16	5/30～	寿劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	実川延松	《2》坂東竹若	高麗之助	市昇	福之助	八重之丞	小五郎											筋書	
1941	昭和16	6/30～	寿劇場	一谷嫩軍記檀特山須磨浦組討	《5》市川新之助							《2》坂東竹若	福之助	紀三郎								筋書	
1941	昭和16	7/1～7/27	大阪中座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》阪東寿三郎	《3》坂東鶴之助	《14》守田勘弥	《6》坂東義助	《6》中村駒之助	《2》中村霞仙	門二郎											『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1942	昭和17	1/1～1/25	大阪中座	一谷嫩軍記生田の森陣屋	《2》実川延若	《1》中村魁車	《3》中村梅玉	《4》市川市蔵	《2》中村霞仙	《7》嵐吉三郎	三津弥											『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1942	昭和17	1/2～1/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記生田森陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《7》坂東三津五郎	《6》尾上菊五郎	《6》中村芝翫	《5》市川染五郎	市川団右衛門											筋書	
1942	昭和17	4/1～4/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組討	《7》松本幸四郎							《6》尾上菊五郎	《3》中村時蔵	《1》中村吉之丞								筋書	
1942	昭和17	4/21～	寿劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《5》市川新之助	鶴太郎	《3》坂東鶴蔵	実川延松	梅三郎	《5》市川米十郎	長蔵											筋書	
1942	昭和17 昭和18	12/31～1/7	寿劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	実川延松	福之助	《5》市川新之助	吉次	梅三郎	《5》市川米十郎	小五郎											筋書	
1943	昭和18	4/1～4/11	神戸松竹劇場	一谷嫩軍記須磨の浦・陣屋	《3》阪東寿三郎	《2》中村霞仙	《3》中村梅玉	《4》市川市蔵	《2》中村成太郎	《5》中村福助〈高砂屋〉	中村政之助											筋書	
1943	昭和18	4/15～	名古屋御園座	一谷嫩軍記須磨の浦・陣屋	《3》阪東寿三郎	《2》中村霞仙	《3》中村梅玉	《4》市川市蔵	《2》中村成太郎	《5》中村福助〈高砂屋〉	中村政之助											筋書	
1943	昭和18	6/3～6/28	大阪大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記敦盛出陣福原仮御殿・須磨の浦・生田の森陣屋	《3》阪東寿三郎	《4》中村富十郎	《1》中村魁車	《4》市川市蔵	《2》中村霞仙	市川莚升	《8》市川八百蔵	《6》市川寿美蔵	《4》中村富十郎	《2》市川団次郎								『近代歌舞伎年表・大阪篇』	
1943	昭和18	6/10～6/13	京都西陣劇場	一の谷三段目熊谷陣屋																	巖笑、坂東彦蔵、中村時子ほか。	『近代歌舞伎年表・京都篇』	
1944	昭和19	3/1～3/4	京都南座	一谷嫩軍記敦盛出陣・須磨の浦・組打・陣屋	《3》阪東寿三郎	《4》中村富十郎	《4》中村翫雀	《6》坂東義助	《2》松本錦吾	嵐璃徳	中村翫四郎	《4》中村翫雀	《2》中村成太郎	中村松若								時代劇通し狂言	『近代歌舞伎年表・京都篇』
1944	昭和19	9/30～	寿劇場	一谷嫩軍記生田森熊谷陣屋	高麗之助	《3》坂東鶴蔵	《2》坂東竹若	実川延松	福之助	八重之丞	小五郎											筋書	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1944	昭和19	11/3～	新橋演舞場	一谷嫩軍記 生田森熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《4》中村もしほ	《5》市川染五郎	《6》中村芝翫	《2》中村又五郎	《1》中村吉之丞											筋書
1945	昭和20	1/未詳～	渋谷劇場	〔陣屋〕																	小主水、歌五郎、松若ほか。	『配役総覧』第六版・第七版
1945	昭和20	7/31	日比谷公園小音楽堂 野外劇	一谷組討	《1》中村吉右衛門							《3》中村時蔵		《1》中村吉之丞								「演劇界」昭和20年9月号 筋書
1946	昭和21	10/5～	東京劇場	熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《3》中村時蔵	《4》中村もしほ	《2》市川猿之助	《6》中村芝翫	《2》中村又五郎	《1》中村吉之丞											筋書
1948	昭和23	1/1～1/28	大阪中座	一谷嫩軍記陣屋	《3》阪東寿三郎	《4》中村富十郎	《3》中村梅玉	《2》実川延若	《2》松本錦吾	《5》中村福助〈高砂屋〉	《1》市川松柏											筋書
1948	昭和23	1/2～1/27	東京劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《7》松本幸四郎	《7》沢村宗十郎	《7》坂東三津五郎	《2》市川猿之助	《4》市川男女蔵	《2》尾上松緑	《2》市川荒次郎											筋書
1948	昭和23	6/1～6/25	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》阪東寿三郎	《4》中村富十郎	《6》市川寿美蔵	《6》坂東義助	《2》松本錦吾	《5》中村福助〈高砂屋〉	《2》市川団次郎											筋書
1948	昭和23	6/5～6/30	東京劇場	一谷嫩軍記須磨浦陣門・同浜辺組討	《1》中村吉右衛門							《7》尾上梅幸	《6》中村芝翫	《1》中村吉之丞								筋書
1948	昭和23	7/4～7/28	大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨浦	《3》阪東寿三郎							《7》沢村宗十郎	《4》中村富十郎	《3》市川九団次								「幕間」昭和23年8月号 筋書
1948	昭和23	12/4～12/26	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《6》中村芝翫	《4》中村もしほ	《8》市川団蔵	《3》尾上多賀之丞	《5》中村福助〈高砂屋〉	《1》中村吉之丞											筋書
1949	昭和24	3/3～3/27	新橋演舞場	一谷嫩軍記生田森陣屋	《5》市川染五郎	《4》沢村訥升	《3》中村時蔵	《1》中村吉右衛門	《2》中村又五郎	《2》中村吉十郎	市川左莚											筋書
1949	昭和24	5/3～5/27	名古屋御園座	一谷嫩軍記生田森陣屋	《1》中村吉右衛門	《6》中村芝翫	《4》中村もしほ	《5》市川染五郎	《4》沢村訥升	《2》中村梅枝	《2》中村歌五郎											筋書
1949	昭和24	10/2～10/26	三越劇場	一谷嫩軍記生田森熊谷陣屋	《8》沢村訥子	《5》片岡芦燕	《5》片岡市蔵	《2》中村竹三郎	《2》市川笑猿	片岡大輔	《5》助高屋高助											筋書
1949	昭和24	11/未詳～	地方公演	一谷嫩軍記生田森熊谷陣屋	《7》坂東彦三郎	《3》尾上多賀之丞	《4》市川男女蔵	《3》尾上鯉三郎	《2》大川橋蔵	坂東光伸	尾上多賀蔵											筋書
1949	昭和24	12/7～12/16	大阪四ツ橋文楽座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《4》坂東鶴之助	《2》中村太郎	《2》実川延二郎	《4》嵐鯉昇	《2》中村扇雀	中村紫香	市川靖十郎										関西実験劇場第6回公演。武智鉄二演出、《6》坂東義助指導、松田種次装置。	筋書
1950	昭和25	4/4～4/29	東京劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《6》中村芝翫	《17》中村勘三郎	《2》市川猿之助	《4》沢村訥升	《2》中村又五郎	《1》中村吉之丞											筋書
1950	昭和25	5/11～5/17	都民文化劇場	一の谷嫩軍記熊谷陣屋	高麗之助	《3》坂東鶴蔵	《2》坂東竹若	龜音													かたばみ座。	『配役総覧』第六版・第七版
1951	昭和26	8/5～8/29	歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組討	《8》松本幸四郎							《7》尾上梅幸	《7》中村福助	《1》中村吉之丞								筋書
1951	昭和26	9/2～9/26	大阪大坂歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》阪東寿三郎	《2》中村鴈治郎	《3》市川寿海	《8》沢村訥子	《4》尾上菊次郎	《2》実川延二郎	《3》市川九団次											筋書
1952	昭和27	1/1～1/25	大阪大坂歌舞伎座	一谷嫩軍記組討	《3》阪東寿三郎							《2》中村鴈治郎	《4》中村富十郎	《7》嵐吉三郎								筋書
1952	昭和27	3/3～3/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《6》中村歌右衛門	《8》松本幸四郎	《2》市川猿之助	《4》沢村訥升	《2》中村又五郎	《1》中村吉之丞										3/8、《2》中村吉右衛門休演、熊谷（《8》松本幸四郎）、義経（《14》守田勘弥）。＝松竹大谷図書館所蔵本	筋書
1952	昭和27	7/1～	地方公演	一谷嫩軍記生田森陣屋	《8》松本幸四郎	《7》大谷友右衛門	《2》中村又五郎	《14》守田勘弥	《5》市川九蔵	《1》中村錦之助	松本染之助										八代目松本幸四郎襲名興行。襲名披露狂言。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1952	昭和27 昭和28	12/31～ 1/14	スミダ劇場	〔陣屋〕	《2》坂東竹若	《3》坂東鶴藏	右衛門	亀音	十次郎	百之助	蒿三郎											『配役総覧』第六版・第七版	
1954	昭和29	1/2～ 1/25	大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《3》坂東寿三郎	《2》中村鷹治郎	《13》片岡仁左衛門	《6》坂東義助	《4》坂東鶴之助	《2》実川延二郎	《1》市川松柏											筋書	
1954	昭和29	6/3～ 6/23	名古屋御園座	一谷嫩軍記 生田森陣屋	《8》松本幸四郎	《6》中村歌右衛門	《14》守田勘弥	《8》市川団藏	《8》沢村宗十郎	《1》坂東慶三	松本染之助											筋書	
1954	昭和29	7/2～ 7/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》中村吉右衛門	《6》中村歌右衛門	《7》坂東三津五郎	《17》中村勘三郎	《8》沢村宗十郎	《2》中村又五郎	《1》中村吉之丞											筋書	
1954	昭和29	7/18	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》中村福助〈高砂屋〉	《5》沢村訥升	《1》坂東慶三	吉之丞	中村福芝	仲三	松本染之助										第26回子供かぶき教室。	筋書	
1955	昭和30	3/3～ 3/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《9》市川海老蔵	《3》市川左団次	《7》中村福助	坂東光伸	《5》片岡市蔵											筋書	
1955	昭和30	5/1～5/5	神戸八千代座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《6》中村歌右衛門	《14》守田勘弥	《6》市川団之助	《8》沢村宗十郎	《10》市川高麗蔵	松本染之助											筋書	
1956	昭和31	1/2～ 1/29	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《6》中村歌右衛門	《3》中村時蔵	《2》市川猿之助	《8》沢村宗十郎	《10》市川高麗蔵	《1》中村吉之丞											筋書	
1956	昭和31	1/15	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》中村福助〈高砂屋〉	《5》市川九蔵	《5》沢村訥升	団之助	歌女三郎	松本染之助	歌蔵										第43回子供かぶき教室。	筋書	
1957	昭和32	3/2～ 3/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記 陣門・組討・熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《9》市川海老蔵	《3》市川左団次	《3》河原崎権十郎	《4》坂東八十助	片岡大輔	《7》尾上梅幸	《7》中村福助	《5》片岡市蔵								筋書	
1957	昭和32	5/2～ 5/26	大阪歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《6》中村歌右衛門	《3》中村時蔵	《8》市川団藏	《8》沢村宗十郎	《2》中村又五郎	松本染之助											筋書	
1957	昭和32	7/20～ 7/29	名古屋御園座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	市川福升	市川梅香	市川美寿次	市川小牡丹	市川升代	市川三福	市川利江										市川少女歌舞伎。	筋書	
1958	昭和33	1/8～ 1/15	スミダ劇場	〔菟原の里〕							芝寿						《2》坂東竹若	門三郎	蒿升	仲枝	蒿三郎	門三郎	『配役総覧』第六版・第七版
1958	昭和33	4/2～ 4/26	名古屋御園座	一谷嫩軍記 生田森熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》中村福助	《9》市川海老蔵	《3》市川左団次	《4》坂東鶴之助	《4》坂東八十助	片岡大輔											筋書	
1958	昭和33	9/1～ 9/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《3》中村時蔵	《2》市川猿之助	《8》市川中車	《6》中村歌右衛門	《2》中村又五郎	《2》中村吉十郎										中村吉右衛門追憶上演。	筋書	
1958	昭和33	9/4～ 9/26	大阪中座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》実川延二郎	《4》尾上菊次郎	《4》中村富十郎	《13》片岡仁左衛門	《2》中村成太郎	《2》坂東吉弥	《1》中村松若											筋書	
1959	昭和34	8/31～ 9/12	地方公演	熊谷陣屋 一谷嫩軍記	《4》河原崎長十郎	《5》嵐芳三郎	《2》中村歌門	坂東調右衛門	《5》河原崎国太郎	《5》中村鶴蔵	《5》藤川八蔵										平田兼三改訂並演出、《4》河原崎長十郎演出、富田鉄之助演出。	『〈新訂〉前進座年表』・「演劇界」昭和34年11月号	
1959	昭和34	9/16～ 9/27	名古屋名鉄ホール	熊谷陣屋 一谷嫩軍記	《4》河原崎長十郎	《5》嵐芳三郎	《2》中村歌門	坂東調右衛門	《5》河原崎国太郎	《5》中村鶴蔵	《5》藤川八蔵										平田兼三改訂並演出、《4》河原崎長十郎演出、富田鉄之助演出。	『〈新訂〉前進座年表』・「演劇界」昭和34年11月号	
1959	昭和34	10/1・ 10/2	福岡小倉中央公民館	熊谷陣屋 一谷嫩軍記	《4》河原崎長十郎	《5》嵐芳三郎	《2》中村歌門	坂東調右衛門	《5》河原崎国太郎	《5》中村鶴蔵	《5》藤川八蔵										平田兼三改訂並演出、《4》河原崎長十郎演出、富田鉄之助演出。	『〈新訂〉前進座年表』	
1959	昭和34	10/5～ 10/14	大阪毎日ホール	熊谷陣屋 一谷嫩軍記	《4》河原崎長十郎	《5》嵐芳三郎	《2》中村歌門	坂東調右衛門	《5》河原崎国太郎	《5》中村鶴蔵	《5》藤川八蔵										平田兼三改訂並演出、《4》河原崎長十郎演出、富田鉄之助演出。	『〈新訂〉前進座年表』・「演劇界」昭和34年11月号	
1959	昭和34	10/18～ 10/29	京都南座	熊谷陣屋 一谷嫩軍記	《4》河原崎長十郎	《5》嵐芳三郎	《2》中村歌門	坂東調右衛門	《5》河原崎国太郎	《5》中村鶴蔵	《5》藤川八蔵										平田兼三改訂並演出、《4》河原崎長十郎演出、富田鉄之助演出。	『〈新訂〉前進座年表』・「演劇界」昭和34年11月号	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1959	昭和34	11/1～11/20	読売ホー	熊谷陣屋 一谷嫩軍記	《4》河原崎長十郎	《5》嵐芳三郎	《2》中村歌門	坂東調右衛門	《5》河原崎国太郎	《5》中村鶴藏	《5》藤川八蔵	《敦盛》嵐芳夫／《小次郎》英太郎									平田兼三改訂並演出、《4》河原崎長十郎演出、富田鉄之助演出。	筋書
1959	昭和34	11/未詳～	地方公演	一谷嫩軍記 陣屋 熊谷陣屋	《7》嵐吉三郎	《4》尾上菊次郎	《13》片岡仁左衛門	中村松若	片岡松之丞	中村太郎	中村鷹右衛門											筋書
1959	昭和34	12/1～12/26	京都南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《7》大谷友右衛門	《3》市川寿海	《2》市川猿之助	《6》中村芝雀	《2》松本高麗五郎	《2》中村吉十郎											筋書
1960	昭和35	5/未詳～	地方公演	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《5》中村福助《高砂屋》	《4》坂東秀調	《5》沢村訥升	《5》片岡愛之助	《5》沢村源之助	沢村宗弥	沢村宗五郎											筋書
1960	昭和35	10/1～10/25	名古屋御園座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《6》中村歌右衛門	《8》市川中車	《8》市川団蔵	《5》片岡我童	《5》市川九蔵	《2》中村吉十郎											筋書
1960	昭和35	12/1～12/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《7》尾上梅幸	《9》市川海老蔵	《3》市川左団次	《2》中村又五郎	《10》市川高麗蔵	《2》中村吉十郎											筋書
1961	昭和36	11/3～11/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《9》市川海老蔵	《6》中村歌右衛門	《7》尾上梅幸	《2》尾上松緑	《7》中村福助	《4》坂東八十助	《5》片岡市蔵											筋書
1961	昭和36	12/1～12/23	産経ホー	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《2》中村扇雀	《2》中村又五郎	《8》市川中車	《10》市川高麗蔵	中村萬之助	《2》中村吉十郎										東宝歌舞伎。	筋書
1962	昭和37	5/3～5/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記 須磨の浦陣 門・同組討	《2》尾上松緑							《7》中村福助	《7》市川門之助	《5》片岡市蔵								筋書
1964	昭和39	3/2～3/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《11》市川団十郎	《7》大谷友右衛門	《14》守田勤弥	《8》坂東三津五郎	《8》沢村宗十郎	《6》片岡芦燕	《5》片岡市蔵										3/4、《11》市川団十郎休演、熊谷《13》片岡仁左衛門。＝松竹大谷図書館所蔵本	筋書
1964	昭和39	5/2～	名古屋御園座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《2》中村扇雀	《2》中村又五郎	《8》市川中車	《10》市川高麗蔵	中村萬之助	《2》中村吉十郎										東宝歌舞伎。	筋書
1964	昭和39	7/19～7/27	大阪朝日座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《13》片岡仁左衛門	《4》尾上菊次郎	片岡秀公	《7》嵐吉三郎	《2》中村成太郎	《2》中村太郎	中村松柏										仁左衛門歌舞伎第三回公演。	筋書
1964	昭和39	12/1～12/26	京都南座	熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《2》中村鷹治郎	《3》市川寿海	《13》片岡仁左衛門	《2》中村扇雀	片岡秀公	《1》市川松柏											筋書
1965	昭和40	6/30	三越劇場	〔陣屋〕	《6》片岡芦燕	片岡たかし	升丸	《5》片岡市蔵	福太郎	市松	三男										荒磯会。	『配役総覧』第六版・第七版
1965	昭和40	10/8～11/18	地方公演	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《13》片岡仁左衛門	《5》片岡我童	片岡孝夫	《7》嵐吉三郎	《2》片岡秀太郎	大谷妹尾・片岡松之	大谷山三郎										仁左衛門十種の内	筋書
1966	昭和41	5/5～5/29	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《2》中村鷹治郎	《7》尾上梅幸	《8》坂東三津五郎	《6》中村歌右衛門	《1》尾上辰之助	《5》片岡市蔵											筋書
1967	昭和42	2/2～2/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 一谷陣門・檀特山組討・生田の森陣屋	《8》松本幸四郎	《7》尾上梅幸	《6》市川染五郎	《2》尾上松緑	《8》沢村宗十郎	《6》尾上菊蔵	《2》松本高麗五郎	《2》中村吉右衛門	《10》市川高麗蔵	《2》中村吉十郎								筋書
1967	昭和42	5/1～5/25	大阪新歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《4》尾上菊之助	《3》市川左団次	《7》市川門之助	《7》坂東義助	《6》片岡芦燕										四代目尾上菊之助襲名披露。	筋書
1968	昭和43	2/4	国立劇場小劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《6》市川染五郎	中村万之丞	《2》中村吉右衛門	《8》市川中車	《2》中村吉之助	《3》松本錦吾											木の芽会第九回公演。	筋書
1968	昭和43	8/13～8/18	大阪朝日座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	片岡孝夫	大谷ひと江	片岡秀公	《2》中村太郎	《3》市川右之助		片岡秀六											筋書
1968	昭和43	10/3～10/27	名古屋御園座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《2》中村鷹治郎	《7》尾上梅幸	《8》坂東三津五郎	《2》中村扇雀	《1》尾上辰之助	《6》片岡芦燕											筋書
1969	昭和44	6/4～6/27	東横劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	片岡孝夫	《6》沢村田之助	《5》沢村訥升	《9》市川八百蔵	《5》中村もしほ	沢村六郎	《3》市川白蔵											筋書
1969	昭和44	9/10～10/19	アメリカ公演	熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《4》尾上菊之助	《1》尾上辰之助	《2》尾上九朗右衛門	《6》尾上菊蔵													『歌舞伎海外公演の記録』
1969	昭和44	11/30～12/25	京都南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《2》中村鷹治郎	《10》市川海老蔵	《8》坂東三津五郎	《7》中村芝翫	《1》尾上辰之助	《1》市川松柏											筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
1970	昭和45	2/1～2/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《1》尾上辰之助	《17》市川羽左衛門	《4》尾上菊之助	《1》市川銀之助	《5》片岡市蔵											筋書	
1970	昭和45	2/15	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《6》片岡芦燕	《6》尾上菊蔵	《1》市川銀之助	《5》片岡市蔵	《8》大谷友右衛門	坂東勲	坂東市之丞										第131回子供かぶき教室。	筋書	
1970	昭和45	8/8・8/9	国立劇場小劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《3》市川中之助	《2》中村吉之助	《3》松本錦吾	《2》中村又蔵	《1》松本幸雀	《4》中村吉三	松本錦八										第3回東宝劇団若手歌舞伎研究会、第三回青年歌舞伎祭。《8》松本幸四郎指導、《8》市川中車指導、《2》中村又五郎指導、《10》市川高麗蔵指導。	筋書	
1970	昭和45	9/1～9/27	帝国劇場	熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《5》沢村訥升	《2》中村又五郎	《8》市川中車	《10》市川高麗蔵	《3》松本錦吾	《2》中村吉十郎										初代吉右衛門十七回忌追善。	筋書	
1971	昭和46	6/30～7/27	地方公演	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《13》片岡仁左衛門	《4》中村雀右衛門	《5》片岡我当	坂東好太郎	《2》片岡秀太郎	片岡秀六	坂東三津三郎										〔第5回公文協歌舞伎〕。	筋書	
1972	昭和47	2/23～2/27	国立劇場	一谷嫩軍記 陣門・組討・陣屋	《3》市川猿之助	《4》中村雀右衛門	《5》沢村訥升	《4》尾上菊次郎	《6》沢村田之助	《2》市川段四郎	《3》市川猿十郎	《6》中村東蔵	沢村精四郎	《1》市川猿三郎								第六回春秋会。	筋書
1972	昭和47	4/5～4/27	国立劇場	一谷嫩軍記 須磨浦陣門・同浜辺組討・御影浜浜辺・生田森熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《7》尾上梅幸	《4》尾上菊之助	《17》市川羽左衛門	《2》中村又五郎	《6》尾上菊蔵	《2》助高屋小伝次	《7》尾上梅幸	《7》市川門之助	《5》片岡市蔵							通し狂言 ※国立劇場第四九回歌舞伎公演。	筋書	
1972	昭和47	11/1～11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《17》中村勘三郎	《7》尾上梅幸	《2》中村鷹治郎	《2》尾上松緑	《7》中村芝翫	《2》市川子団次	《5》片岡市蔵											筋書	
1973	昭和48	1/2～1/26	大阪新歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《3》市川猿之助	《2》中村扇雀	沢村精四郎	《2》市川小太夫	《6》中村東蔵	《4》市川段四郎	《3》市川猿十郎											筋書	
1973	昭和48	6/4～6/28	新橋演舞場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	片岡孝夫	《5》坂東玉三郎	《10》市川海老蔵	《14》守田勘弥	《2》片岡秀太郎	《17》市村家橘	《3》市川猿十郎											筋書	
1973	昭和48	8/3～8/5	国立劇場小劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《1》尾上辰之助	《4》尾上菊之助	《2》尾上松鶴	《1》市川銀之助	《8》大谷友右衛門	市川滝助	尾上緑也										第3回あすなろう会、第6回青年歌舞伎祭。《2》尾上松緑補導、《7》尾上梅幸補導、《7》坂東義助補導。	筋書	
1973	昭和48	8/4～8/27	京都南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	片岡孝夫	《5》坂東玉三郎	《5》片岡我当	《13》片岡仁左衛門	《2》片岡秀太郎	《2》中村太郎	《1》市川松柏											筋書	
1973	昭和48	11/1～11/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 須磨の浦陣門・同組討	《8》松本幸四郎							《7》尾上梅幸	《7》中村芝翫	《5》片岡市蔵								筋書	
1973	昭和48	11/18	歌舞伎座	一谷嫩軍記 須磨の浦陣門・同組討	《13》中村勘五郎							《2》尾上松鶴	《17》市村家橘	尾上松四郎							第145回子供かぶき教室。	筋書	
1974	昭和49	1/3～1/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《2》中村鷹治郎	《5》中村富十郎	《13》片岡仁左衛門	《7》中村芝翫	《8》大谷友右衛門	《2》中村歌門											筋書	
1974	昭和49	11/30～12/25	京都南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《2》中村鷹治郎	《1》尾上辰之助	《13》片岡仁左衛門	《2》中村扇雀	《3》河原崎権十郎	《1》市川松柏											筋書	
1975	昭和50	6/4～6/28	新橋演舞場	一谷嫩軍記 流しの枝							《5》片岡市蔵				片岡孝夫	《10》市川海老蔵	沢村精四郎	市川福之助	《6》片岡芦燕	坂東弥五郎	水沼一郎補綴、山口廣一演出。大塚克三装置。	筋書	
1976	昭和51	10/1～10/25	名古屋御園座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《2》中村鷹治郎	《6》市川染五郎	坂東好太郎	《4》中村雀右衛門	《3》松本錦吾	《1》中村吉五郎											筋書	
1976	昭和51	11/1～11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《2》中村鷹治郎	《2》中村吉右衛門	《13》片岡仁左衛門	《7》中村芝翫	《5》市川段四郎	《5》片岡市蔵											筋書	

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1976	昭和51	12/3～12/25	帝国劇場	一谷嫩軍記一の谷陣門・須磨浦組討	《2》中村吉右衛門							《7》尾上菊五郎	《7》市川門之助	《5》片岡市蔵								筋書
1977	昭和52	12/1～12/26	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《8》松本幸四郎	《7》中村芝翫	《2》中村鷹治郎	《13》片岡仁左衛門	《2》中村扇雀	《6》中村東蔵	市川中蔵											筋書
1978	昭和53	8/5～8/18	地方公演	一谷嫩軍記須磨浦陣門・同浜辺組討・生田森熊谷陣屋	《3》河原崎権十郎	《6》沢村田之助	《1》市川銀之助・《2》尾上松鶴	《5》市川男女蔵	《8》大谷友右衛門	《2》尾上松鶴・《1》市川銀之助		《10》岩井半四郎	《7》中村芝雀								昭和五十三年度青少年芸術劇場歌舞伎。	筋書
1978	昭和53	9/3～9/27	新橋演舞場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《10》市川海老蔵	《7》尾上菊五郎	《1》尾上辰之助	《3》河原崎権十郎	《3》中村梅枝	《5》坂東八十助	《5》片岡市蔵											筋書
1980	昭和55	7/1～8/5	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《10》市川海老蔵	《2》沢村藤十郎	《2》中村扇雀	《3》河原崎権十郎	《8》大谷友右衛門	《3》市川右之助	《4》市川左団次										〔第14回公文協歌舞伎〕。	筋書
1981	昭和56	2/27	NHKホール	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《1》尾上辰之助	《17》市村羽左衛門	《7》中村芝翫	《7》坂東義助	《4》市川左団次										第7回NHK古典芸能鑑賞会。	筋書
1981	昭和56	8/22・8/23	国立劇場小劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	中村仲一郎	中村又志郎	中村歌寿	坂東八重蔵	《2》中村芝喜松	中村仲二郎	尾上緑也										第9回稚魚の会。《2》中村又五郎指導。	筋書
1981	昭和56	11/1～11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《6》中村歌右衛門	《2》尾上松緑	《17》中村勘三郎	《7》中村芝翫	《2》中村又五郎	《9》市川八百蔵										白鷺・九代目幸四郎・七代目染五郎襲名披露。	筋書
1982	昭和57	2/3～2/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記陣門・組討	《17》市村羽左衛門							《7》尾上梅幸	《7》尾上菊五郎	《5》片岡市蔵								筋書
1982	昭和57	7/2～7/24	アメリカ公演	熊谷陣屋	《17》中村勘三郎	《5》坂東玉三郎	《8》中村福助	《5》中村富十郎	《5》中村松江	《5》中村勘九郎												『歌舞伎海外公演の記録』
1983	昭和58	10/1～10/26	名古屋御園座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《7》尾上菊五郎	《17》市村羽左衛門	《7》中村芝翫	《8》坂東彦三郎	《5》片岡市蔵											筋書
1983	昭和58	10/30～11/25	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《17》市村羽左衛門	《6》沢村田之助	《8》坂東彦三郎	《7》坂東義助	《2》市村萬次郎	《2》市川新車	市村鶴蔵										58文化庁移動芸術祭歌舞伎公演。	筋書
1984	昭和59	1/2～1/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《17》中村勘三郎	《6》中村歌右衛門	《7》尾上梅幸	《13》片岡仁左衛門	《7》中村芝翫	《8》中村福助	《13》中村勘五郎										《6》中村歌右衛門休演、相模（《7》中村芝翫）、藤の方（《5》中村松江）。	筋書
1984	昭和59	5/2～5/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨の浦陣門・同組討	《2》尾上松緑							《7》尾上梅幸	《4》中村雀右衛門	《5》片岡市蔵								筋書
1984	昭和59	6/2～6/25	大阪中座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《10》市川海老蔵	《2》沢村藤十郎	《5》坂東八十助	《7》坂東義助	《2》市村萬次郎	《3》市川右之助	沢村昌之助											筋書
1984	昭和59	8/18・8/19	大阪大阪府立労働センター	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》片岡当十郎	実川延夫	片岡当勝	嵐徳丸	片岡孝二郎	片岡松一郎	嵐徳也										第五回若鮎の会。片岡仁左衛門監修。	筋書
1985	昭和60	5/3～5/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《7》尾上菊五郎	《8》中村福助	《3》実川延若	《2》沢村藤十郎	《5》坂東八十助	《5》片岡市蔵										十二代目団十郎襲名披露。	筋書
1985	昭和60	8/8～9/27	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《17》市村羽左衛門	《2》市村萬次郎	《8》坂東彦三郎	《10》岩井半四郎	《5》中村時蔵	坂東正之助	市村鶴蔵										〔第19回公文協歌舞伎西コース〕。	筋書
1985	昭和60	11/29～12/25	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《6》中村歌右衛門	《8》中村福助	《3》実川延若	《4》中村雀右衛門	《5》坂東八十助	《8》嵐吉三郎										十二代目団十郎襲名披露。	筋書
1985	昭和60	12/2～12/26	国立劇場	一谷嫩軍記須磨浦陣門・同浜辺組討	《9》松本幸四郎							《5》中村勘九郎	《2》沢村藤十郎	《5》片岡市蔵							※国立劇場第一三四回歌舞伎公演。	筋書
1986	昭和61	6/1～6/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》尾上松緑	《7》尾上梅幸	《7》尾上菊五郎	《3》河原崎権十郎	《4》中村雀右衛門	《5》坂東八十助	市村鶴蔵											筋書
1987	昭和62	2/1～2/25	名古屋御園座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《6》沢村田之助	《7》尾上菊五郎	《3》河原崎権十郎	《5》中村児太郎	《3》市川右之助	市村鶴蔵											筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1987	昭和62	6/30～7/2・7/7・7/11	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《7》中村芝雀	《9》市川団蔵	《4》市川左団次	《3》市川右之助	《6》片岡十蔵	市村鶴蔵										〔第21回公文協歌舞伎別コース〕。	筋書
1987	昭和62	7/9・7/10	秋田康楽館	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《7》中村芝雀	《9》市川団蔵	《4》市川左団次	《3》市川右之助	《6》片岡十蔵	市村鶴蔵										小坂町康楽館修復記念喜寿祝賀。	筋書
1987	昭和62	7/14～7/21	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《7》中村芝雀	《9》市川団蔵	《4》市川左団次	《3》市川右之助	《6》片岡十蔵	市村鶴蔵										昭和六十三年度文化庁青少年芸術劇場歌舞伎。	筋書
1987	昭和62	10/2～10/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《4》中村雀右衛門	《5》中村時蔵	《17》市村羽左衛門	《9》沢村宗十郎	《2》市川新車	《13》中村勘五郎											筋書
1988	昭和63	6/29～8/12	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《17》市村羽左衛門	《2》市村萬次郎	《8》坂東彦三郎	《4》市川左団次	《5》坂東秀調	坂東正之助	市村鶴蔵										〔第22回公文協歌舞伎東コース〕。九代目坂東三津五郎、五代目坂東秀調襲名披露。	筋書
1988	昭和63	9/1～9/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《4》中村雀右衛門	《8》中村福助	《3》河原崎権十郎	《2》沢村藤十郎	《3》中村歌昇	《5》片岡市蔵										白鸚七回忌追善。	筋書
1989	平成1	9/1～9/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《5》坂東玉三郎	《3》中村歌昇	《4》市川左団次	《5》中村時蔵	《3》市川右之助	《5》片岡市蔵											筋書
1989	平成1	10/3～10/24	ヨーロッパ公演	熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《5》坂東玉三郎	《5》坂東八十助	《4》市川左団次	《5》中村時蔵													『歌舞伎海外公演の記録』
1990	平成2	8/24～8/26	国立劇場小劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	尾上辰夫	中村京蔵	坂東橘太郎	実川若之介	市川段之	坂東玉雪	《3》松本錦弥										第12回歌舞伎会公演。《2》中村又五郎監修並指導。	筋書
1990	平成2	11/1～11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨の浦陣門・同組討	《2》中村吉右衛門							《5》中村勘九郎	《5》中村児太郎	《5》片岡市蔵								筋書
1990	平成2	12/2～12/26	国立劇場	一谷嫩軍記生田森熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《7》中村芝翫	《8》中村福助	《17》市村羽左衛門	《6》沢村田之助	《6》中村東蔵	《5》片岡市蔵										※国立劇場第一六三回歌舞伎公演。《6》中村歌右衛門監修、釘町久磨次装置。	筋書
1991	平成3	11/30～12/24	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	片岡孝夫	《7》中村芝翫	《2》中村吉右衛門	《4》市川左団次	《5》中村児太郎	中村信二郎	《2》坂東吉弥											筋書
1992	平成4	5/3～5/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《9》沢村宗十郎	《5》坂東八十助	《3》河原崎権十郎	《5》中村時蔵	《7》市川染五郎	《6》尾上松助											筋書
1993	平成5	2/1～2/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨の浦陣門・同組討	《12》市川団十郎							《5》坂東八十助	《7》中村芝雀	《9》市川団蔵								筋書
1993	平成5	4/1～4/25	明治座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《17》市村羽左衛門	《4》中村雀右衛門	《7》尾上菊五郎	《4》市川左団次	《9》沢村宗十郎	《8》大谷友右衛門	《4》尾上菊十郎											筋書
1994	平成6	4/2～4/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《4》中村雀右衛門	《7》尾上梅幸	《2》中村又五郎	《5》中村松江	《7》市川染五郎	《6》片岡芦燕											筋書
1995	平成7	8/3～8/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《5》坂東八十助	《2》沢村藤十郎	《5》中村勘九郎	《2》中村又五郎	片岡孝太郎	《11》市川高麗蔵	《4》片岡亀蔵											筋書
1995	平成7	12/1～12/26	京都南座	一谷嫩軍記陣門・組打	《12》市川団十郎							《3》中村鴈治郎	《2》片岡秀太郎	《2》坂東吉弥								筋書
1996	平成8	2/1～2/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨浦陣門・同浜辺組打・熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《7》中村芝翫	《7》尾上菊五郎	《9》坂東三津五郎	《5》中村松江	《11》市川高麗蔵	松本幸右衛門	《7》市川染五郎	《2》沢村藤十郎	《2》坂東吉弥								筋書
1996	平成8	4/8～4/25	香川金丸座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《2》沢村藤十郎	《7》尾上菊五郎	《3》河原崎権十郎	《7》中村芝雀	《7》市川新之助	《6》片岡十蔵											筋書
1997	平成9	3/2～3/27	大阪松竹座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《7》中村芝翫	片岡孝夫	《17》市村羽左衛門	《6》沢村田之助	《3》中村歌昇	《2》坂東吉弥											筋書
1998	平成10	2/1～2/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《15》片岡仁左衛門	《4》中村雀右衛門	《12》市川団十郎	《17》市村羽左衛門	《5》坂東玉三郎	《8》坂東彦三郎	《2》坂東吉弥										十五代目仁左衛門襲名披露。《12》市川団十郎休演、義経（《7》尾上菊五郎）。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／ 敦盛	玉織姫	平山武者 所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠
1998	平成10	8/14～ 8/16	国立劇場小 劇場	一谷嫩軍記 生田の森熊 谷陣屋	中村吉次	《2》沢村 宗丸	中村仲助	《6》嵐橋 三郎	沢村國久	中村吉弥	中村吉三 郎										第16回歌舞伎会、 青年歌舞伎公演。 《2》中村又五 郎、《2》中村吉 之丞指導。	筋書
1998	平成10	11/30～ 12/26	京都 南座	一谷嫩軍記 陣屋	《15》片 岡仁左衛 門	《4》中村 雀右衛門	《12》市 川団十郎	《5》中村 富十郎	《2》片岡 秀太郎	坂東正之 助	《2》坂東 吉弥										十五代目仁左衛門 襲名披露。	筋書
1999	平成11	8/21・ 8/22	国立劇場	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・同浜辺 組打・生田 森熊谷陣屋	《1》市川 右近	《3》市川 笑三郎	市川段治 郎	《9》市川 団蔵	《2》市川 春猿	市川延夫	市川欣弥	《4》中村 玉太郎	市川笑野	《2》市川 猿弥							第7回市川右近の 会。山田庄一監 修、戸部銀作監 修、奈河彰輔監 修、《3》市川猿 之助監修、石川耕 士補綴。	筋書
1999	平成11	10/1～ 10/25	名古屋 御園座	一谷嫩軍記 陣屋	《12》市 川団十郎	《9》沢村 宗十郎	《3》中村 鷹治郎	《5》片岡 我当	《2》片岡 秀太郎	《7》市川 新之助	《6》片岡 十蔵											筋書
2000	平成12	2/2～ 2/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《2》中村 吉右衛門	《4》中村 雀右衛門	《7》尾上 菊五郎	《4》市川 左団次	《5》中村 時蔵	《3》中村 歌昇	《6》尾上 松助											筋書
2001	平成13	1/2～ 1/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《9》松本 幸四郎	《4》中村 雀右衛門	《6》沢村 田之助	《4》市川 左団次	《9》中村 福助	《8》大谷 友右衛門	《3》松本 錦吾											筋書
2001	平成13	9/3～ 9/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・同浜辺 組打	《2》中村 吉右衛門							《4》中村 梅玉	《5》中村 松江	《6》片岡 芦燕								筋書
2001	平成13	10/1～ 10/25	名古屋 御園座	一谷嫩軍記 陣屋	《10》坂 東三津五	《3》中村 鷹治郎	《7》尾上 菊五郎	《4》市川 左団次	《5》中村 時蔵	《5》坂東 秀調	《2》坂東 吉弥										十代目三津五郎襲 名披露。	筋書
2002	平成14	1/2～ 1/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《9》松本 幸四郎	《4》中村 雀右衛門	《7》市川 染五郎	《4》市川 左団次	《5》中村 松江	《11》市 川高麗蔵	《3》松本 錦吾											筋書
2003	平成15	2/1～ 2/25	新橋演舞場	一谷嫩軍記 陣屋	《3》中村 橋之助	《5》尾上 菊之助	《4》尾上 松緑	《2》坂東 吉弥	《3》中村 扇雀	坂東橋太 郎	《4》片岡 亀蔵											筋書
2003	平成15	6/1～ 6/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 陣門・組打	《9》松本 幸四郎							《7》市川 染五郎	《2》中村 勘太郎	《3》松本 錦吾								筋書
2004	平成16	5/3～ 5/27	京都 南座	一谷嫩軍記 陣屋	《3》中村 橋之助	《2》市川 亀治郎	《6》片岡 愛之助	坂東弥十 郎	中村芝の ぶ	坂東橋太 郎	《3》松本 錦吾											筋書
2004	平成16	8/19～ 8/22	国立劇場小 劇場	一谷嫩軍記 生田の森熊 谷陣屋 A班	《6》嵐橋 三郎	尾上徳松	沢村國矢	中村吉六	嵐徳江	中村獅一	中村富彦										第10回稚魚の会歌 舞伎会合同公演、 青年歌舞伎公演。 《2》中村吉右衛 門監修並指導。	筋書
2004	平成16	8/19～ 8/22	国立劇場小 劇場	一谷嫩軍記 生田の森熊 谷陣屋 B班	中村吉三 郎	中村京妙	市川升平	尾上松五 郎	沢村由蔵	中村蝶三 郎	尾上音二 郎										第10回稚魚の会歌 舞伎会合同公演、 青年歌舞伎公演。 《2》中村吉右衛 門監修並指導。	筋書
2004	平成16	8/21・ 8/22	大阪 国立文楽劇 場	一谷嫩軍記 生田森熊谷 陣屋	《4》片岡 松之助	片岡嶋之 壺	片岡松次 郎	《3》片岡 当十郎	片岡りき 弥	坂東竹志 郎	片岡千蔵										第14回上方歌舞 伎会、国立文楽劇 場開場二十周年記 念公演、国立文楽 劇場青年歌舞伎公 演。《2》片岡秀 太郎監修。	筋書
2004	平成16	9/3～ 9/26	名古屋 御園座	一谷嫩軍記 陣屋	《3》中村 鷹治郎	《5》中村 時蔵	《5》中村 富十郎	《5》片岡 我当	《3》中村 扇雀	中村信二 郎	《4》片岡 亀蔵											筋書
2004	平成16	10/2～ 10/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《9》松本 幸四郎	《7》中村 芝翫	《4》中村 梅玉	《4》市川 段四郎	《5》中村 時蔵	《11》市 川高麗蔵	《3》松本 錦吾											筋書
2005	平成17	11/1～ 11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記 陣屋	《15》片 岡仁左衛 門	《4》中村 雀右衛門	《4》中村 梅玉	《4》市川 左団次	《2》片岡 秀太郎	《6》片岡 愛之助	《3》松本 錦吾											筋書
2006	平成18	2/2～ 2/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記 須磨浦陣 門・同浜辺 組打	《9》松本 幸四郎							《9》中村 福助	《7》中村 芝雀	《3》松本 錦吾								筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
2006	平成18	6/2～6/26	福岡博多座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》中村橋之助	《3》中村扇雀	《2》中村勘太郎	坂東弥十郎	《2》中村七之助	坂東橋太郎	《4》片岡亀蔵											十八代目勘三郎襲名披露。 《2》中村勘太郎休演、義経（《18》中村勘三郎・《6》片岡市蔵）。	筋書
2006	平成18	10/2～10/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《7》中村芝翫	《12》市川団十郎	《4》市川段四郎	《2》中村魁春	《11》市川高麗蔵	《3》松本錦吾												筋書
2007	平成19	9/2～9/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《9》中村福助	《7》中村芝翫	《5》中村富十郎	《7》中村芝雀	《3》中村歌昇	《5》沢村由次郎												筋書
2008	平成20	2/1～2/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《7》中村芝翫	《4》中村梅玉	《4》市川段四郎	《2》中村魁春	《4》尾上松緑	《3》松本錦吾											初代松本白鸚二十回忌追善。 《7》中村芝翫休演、相模（《9》中村福助）。	筋書
2008	平成20	3/2～3/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記須磨浦陣屋・同浜辺組打	《12》市川団十郎							《4》坂田藤十郎	《2》中村魁春	《6》片岡市蔵									筋書
2008	平成20	7/5～7/29	大阪松竹座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《15》片岡仁左衛門	《2》片岡秀太郎	《4》坂田藤十郎	《5》片岡我当	片岡孝太郎	《6》片岡愛之助	《4》片岡松之助												筋書
2010	平成22	4/2～4/28	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《7》市川染五郎	《4》坂田藤十郎	《4》中村梅玉	《5》中村富十郎	《2》中村魁春	《3》中村歌昇	《5》沢村由次郎											歌舞伎座さよなら公演御名残四月大歌舞伎。	筋書
2010	平成22	5/4～5/28	新橋演舞場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《7》市川染五郎	《2》中村七之助	《11》市川海老蔵	《5》中村歌六	《2》尾上松也	《5》坂東亀三郎	《3》松本錦吾												筋書
2010	平成22	10/3～10/27	大阪大阪平成中村座（大阪城西の丸庭園）	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《3》中村橋之助	《3》中村扇雀	《2》中村獅童	坂東弥十郎	坂東新悟	中村萬太郎	《6》中村山左衛門												筋書
2010	平成22	10/22	大阪大阪平成中村座（大阪城西の丸庭園）	一谷嫩軍記熊谷陣屋	中村橋吾	市川笑野	中村橋幸	《6》中村山左衛門	中村仲之助	中村獅二郎	坂東弥風											大阪平成中村座試演会。	筋書
2011	平成23	4/9～4/24	香川金丸座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《7》市川染五郎	《7》中村芝雀	《8》市川門之助	《2》市川猿弥	《11》市川高麗蔵	《3》中村吉之助	《2》松本幸太郎												筋書
2012	平成24	3/3～3/27	国立劇場	一谷嫩軍記流しの枝・熊谷陣屋堀川御所・菟原里林住家・生田森熊谷陣屋	《12》市川団十郎	《2》中村魁春	《10》坂東三津五郎	坂東弥十郎	《6》中村東蔵	《2》坂東巳之助	《6》片岡市蔵				《12》市川団十郎	《10》坂東三津五郎	《8》市川門之助	《5》坂東秀調	坂東弥十郎	坂東三津之助	※国立劇場第二七八回歌舞伎公演。国立劇場開場四十五周年記念。国立劇場文芸課補綴。	筋書	
2012	平成24	3/3～3/27	京都南座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《7》中村芝雀	《3》中村又五郎	《5》中村歌六	中村壺太郎	《4》中村歌昇	《5》沢村由次郎											中村歌昇改め三代目中村又五郎、中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露。	筋書
2012	平成24	3/23	国立劇場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	坂東弥十郎	《8》市川門之助	《2》坂東巳之助	《6》片岡市蔵	中村春花	市川門松	《4》市川新十郎											第9回伝統歌舞伎保存会研修発表会。《12》市川団十郎指導、《2》中村魁春指導、《6》中村東蔵指導、《10》坂東三津五郎指導。	筋書
2012	平成24	8/31～9/26	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《1》市川右近	《3》市川笑三郎	《8》市川門之助	《2》市川猿弥	《2》市川笑也	市川弘太郎	《2》市川寿猿											[平成24年度公文協歌舞伎西コース]。	筋書
2012	平成24	11/1～11/25	新橋演舞場	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《15》片岡仁左衛門	《2》中村魁春	《4》中村梅玉	《4》市川左団次	《2》片岡秀太郎	坂東亀寿	《4》片岡松之助											《15》片岡仁左衛門休演、熊谷（《4》尾上松緑）。	筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
2013	平成25	4/2～4/28	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《5》坂東玉三郎	《15》片岡仁左衛門	《5》中村歌六	《5》尾上菊之助	《3》中村又五郎	《5》沢村由次郎											歌舞伎座新開場、柿葺落。	筋書
2013	平成25	10/3～10/27	国立劇場	一谷嫩軍記須磨浦陣門・同浜辺組打・生田森熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《2》中村魁春	《8》大谷友右衛門	《4》市川左団次	《11》市川高麗蔵	《6》中村松江	《3》松本錦弥	《7》市川染五郎	《2》市川笑也	《3》松本錦吾								※国立劇場第二八五回歌舞伎公演。平成25年度第68回文化賞芸術祭主催。	筋書
2014	平成26	11/1～11/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《2》中村魁春	《7》尾上菊五郎	《4》市川左団次	《11》市川高麗蔵	《4》尾上松緑	《3》松本高麗五郎											初世松本白鷺三十三回忌追善。	筋書
2015	平成27	2/2～2/26	歌舞伎座	須磨浦陣門・同浜辺組打	《2》中村吉右衛門							《5》尾上菊之助	《7》中村芝雀	《3》中村吉之助								松竹創業120周年。	筋書
2015	平成27	7/3～7/27	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《11》市川海老蔵	《7》中村芝雀	《4》中村梅玉	《4》市川左団次	《2》中村魁春	《4》市川九団次	《6》片岡市蔵											松竹創業120周年。	筋書
2016	平成28	6/2～6/26	福岡博多座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《15》片岡仁左衛門	《5》中村雀右衛門	《5》中村時蔵	《5》中村歌六	《5》尾上菊之助	《2》中村錦之助	《4》片岡松之助											中村芝雀改め五代目中村雀右衛門襲名披露。	筋書
2016	平成28	10/2～10/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《8》中村芝翫	《2》中村魁春	《2》中村吉右衛門	《5》中村歌六	《5》尾上菊之助	《4》中村橋之助	《3》中村吉之丞											中村橋之助改め八代目中村芝翫、中村国生改め四代目中村橋之助、中村宗生改め三代目中村福之助襲名披露。	筋書
2017	平成29	4/2～4/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《9》松本幸四郎	《4》市川猿之助	《7》市川染五郎	《4》市川左団次	《11》市川高麗蔵	《6》中村松江	《3》松本錦吾												筋書
2017	平成29	6/30～7/31	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《8》中村芝翫	《3》中村扇雀	《4》中村梅玉	《5》中村歌六	《11》市川高麗蔵	《4》中村橋之助・《3》中村福之助	市村橋太郎											〔平成29年度公文協歌舞伎東コ一ス〕。中村橋之助改め八代目中村芝翫、中村国生改め四代目中村橋之助、中村宗生改め三代目中村福之助襲名披露。	筋書
2017	平成29	8/31～9/25	地方公演	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《8》中村芝翫	《3》中村扇雀	《4》中村梅玉	坂東弥十郎	《11》市川高麗蔵	《4》中村橋之助・《3》中村福之助	市村橋太郎											〔平成29年度公文協歌舞伎西コ一ス〕。中村橋之助改め八代目中村芝翫、中村国生改め四代目中村橋之助、中村宗生改め三代目中村福之助襲名披露。	筋書
2017	平成29	10/21	国立劇場	熊谷陣屋	《4》中村橋之助	中村蝶紫	中村又之助	片岡仁三郎	中村京珠	中村橋三郎	坂東弥七郎											第20回伝統歌舞伎保存会研修発表会。《15》片岡仁左衛門監修並指導、片岡孝太郎指導、《2》片岡秀太郎指導、《5》中村歌六指導、《2》中村錦之助指導、《5》中村雀右衛門指導、《3》中村又五郎指導、坂東弥十郎指導。	筋書
2018	平成30	2/1～2/25	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《10》松本幸四郎	《2》中村魁春	《7》尾上菊五郎	《4》市川左団次	《5》中村雀右衛門	《4》中村鴈治郎	《8》中村芝翫											歌舞伎座130年、市川染五郎改め十代目松本幸四郎襲名披露。	筋書
2019	平成31	2/2～2/26	歌舞伎座	一谷嫩軍記熊谷陣屋	《2》中村吉右衛門	《2》中村魁春	《5》尾上菊之助	《5》中村歌六	《5》中村雀右衛門	《3》中村又五郎	《3》中村吉之丞												筋書

西暦	和暦	月/日	劇場	上演外題	熊谷	相模	義経	弥陀六	藤の方	堤軍次	梶原	小次郎／敦盛	玉織姫	平山武者所	忠度	六弥太	菊の前	林	田子平	茂次兵衛	備考	典拠	
2019	令和1	8/24・8/25	大阪国立文楽劇場	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	片岡当吉郎	片岡千寿	中村翫政	中村鴈大	片岡折乃助	片岡松四郎	片岡松十郎											第29回上方歌舞伎会、国立文楽劇場開場三十五周年記念。《15》片岡仁左衛門指導、《2》片岡秀太郎指導。	筋書
2020	令和2	8/29～9/1	観世能楽堂 〈収録〉	一谷嫩軍記 より 須磨浦 第一場 堀 川の御所・ 第二場 須 磨の浦	《2》中村 吉右衛門																	中村吉右衛門配信特別公演。松貫四＝《2》中村吉右衛門作。	「演劇界」 令和2年11 月号・台本
2020	令和2	12/5～12/19	京都南座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《15》片岡仁左衛門	片岡孝太郎	《2》中村錦之助	《5》中村歌六	《2》片岡秀太郎	片岡進之介	《4》片岡松之助											《15》片岡仁左衛門休演、熊谷（《2》中村錦之助）、義経（中村隼人）。片岡孝太郎休演、相模（《8》市川門之助）。《2》片岡秀太郎休演、藤の方（《8》市川門之助・坂東竹之助）。	筋書
2021	令和3	3/4～3/29	歌舞伎座	一谷嫩軍記 熊谷陣屋	《15》片岡仁左衛門	片岡孝太郎	《2》中村錦之助	《5》中村歌六	《8》市川門之助	《3》坂東亀蔵	《4》片岡松之助												筋書